

大田市定期予防接種実施マニュアル

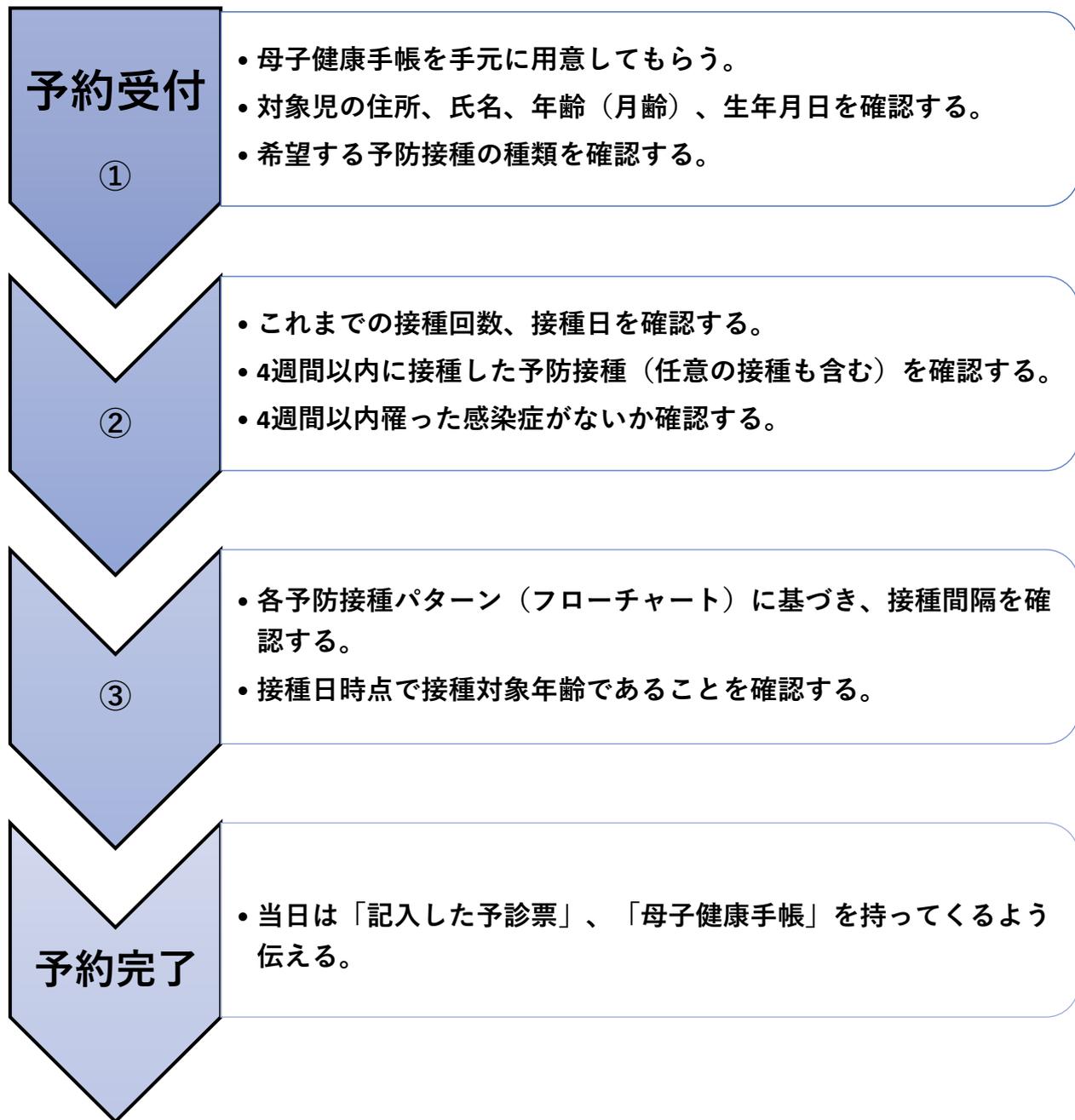


大田市健康増進課

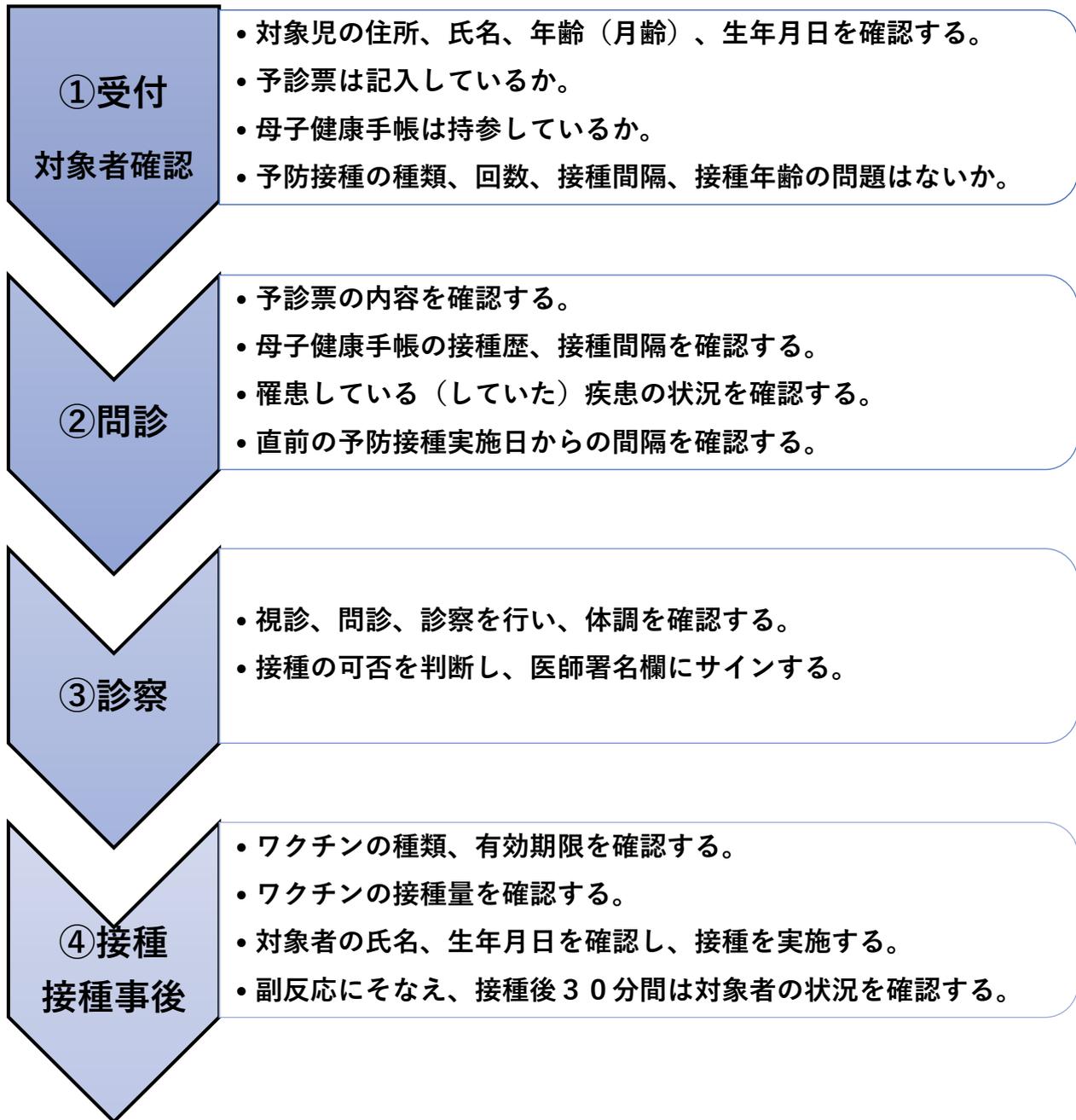
大田市定期予防接種実施マニュアル もくじ

No	内 容
1	受付時確認すること（各予防接種共通）
2	接種当日に確認すること（各予防接種共通）
3	予防接種の一般的な接種間隔
4	間違いやすい予防接種の接種間隔
5	ヒブワクチン接種実施フローチャート
6	小児用肺炎球菌ワクチン接種実施フローチャート
7	B型肝炎ワクチン接種実施フローチャート
8	ロタウイルスワクチン接種実施フローチャート（ロタリックス）
9	ロタウイルスワクチン接種実施フローチャート（ロタテック）
10	四種混合ワクチン接種実施フローチャート
11	五種混合ワクチン接種実施フローチャート
12	B C G ワクチン接種実施フローチャート
13	麻しん風しん混合ワクチン接種実施フローチャート
14	水痘（水ぼうそう）ワクチン接種実施フローチャート
15	日本脳炎ワクチン接種実施フローチャート
16	二種混合ワクチン接種実施フローチャート
17	ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）ワクチン接種実施フローチャート
資料 1	資料 予防接種を避けたい期間の目安と考え方（2017）
資料 2	資料 乳幼児の予防接種スケジュール
資料 3	資料 予防接種の同時接種に対する考え方
資料 4	資料 定期予防接種における対象者の解釈について
資料 5	資料 B型肝炎ワクチン接種早見表
資料 6	資料 ロタリックス接種早見表
資料 7	資料 ロタテック接種早見表
資料 8	資料 B C G 接種関係資料
資料 9	資料 HPV（子宮頸がん）ワクチン関連リーフレット

1.受付時確認すること（各予防接種共通）



2.接種当日に確認すること（各予防接種共通）



3. 予防接種の一般的な接種間隔

接種間隔の起算日（1日目）は、接種した日の翌日であり、次のワクチン接種までの間隔は、生ワクチン(注射)と生ワクチン（注射）の間は27日以上おく。生ワクチン（注射）同士の組み合わせでなければ、接種間隔の制限はない。

ただし、小児用肺炎球菌ワクチン、五種混合など、同じワクチンを複数回接種する場合は、それぞれのワクチンごとに定められた接種間隔で接種する。

<接種間隔の考え方（例）>

◆1日（月）に生ワクチン（注射）を接種した場合

- ①生ワクチン（注射）：27日以上間隔をあける（4週間後の29日（月）に接種が可能）
- ②不活化ワクチン：制限なし
- ③生ワクチン（経口）：制限なし

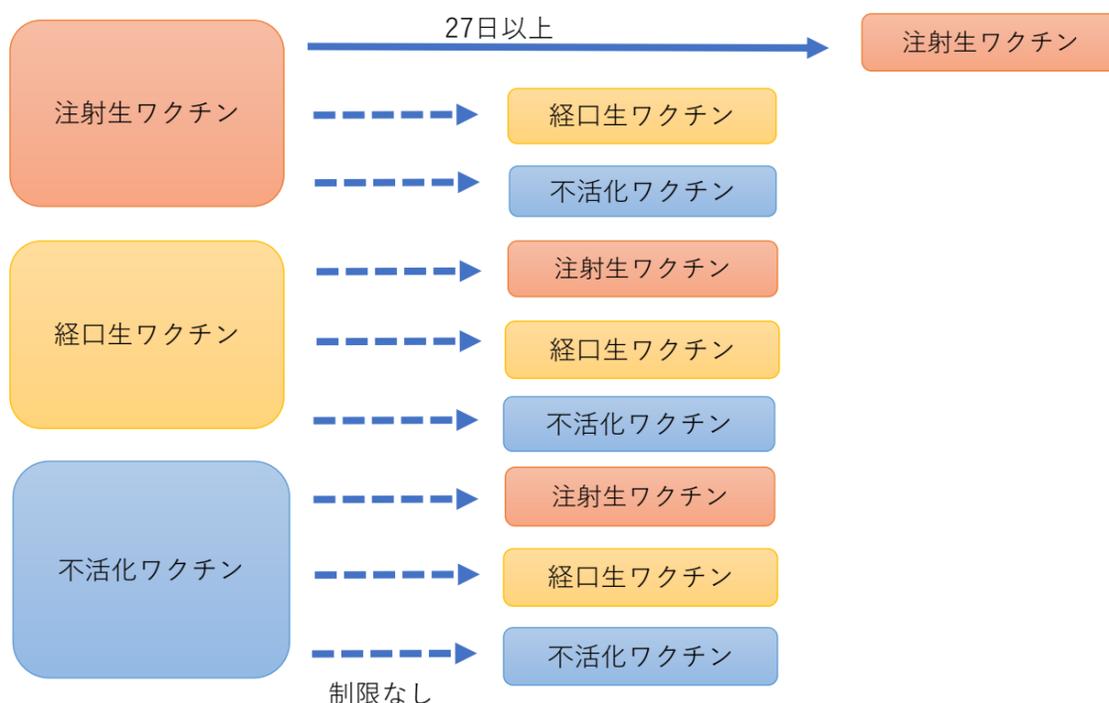
◆1日（月）に生ワクチン（注射）以外を接種した場合

- ④次に接種するワクチンの種類に関わらず、接種間隔の制限なし

※接種日は“0日目”と数える。

日	月	火	水	木	金	土
	1 (接種日)	① 2 (1日目)	3 (2日目)	4 (3日目)	5 (4日目)	6 (5日目)
7 (6日目)	8 (7日目)	9 (8日目)	10 (9日目)	11 (10日目)	12 (11日目)	13 (12日目)
14 (13日目)	15 (14日目)	16 (15日目)	17 (16日目)	18 (17日目)	19 (18日目)	20 (19日目)
21 (20日目)	22 (21日目)	23 (22日目)	24 (23日目)	25 (24日目)	26 (25日目)	27 (26日目)
28 (27日目)	29 (28日目)	30 (29日目)	31 (30日目)			

注射生ワクチン	B C G、麻しん風しん混合、水痘、麻しん、風しん、おたふくかぜ
経口生ワクチン	ロタ
不活化ワクチン	ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、五種混合、四種混合、三種混合、不活化ポリオ、日本脳炎、二種混合、ヒトパピローマウイルス、成人用肺炎球菌、インフルエンザ



4.間違いやすい予防接種の接種間隔

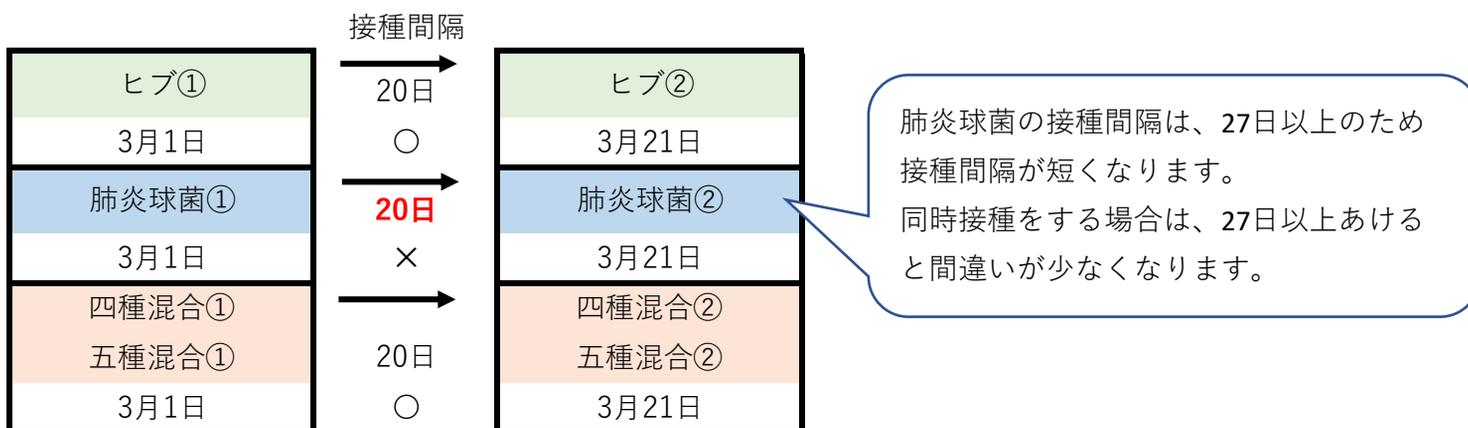
①ヒブワクチン・小児肺炎球菌・四種混合および五種混合

標準的な接種間隔

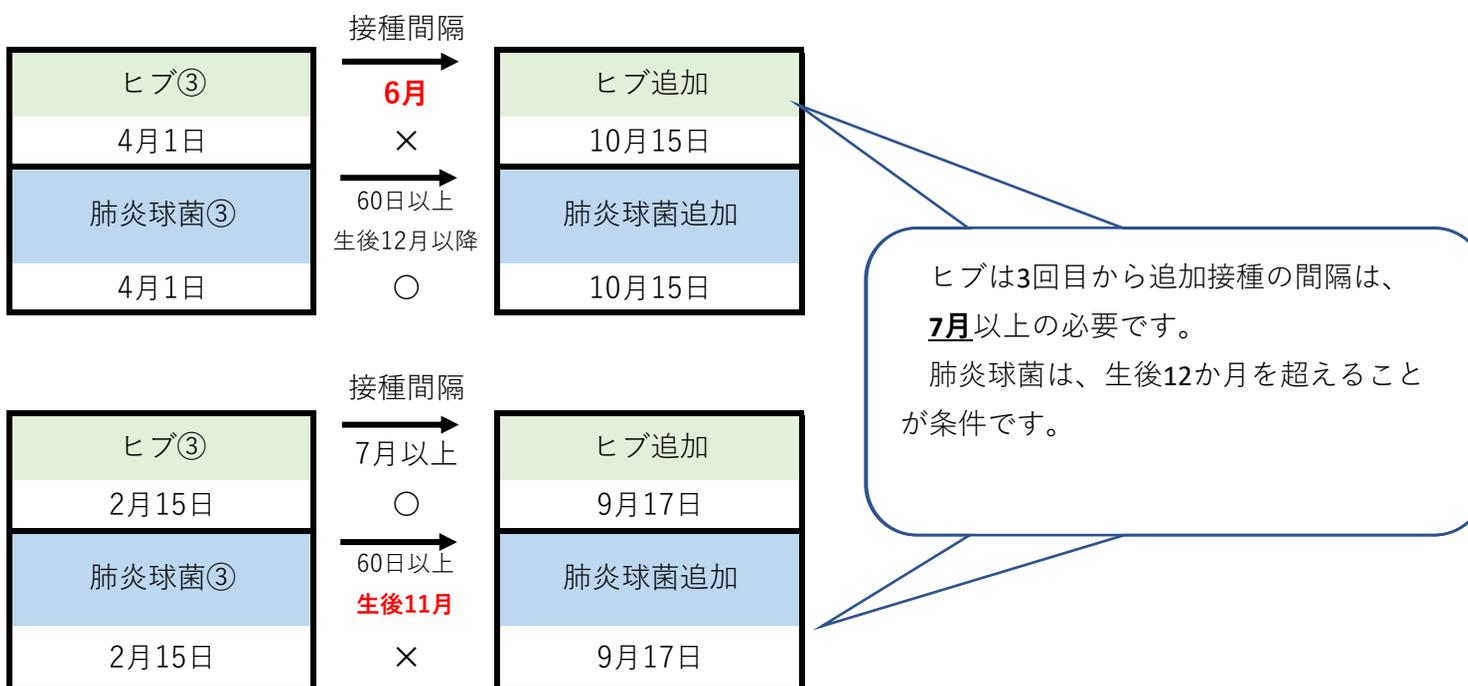
ヒブ	初回3回	27日（医師が必要と認めるときは20日）以上
肺炎球菌	初回3回	27日以上
四種混合・五種混合	初回3回	20日以上

ヒブ	追加	初回接種終了後7月以上
肺炎球菌	追加	初回接種終了後60日以上の間隔をおいて、 生後12月～11月以降
四種混合・五種混合	追加	3回目終了後、6か月以上

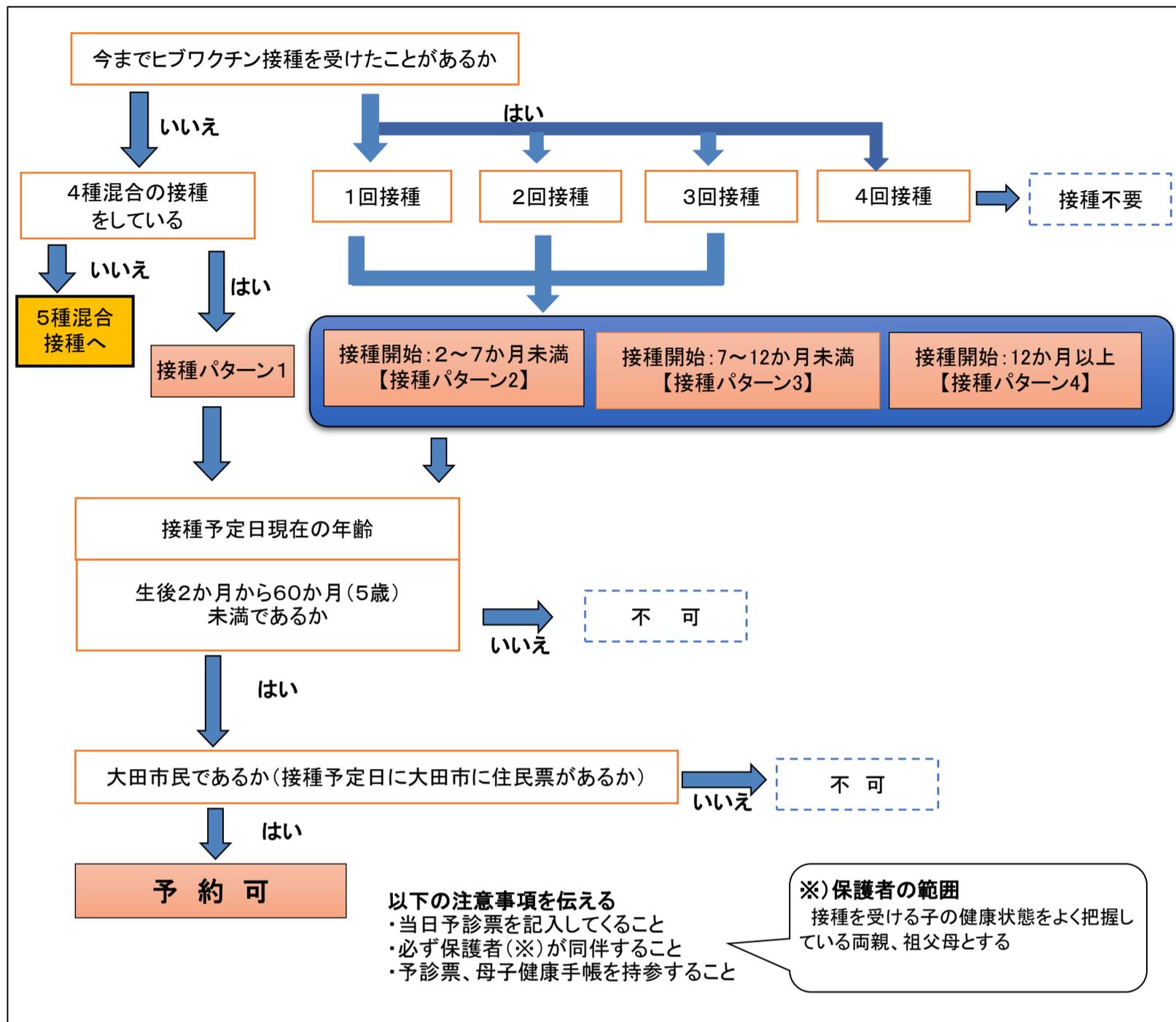
間違いやすいパターン①



間違いやすいパターン②



ヒブワクチン接種実施フローチャート



【令和7年2月作成】

ヒブワクチンの接種パターン表

【ヒブ】 ○：未接種 ●：接種済 ×：接種不要

※今回接種する当日の接種回数及び年齢で接種回数を判断します。

【パターン1】未接種の場合

今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
生後2か月以上 7か月未満	○	○	○	○
生後12か月に至るまでの間に27日 (医師が必要と認めた場合は20日)以上の間隔で接種				初回終了後 7月~13月の間隔をおき接種
生後7か月以上 12か月未満	○	○	×	○
生後12か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で接種			接種不要	初回終了後 7月~13月の間隔をおき接種
生後12か月以上 5歳未満	○	×	×	×
1回接種で終了	接種不要	接種不要	接種不要	初回終了後 7月~13月の間隔をおき接種

【パターン2】初回接種の年齢が生後2~7か月に至るまで(初回3回・追加1回接種)

今回接種時現在の接種回数	今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
1回	生後12か月未満	●	○	○	○
	(接種間隔)	/	生後12か月に至るまでの間に27日以上の間隔で接種		初回終了後 7月~13月の間隔をおき接種
1回	生後12か月以上	●	×	×	○
	(接種間隔)	/	生後12か月に至るまでの間に初回接種を終了しなかった場合は、 初回接種終了後27日以上の間隔をおいて追加接種を行う。		
2回	生後12か月未満	●	●	○	○
	(接種間隔)	/	生後12か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で接種		初回終了後 7月~13月の間隔をおき接種
2回	生後12か月以上	●	●	×	○
	(接種間隔)	/	生後12か月に至るまでの間に初回接種を終了しなかった場合は、 初回接種終了後27日以上の間隔をおいて追加接種を行う。		
3回	生後12か月以上	●	●	●	○
	(接種間隔)	/	初回終了後 7月~13月の間隔をおき接種		

【パターン3】初回接種の年齢が生後7か月~12か月に至るまで(初回2回・追加1回接種)

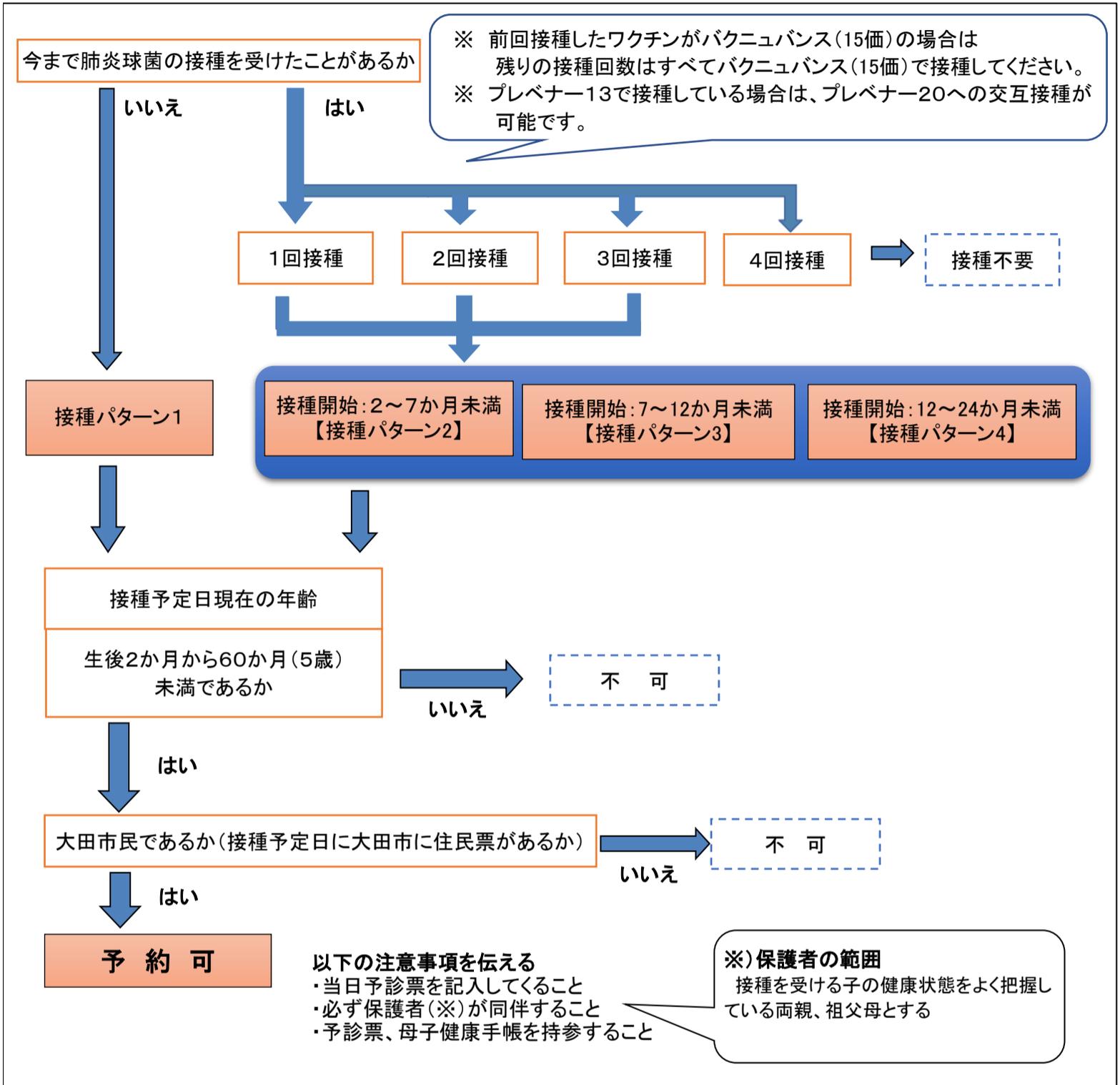
現在の接種回数	今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
1回	生後12か月未満	●	○	×	○
	(接種間隔)	/	生後12か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で接種	接種不要	初回終了後 7月~13月の間隔をおき接種
1回	生後12か月以上	●	×	×	○
	(接種間隔)	/	生後12か月に至るまでの間に初回接種を終了しなかった場合は、 初回接種終了後27日以上の間隔をおいて追加接種を行う。		
2回	生後12か月以降	●	●	×	○
	(接種間隔)	/	接種不要		生後12月以降に 初回終了後 7月~13月の間隔をおく

【パターン4】初回接種の年齢が生後12か月以上~5歳未満(1回接種)

現在の接種回数	今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
1回	生後12か月以降5歳未満	●	×	×	×
	(接種間隔)	/	接種不要		接種不要

【平成31年3月作成】

小児用肺炎球菌接種実施フローチャート



【令和7年2月作成】

肺炎球菌の接種パターン表

【肺炎球菌】△：未接種 ▲：接種済 ×：接種不要

※今回接種する当日の接種回数及び年齢で接種回数を判断します。

【パターン1】未接種の場合

今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
生後2か月以上 7か月未満	△	△	△	△
生後24か月に至るまでの間に27日以上の間隔で接種 ※ただし、2回目の接種が生後12か月を超えた場合、3回目の接種は行わない。				初回終了後60日以上の間隔をおき、 生後12か月に至った日以降に接種
生後7か月以上 12か月未満	△	△	×	△
生後24か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で接種			接種不要	初回終了後60日以上の間隔をおき、 生後12か月に至った日以降に接種
生後12か月以上 24か月未満	△	△	×	×
初回1回終了後 60日以上の間隔をおき接種（5歳未満まで）			接種不要	接種不要
生後24か月以上 5歳未満	△	×	×	×
1回接種で終了		接種不要	接種不要	接種不要

【パターン2】初回接種の年齢が生後2～7か月に至るまで（初回3回・追加1回接種）

今回接種時現在の接種回数	今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
1回	生後12か月未満	▲	△	△	△
	(接種間隔)	生後24か月に至るまでの間に27日以上の間隔で接種			初回終了後60日以上の間隔をおき、 生後12か月に至った日以降に接種
	生後12か月以上	▲	△	×	△
(接種間隔)	生後24か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で接種		2回目の接種が生後12か月を超える ため、3回目の接種は行わない	初回終了後60日以上の間隔をおき接種	
2回	生後24か月未満	▲	▲	△	△
	(接種間隔)	生後24か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で接種			初回終了後60日以上の間隔をおき、 生後12か月に至った日以降に接種
	生後24か月以上	▲	▲	×	△
(接種間隔)	接種不要			初回終了後60日以上の間隔をおき接種	
3回	生後12か月以上	▲	▲	▲	△
	(接種間隔)	初回終了後60日以上の間隔をおき、 生後12か月に至った日以降に接種			

【パターン3】初回接種の年齢が生後7か月～12か月に至るまで（初回2回・追加1回接種）

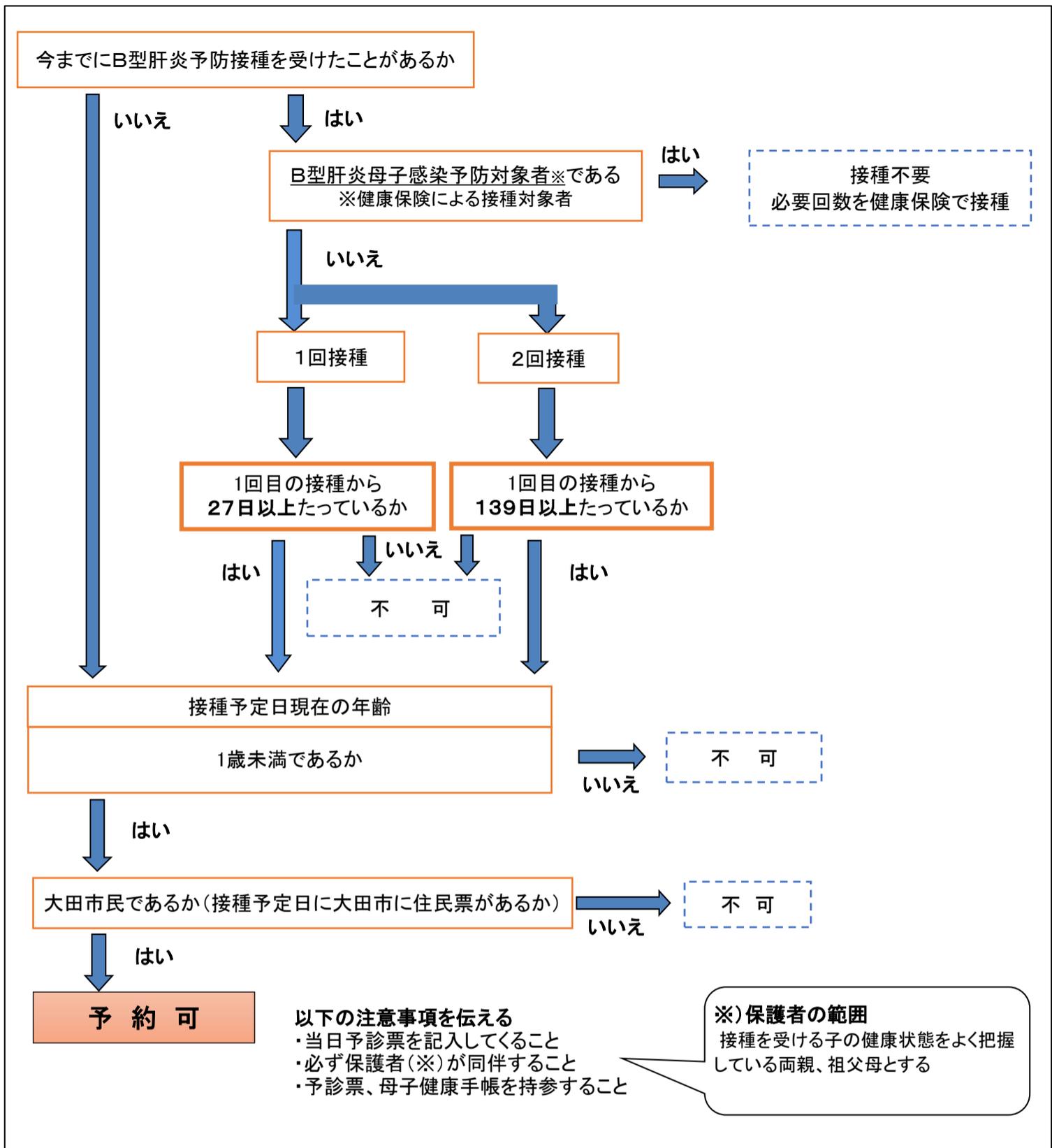
今回接種時現在の接種回数	今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
1回	生後24か月未満	▲	△	×	△
	(接種間隔)	生後24か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で接種			初回終了後60日以上の間隔をおき、 生後12か月に至った日以降に接種
	生後24か月以上	▲	×	×	△
(接種間隔)	接種不要			初回終了後60日以上の間隔をおき接種	
2回	生後12か月以上	▲	▲	×	△
	(接種間隔)	接種不要			初回終了後60日以上の間隔をおき接種

【パターン4】初回接種の年齢が生後12か月以上～24か月未満（2回接種）

今回接種時現在の接種回数	今回接種時の年齢	初回1回	初回2回	初回3回	追加
1回	生後12か月以上 5歳未満	▲	△	×	×
	(接種間隔)	初回1回終了後 60日以上の間隔をおき接種			接種不要
2回	生後12か月以上 5歳未満	▲	▲	×	×
	(接種間隔)	接種不要			接種不要

【平成31年3月作成】

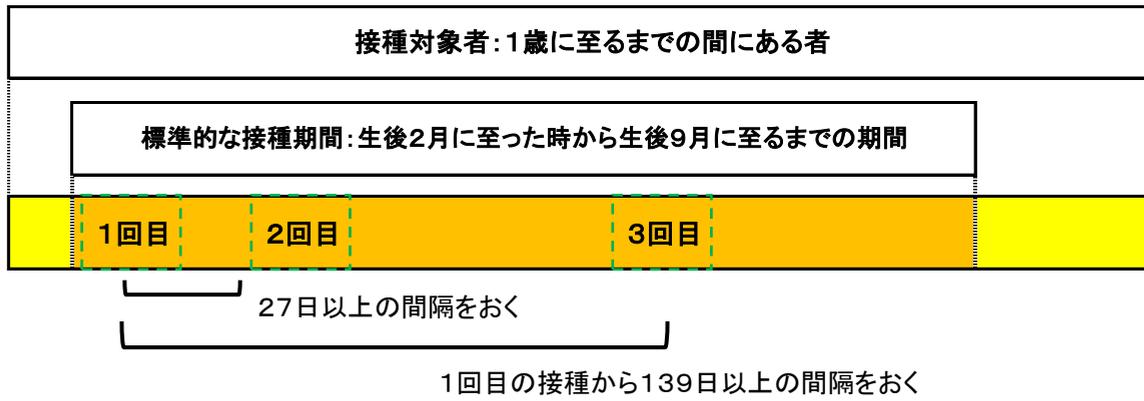
B型肝炎予防接種実施フローチャート



【令和7年2月作成】

B型肝炎予防接種・スケジュールと接種時の注意事項

■定期接種のスケジュール



■接種スケジュールどおりに接種できなかった場合の対応

① 2回目が27日(4週間)を超えた場合

気づいた時点で速やかに2回目を接種します。その後規定通りに3回目を接種します。

その場合、2回目と3回目の間隔は予防接種実施要領総論第18の規定に準じて6日以上の間隔をあければ接種できますが、2か月程度の間隔をあけることが望ましいです。

② 3回目が遅れた場合(1回目から24週以上たった場合)

気づいた時点で速やかに3回目を接種します。

③ HBs抗原陽性の妊婦から生まれた乳児で、抗HBs免疫グロブリンの投与に併せて、

B型肝炎ワクチンの投与を受けた児※1)は、定期接種の対象にはなりません。

※1) 母子感染予防としてのB型肝炎ワクチン接種は健康保険給付の対象となります。

④ ワクチンについて

・使用するワクチンの中途での変更

ワクチンは「ビームゲン注」と「ヘプタバックス-Ⅱ 水性懸濁注シリンジ0.25ml」2種類あります。

基本的には3回の接種を同一のワクチンで行うことが望ましいですが、やむを得ず切り替えて使用する場合であっても、定期予防接種として実施は可能です。

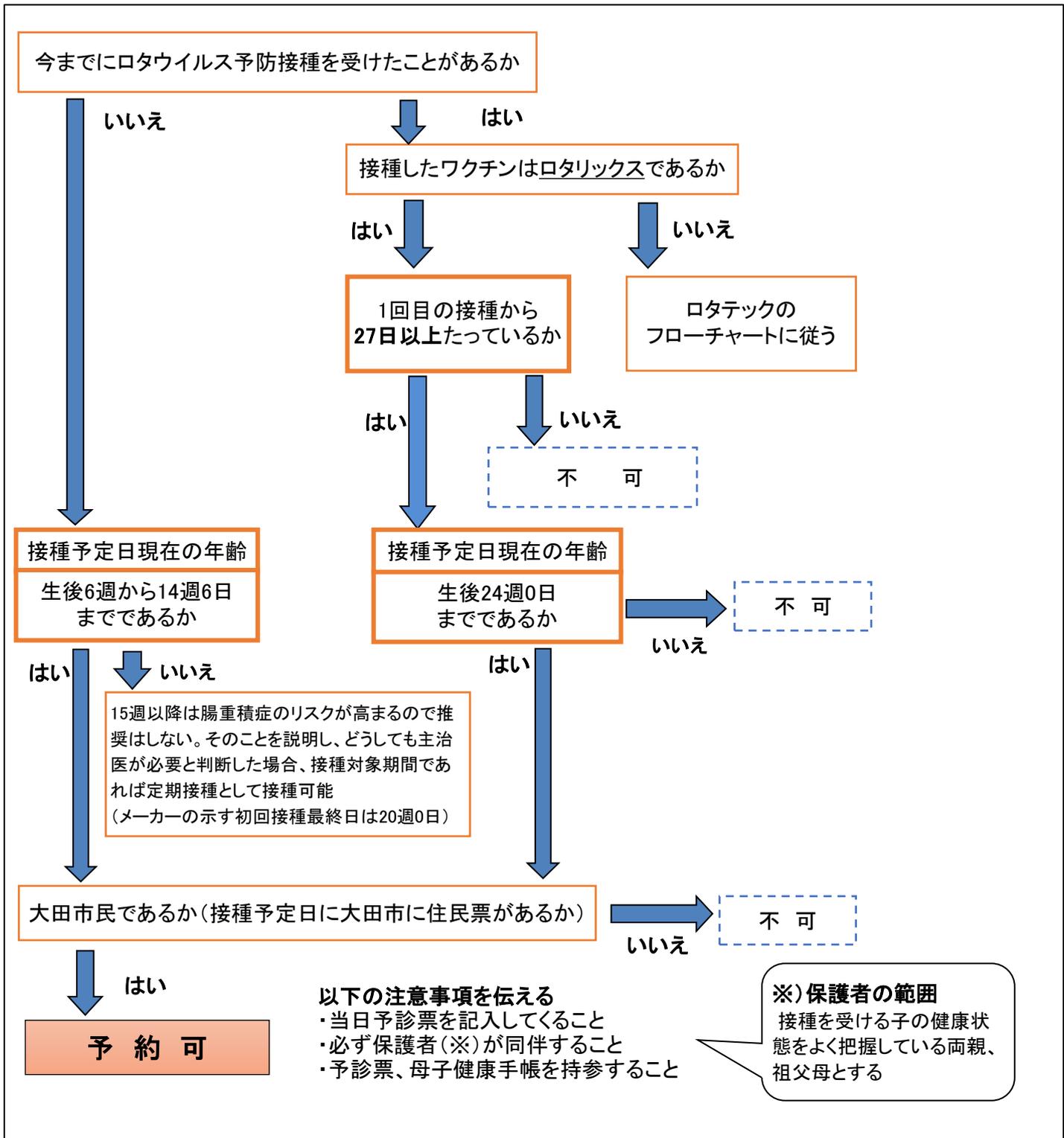
・ワクチンの取り扱いについて

ワクチンの内容量は「ビームゲン注」は0.25mlと0.5mlの2種類があります。

1回の接種量は0.25mlです。

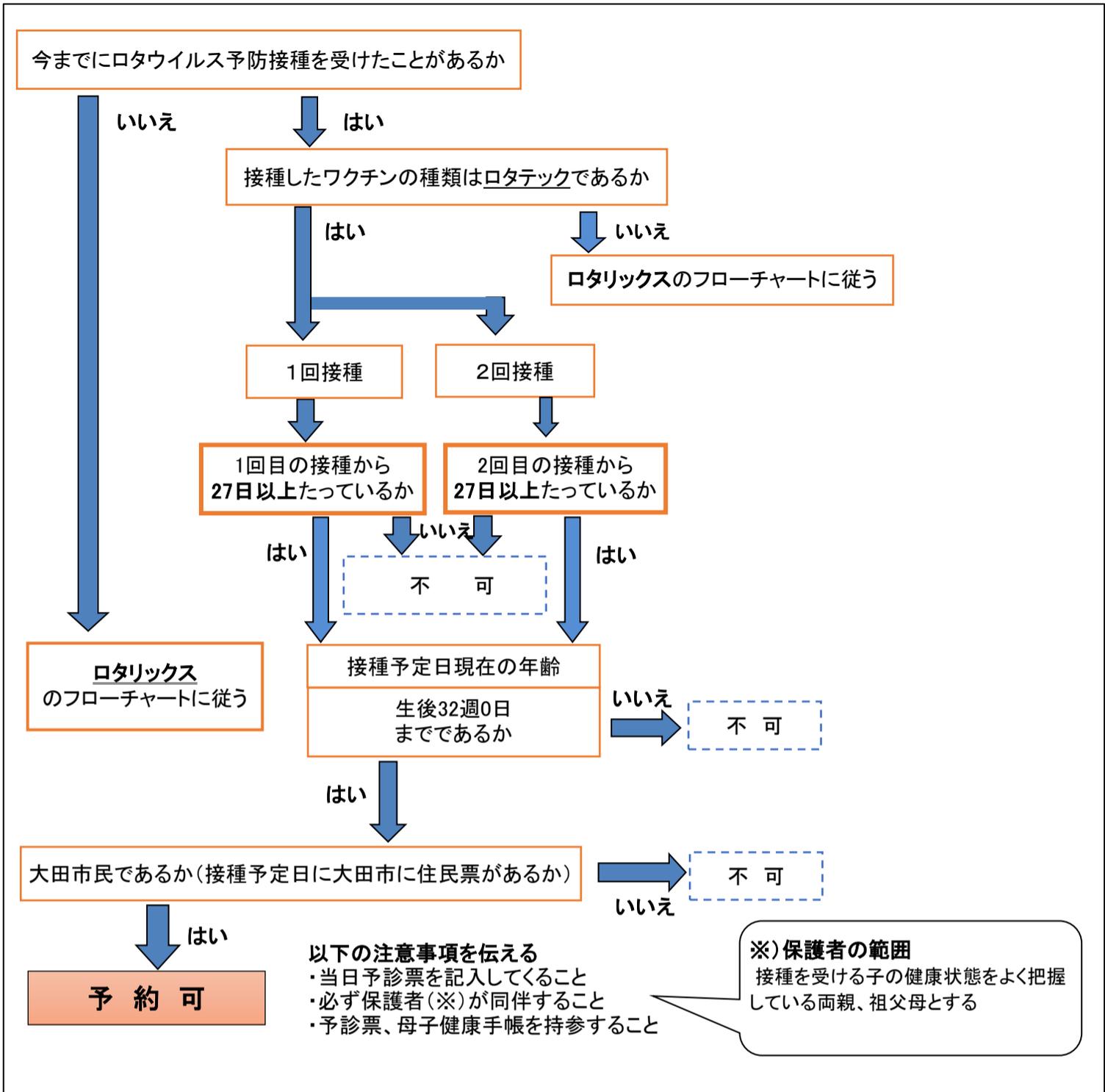
【平成31年3月作成】

ロタウイルス予防接種実施フローチャート（ロタリックス）



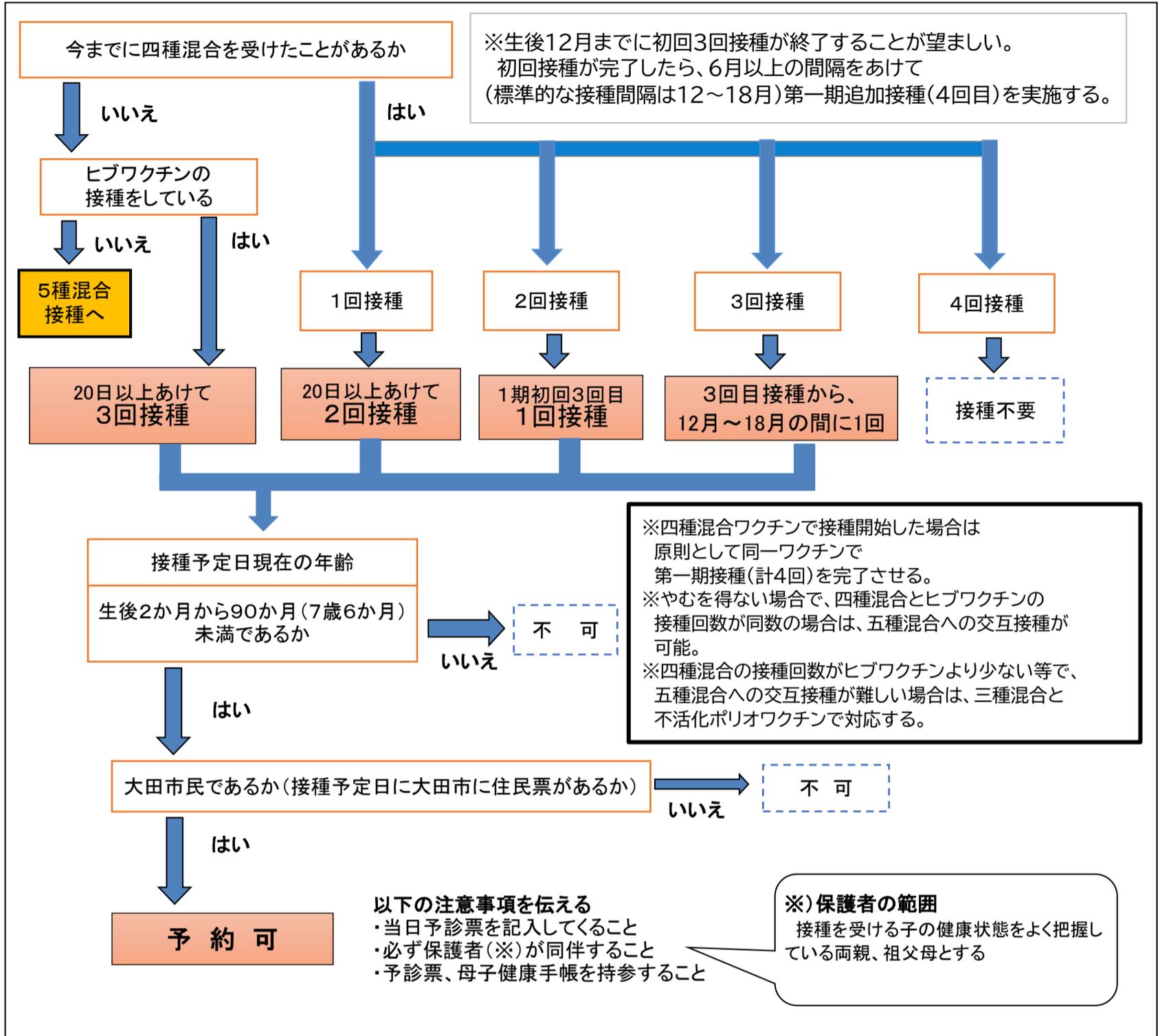
【令和7年2月作成】

ロタウイルス予防接種実施フローチャート(ロタテック)



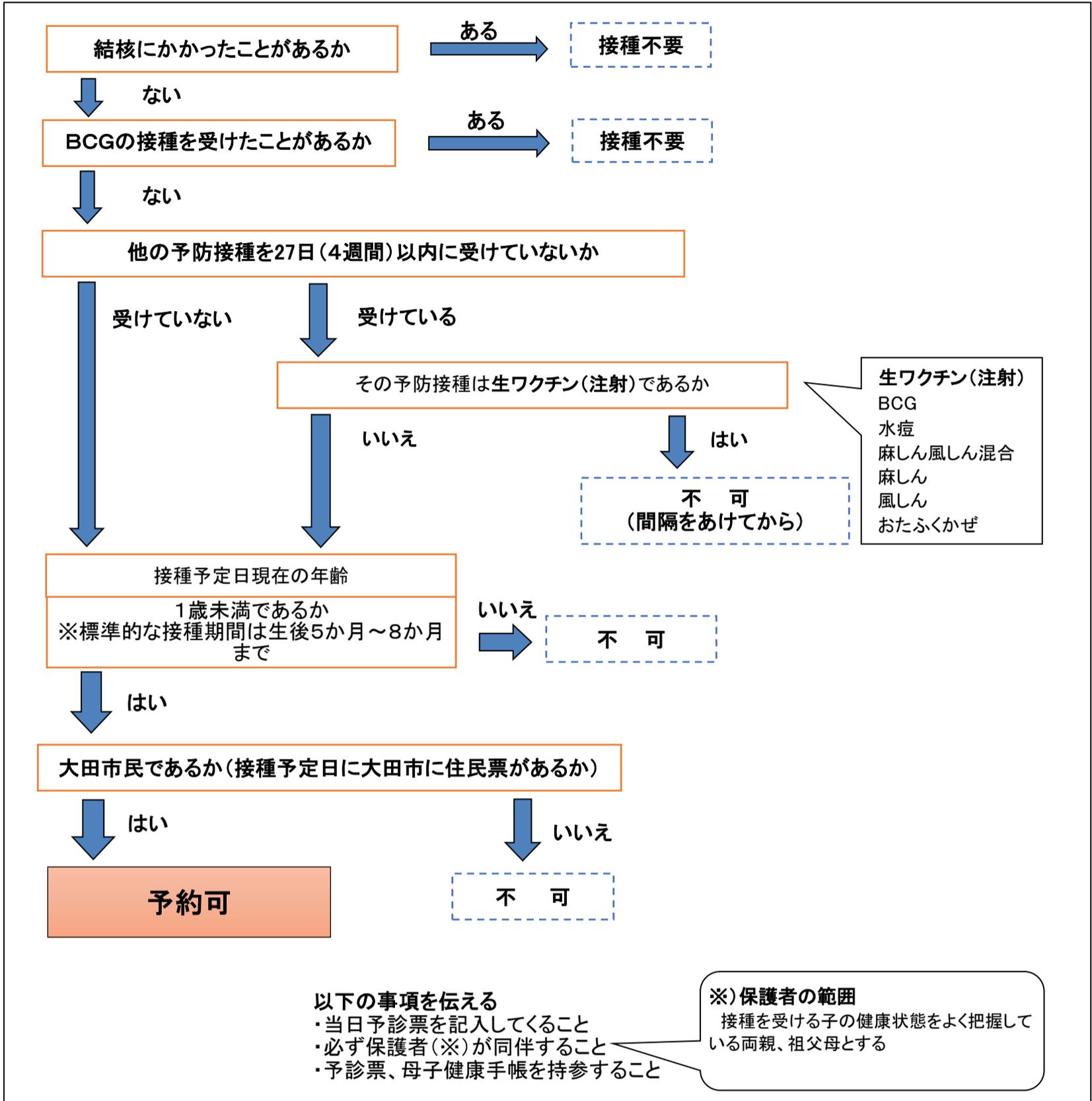
【令和7年2月作成】

四種混合接種実施フローチャート



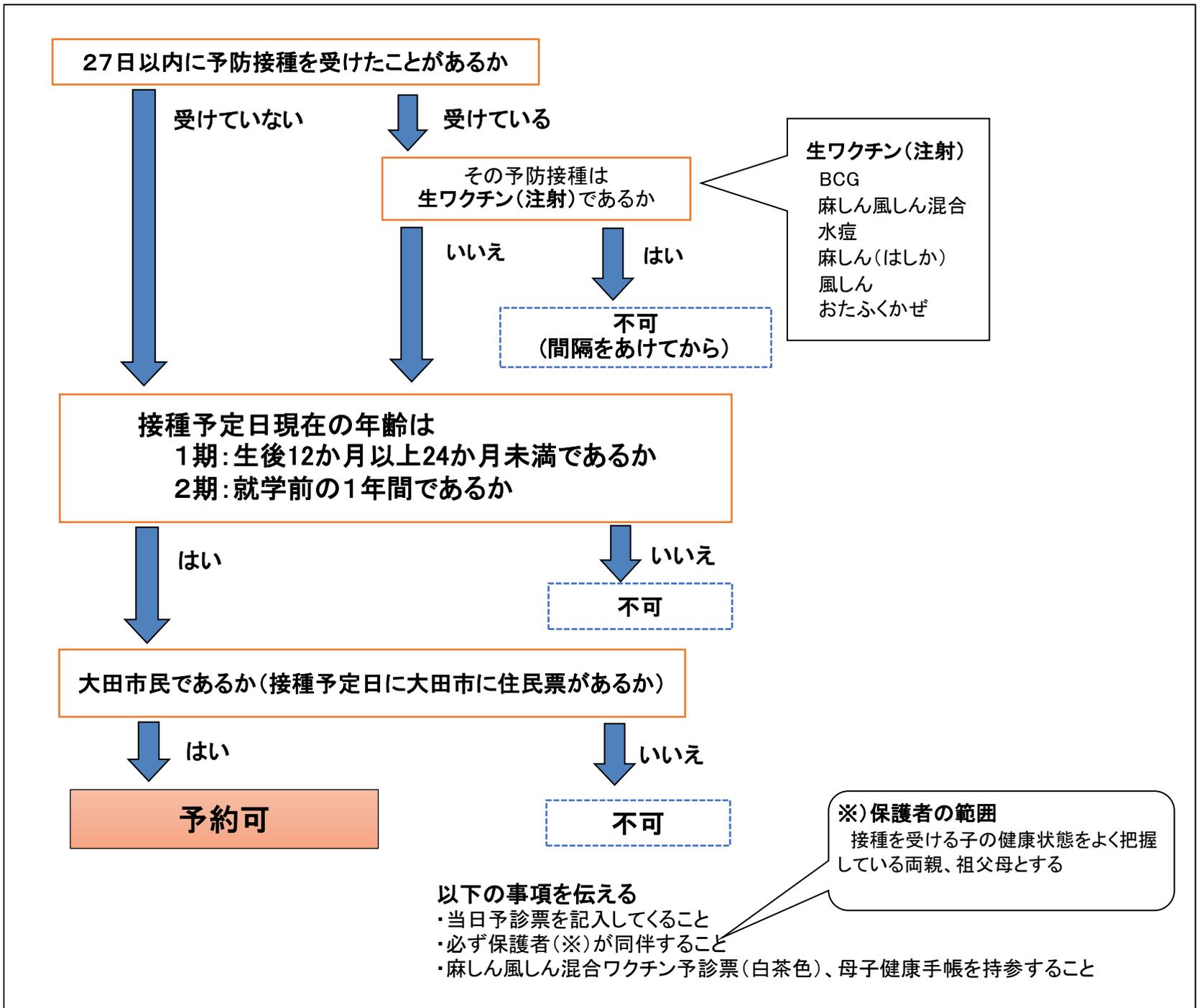
【令和7年3月作成】

BCG接種実施フローチャート



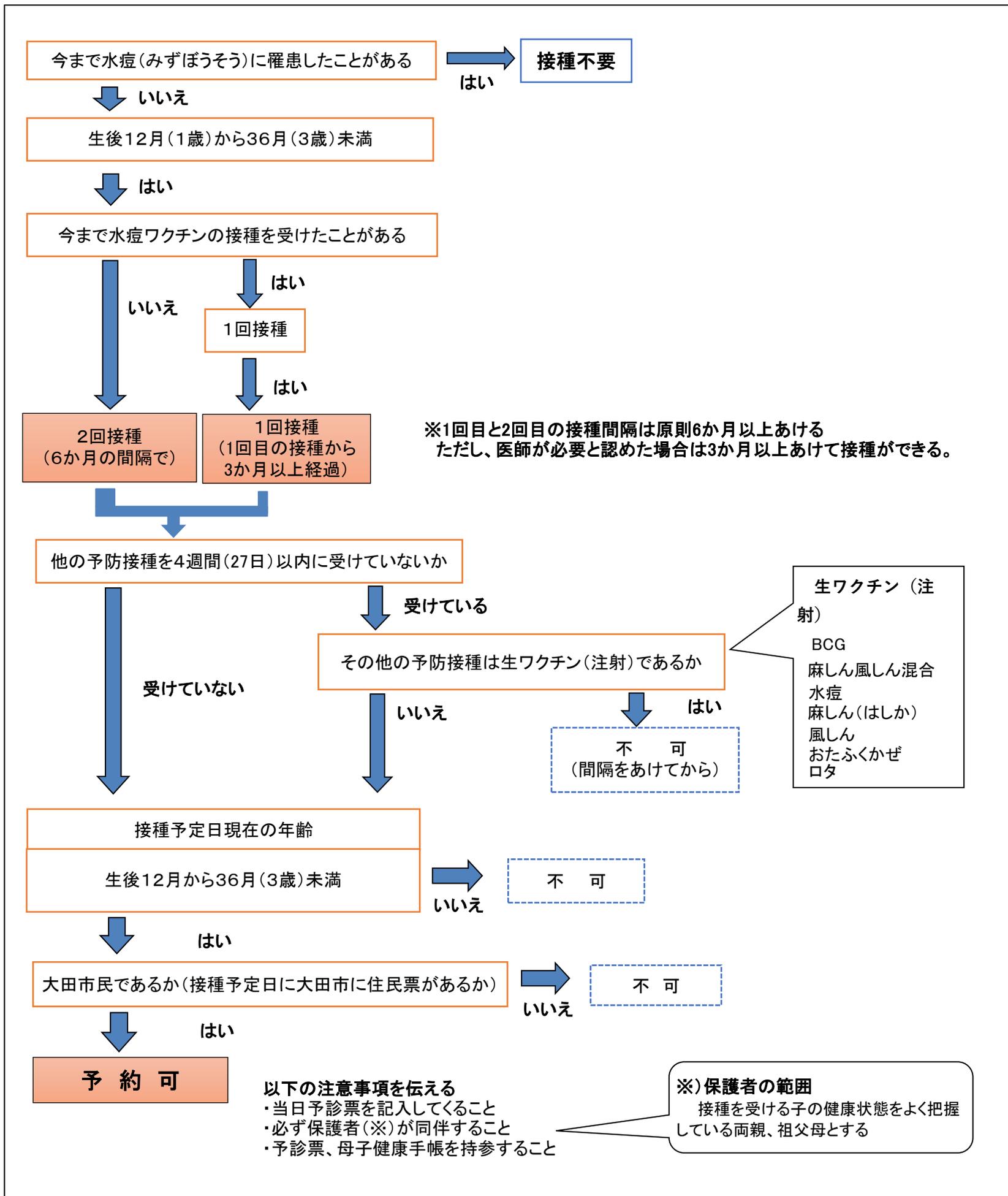
【令和7年2月作成】

麻疹風しん混合接種実施フローチャート

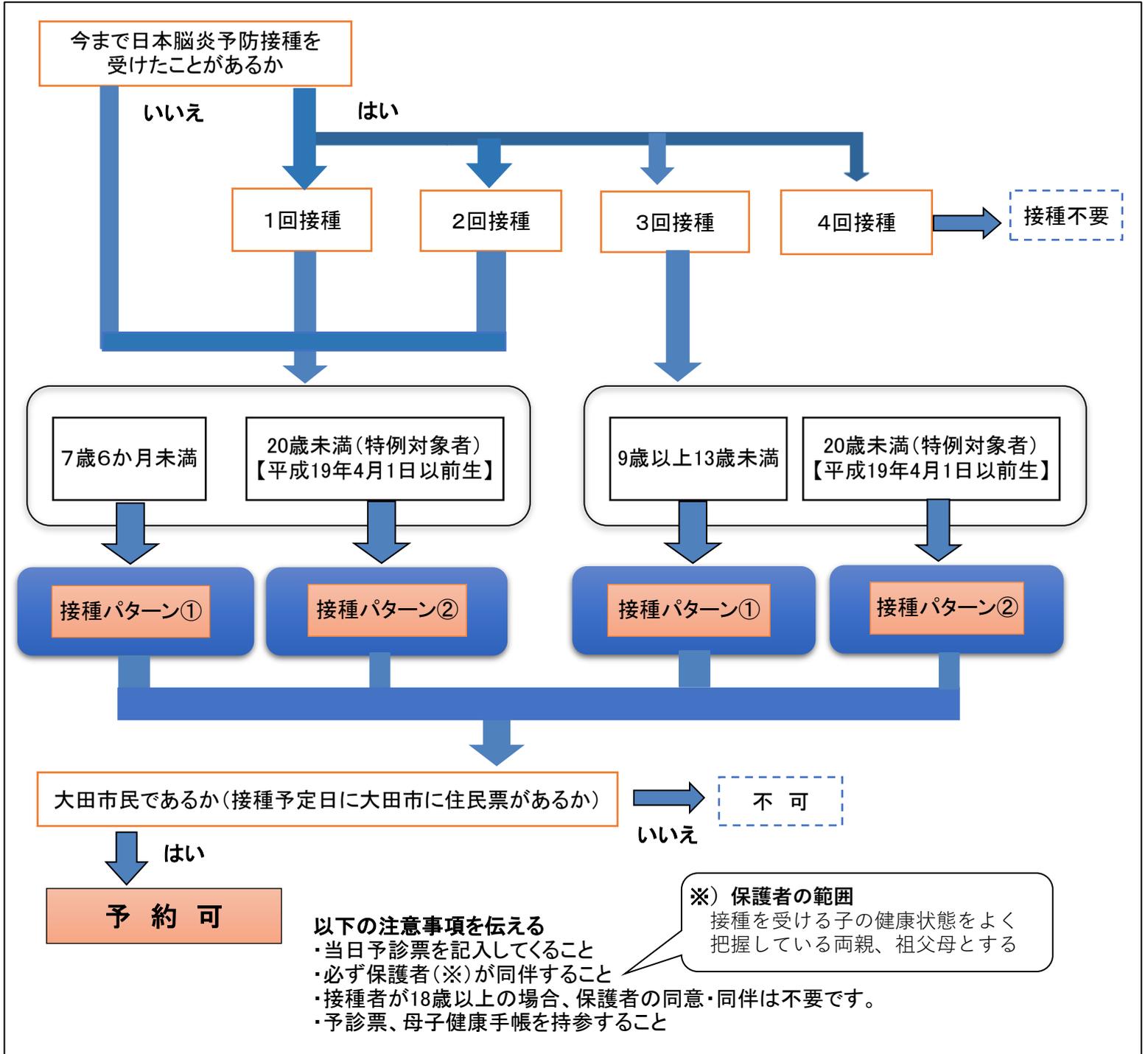


【令和7年2月作成】

水痘（水ぼうそう）接種実施フローチャート



日本脳炎接種実施フローチャート



【令和7年2月作成】

接種パターン①

日本脳炎1期（初回・追加）・2期の接種パターン

平成21年10月2日以降生まれ

①…1期初回1回 ②…1期初回2回 ●…1期追加 ■…2期

■標準パターン

	1 期		2 期
	3歳	～	7歳6か月
基本 パターン	① ② (6～28日)	→ ● (6か月～1年6か月)	■ 9～12歳

【1回のみ接種】

	初回1回接種	7歳6か月まで	9～12歳
A	① (6か月～概ね4年まで)	→ ② ● (6-28日)	■

【2回のみ接種】

	初回2回接種	7歳6か月まで	9～12歳
C	① ② (6-28日)	→ ● (6か月～概ね4年)	■
D	① (6月～概ね1年6か月)	→ ② ● (6日-28日)	■

【対象年齢】

第1期：満3歳～7歳6か月未満（標準的には第1期初回は3歳以上4歳未満、第1期追加は4歳以上5歳未満）

第2期：満9歳～13歳未満（標準的には9歳以上10歳未満）

【平成31年3月作成】

接種パターン②

特例対象者（接種時点で20歳未満で平成19年4月1日以前生まれの者）

積極的接種勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逃した者

①・・・1期初回1回 ②・・・1期初回2回 ●・・・1期追加 ■・・・2期

【未接種】

	20歳未満で接種
A	

【1回のみ接種】

	初回1回接種	20歳未満で接種
B		
C		

【2回まで接種】

	初回2回接種	20歳未満
D		
E		

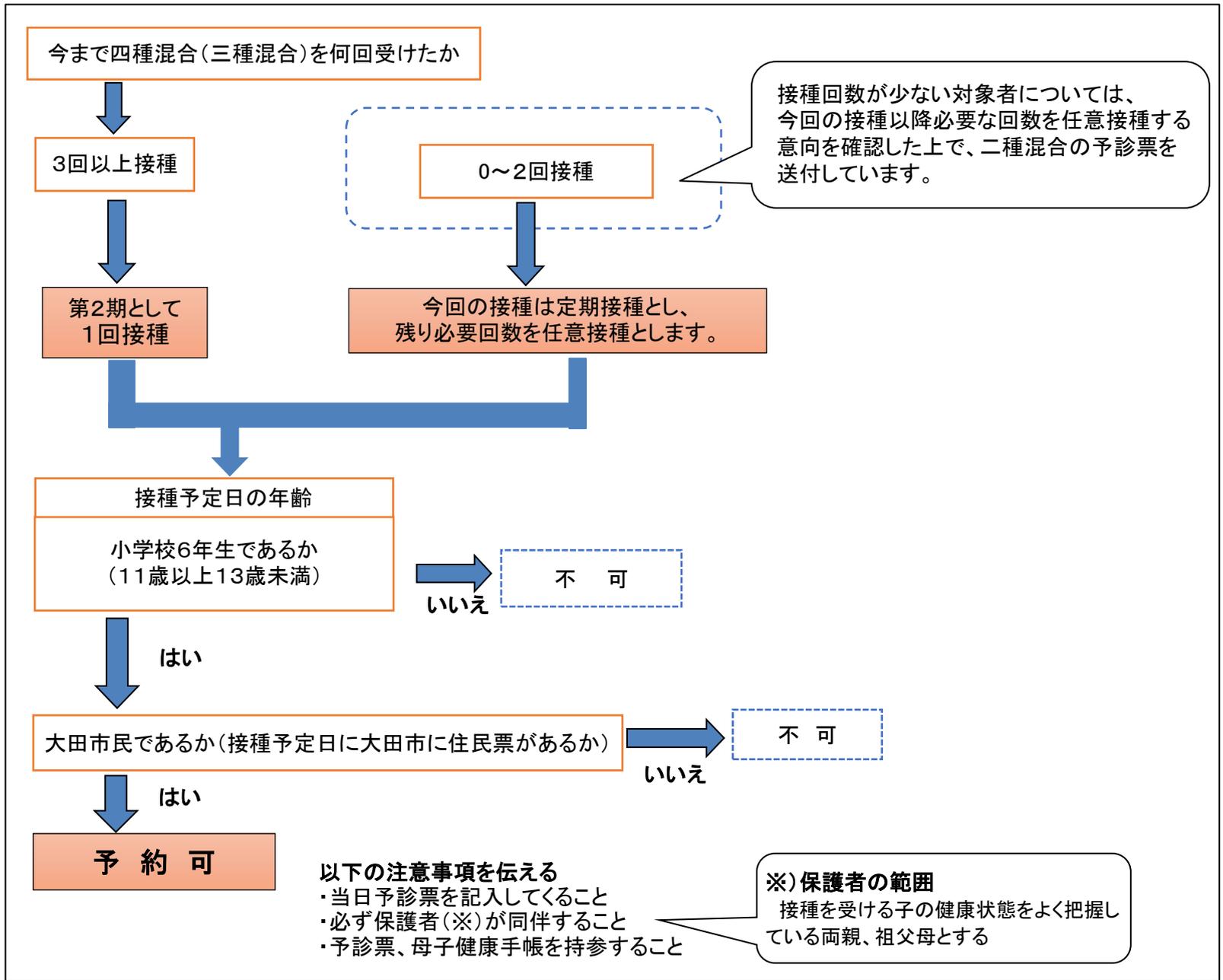
【3回まで接種】

	1期3回接種	20歳未満
F		
G		

※20歳の誕生日の前日までに、不足回数分を接種できます。

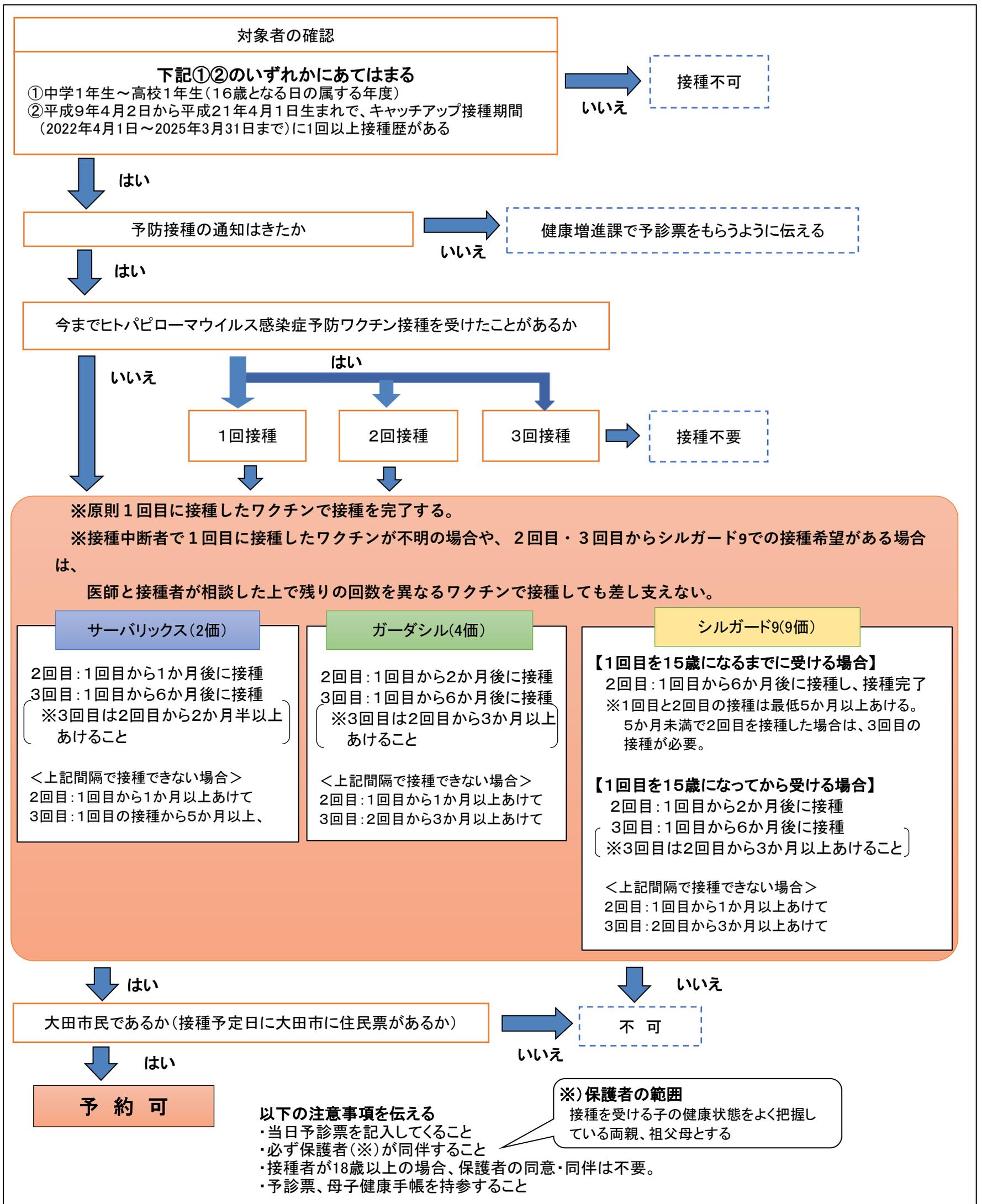
【令和5年3月作成】

二種混合接種実施フローチャート



【令和7年2月作成】

ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）ワクチン接種実施フローチャート



【令和7年2月作成】

資料編

予防接種を避けたい期間の目安と考え方 (2017)

【年齢や接種の必要性によって、さらに医師の考え方によっても多少、異なります。】

疾患名	本人が罹患した場合	接触した場合〔2次感染〕	本人	その家族や友人
麻疹〔麻しん〕	診断日から4～5週間ほど 〔不活化は4週、生は5週〕	3日以内ならすぐ接種 1週間以内にグロブリンも可		学童以上は抗体検査〔PA法・EIA/G法・NT法〕して、陰性ならすぐ接種 〔PA:256倍未満、EIA/G:8.0未満、NT:4倍未満〕
風疹〔三日ばしか〕	診断日から4週間ほど	間に合わない 2週間後の発症時の行動に注意		学童以上は抗体検査〔HI法〕して、陰性(16倍未満)ならすぐ接種 特に妊婦は注意 妊娠希望女性は32倍以上必要で濃厚接触を避ける
おたふくかぜ 〔ムンプス、流行性耳下腺炎〕	診断日から4週間ほど	間に合わない 2週間後の発症時の行動に注意		学童以上は抗体検査〔EIA/G法〕して、陰性〔6.0未満〕ならすぐ接種 せめて5.0以上あれば重症化は避けられるかも
水痘〔水ぼうそう〕	診断日から4週間ほど	3日以内ならすぐ接種 1週間後から5日間の予防内服も可		学童以上は抗体検査〔EIA/G法・IAHA法〕して、陰性ならすぐ接種 〔EIA/IgG:4.0未満、IAHA:4倍未満(乳幼児は2倍未満)〕
伝染性紅斑 〔りんご病〕	診断日から2週間ほど	診断日以降の接触は罹患しない 直前の接触は1～2週間観察		症状発現直前には感染力がある。 特に心配ないが、妊婦は接触を避ける
手足口病	診断日から2週間ほど	診断日以降の感染力は弱い 直前の接触は1～2週間観察		症状発現直前には感染力がある
突発性発疹	診断日から2週間ほど	罹患しない		罹患しない
流行性角結膜炎	診断日から1週間ほど 症状が消失するまで	よく手洗いをする 2～3日経過を見て発症がなければ可		よく手洗いをする
咽頭結膜熱	診断日から1週間ほど 症状が消失するまで	よく手洗いやうがいをする 2～3日経過を見て発症がなければ可		よく手洗いやうがいをする
ヘルパンギーナ	診断日から1週間ほど 症状が消失するまで	診断日以降の感染力は弱い 2～3日経過を見て発症がなければ可		よく手洗いやうがいをする
乳児嘔吐下痢症 〔ロタ、ノロ、その他〕	診断日から1週間ほど〔ロタは4週間〕 症状が消失するまで	よく手洗いをする 2～3日経過を見て発症がなければ可		よく手洗いをする
インフルエンザ	解熱後1週間ほど	よく手洗いをする 人込みを避ける 2～3日経過を見て発症がなければ可		よく手洗いをする 人込みを避ける うがいは無効 マスクは咳エチケットと喉の潤いのため
マイコプラズマ肺炎	症状が消失するまで	特に妨げない		特に妨げない
百日咳	症状が消失するまで	DPT3回まで未接種の乳児は予防内服 特に妨げない		DPTを確認して対応する 婚活・妊活計画にDPTを追加 S44年以降の生まれはの成人は、DPTで1回追加する
溶連菌感染症	症状が消失するまで	特に妨げない		特に妨げない
熱性痙攣	初回発作は1ヶ月程度、遅れないこと 発熱の原因の症状が軽快すれば接種可 高熱性疾患〔麻疹・ムンプス・水痘・インフルエンザ〕は罹患前に早々に接種する	特に妨げない 家族歴を考慮して、罹患前には接種する		特に妨げない 家族歴を考慮して、罹患前には接種する
グロブリン大量療法 〔川崎病〕 〔血小板減少性紫斑病〕	麻疹は12ヶ月以上〔せめて6ヶ月以上〕 その他の生は3～6ヶ月以上 BCG、ロタ、不活化は影響しない 経過観察に3ヶ月間は必要	罹患しない		罹患しない

予防接種スケジュール

予防接種には種類により適した年齢があり、それぞれ実施期間が決められています。
ワクチンで防げる病気からお子さんを守るために、接種に適したタイミングで忘れずに接種しましょう。

ワクチン名		接種済 ☑	0歳	1か	2か	3か	4か	5か	6か	7か	8か	9か	10か	11か	1歳	1か	2か	3か	4か	5か	6か	7か	8か	9か	10か	11か	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	
不活化 ワクチン	B型肝炎 (母子感染予防を除く)	□□□		①	②						③																												
生 ワクチン	ロタウイルス (飲むワクチン)	ロタリックス □□		①	②																																		
		ロタテック □□□		①	②	③																																	
不活化 ワクチン	小児用肺炎球菌	□□□□		①	②	③																																	
不活化 ワクチン	五種混合	□□□□		①	②	③																																	
生 ワクチン	B C G	□						①																															
生 ワクチン	麻しん風しん混合	□□													①																								
生 ワクチン	水痘 (みずぼうそう)	□□													①																								
不活化 ワクチン	日本脳炎	□□□□																																					
不活化 ワクチン	二種混合	□																																					
不活化 ワクチン	H P V (子宮頸がん予防)	2価 □□□																																					
		4価 □□□																																					
		9価 □□□																																					

□ 定期接種の対象年齢
 □ 任意で接種できる年齢（自費）
 ①～④…接種回数
 → おすすめ接種時期

□: 同時接種可能：同時に複数のワクチンを接種できます。安全性は単独で接種した場合と変わりません。

日本小児科学会の予防接種の同時接種に対する考え方

日本小児科学会

2011年1月19日

2014年1月12日 改訂

2020年11月24日 改訂

日本国内においては、2種類以上の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行う同時接種は、医師が特に必要と認めた場合に行うことができるとされている^(1, 2)。一方で、諸外国においては、同時接種は一般的に行われている医療行為である⁽³⁾。特に乳児期においては、多くのワクチン接種が複数回必要である。日本の子どもたちをこれらのワクチンで予防できる病気（VPD: Vaccine Preventable Diseases）から確実に守るためには、必要なワクチンを適切な時期に適切な回数接種することが重要である。そのためには、日本国内において、同時接種をより一般的な医療行為として行っていく必要がある。

同時接種について現在分かっていることとして以下のことがあげられる⁽⁴⁻⁶⁾。

- 1) 複数のワクチン(生ワクチンを含む)を同時に接種して、それぞれのワクチンに対する有効性について、お互いのワクチンによる干渉はない。(注)
- 2) 複数のワクチン(生ワクチンを含む)を同時に接種して、それぞれのワクチンの有害事象、副反応の頻度が上がることはない。
- 3) 同時接種において、接種できるワクチン(生ワクチンを含む)の本数に原則制限はない。

また、その利点として、以下の事項があげられる。

- 1) 各ワクチンの接種率が向上する。
- 2) 子どもたちがワクチンで予防される疾患から早期に守られる。
- 3) 保護者の経済的、時間的負担が軽減する。
- 4) 医療者の時間的負担が軽減する。

以上より、日本小児科学会は、ワクチンの同時接種は、日本の子どもたちをワクチンで予防できる病気から守るために必要な医療行為であると考える。

なお、同時接種を行う際、以下の点について留意する必要がある。

- 1) 複数のワクチンを1つのシリンジに混ぜて接種しない。
- 2) 皮下接種部位の候補場所として、上腕外側ならびに大腿前外側があげられる。
- 3) 上腕ならびに大腿の同側の近い部位に接種する際、接種部位の局所反応が出た場合に重ならないように、少なくとも2.5cm以上あける。

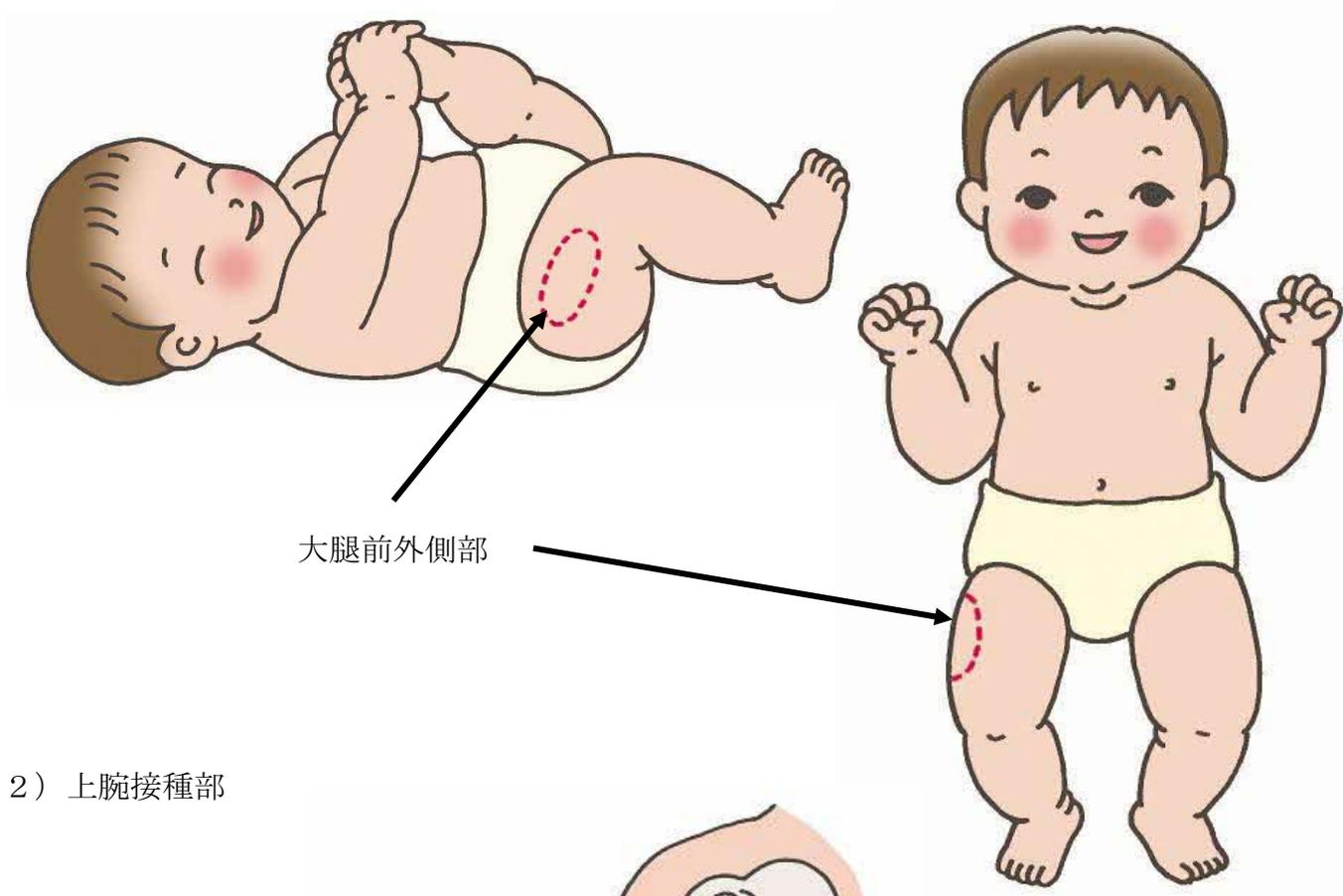
注：例外として、13価結合型肺炎球菌ワクチンと髄膜炎菌結合型ワクチン（メナクトラ®）の同時接種で、一部の血清型の肺炎球菌に対する抗体価の上昇が減弱することが報告されている。

参考文献

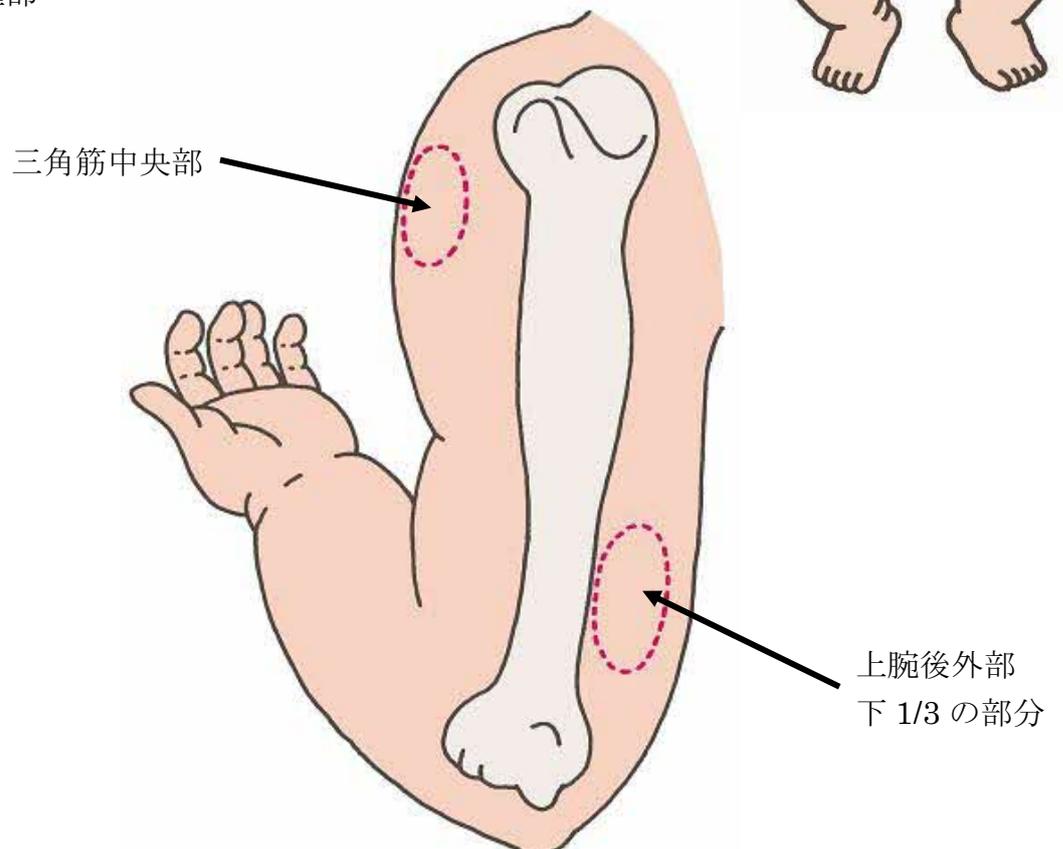
- (1) 厚生労働省：定期接種実施要領
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/teiki-yobou/10.html>
- (2) 予防接種ガイドライン等検討委員会 予防接種実施者のための予防接種必携. 発行財団法人予防接種リサーチセンター 令和2年度版 P.63
- (3) Plotkin SA, Orenstein WA, Offit PA, Edwards KM. Protokin's Vaccines, 7th Edition, 2018, Elsevier, Philadelphia, PA
- (4) The National Center for Immunization and Respiratory Diseases, Centers for Disease Control and Prevention. 13th Edition, Epidemiology and Prevention of Vaccine-Preventable Diseases(Pink Book). 2015 Public Health Foundation, Washington, DC
- (5) King GE, Hadler SC. Simultaneous Administration of childhood vaccine; an important health public policy that is safe and efficacious. *Pediatr Infect Dis J* 1994;13: 394-407.
- (6) Lewis M, Ramsey DS, Suomi SJ. Validating current immunization practice with young infants. *Pediatrics* 1992;90: 771-773.

「ワクチン同時接種の考え方」の添付図譜

1) 大腿接種部



2) 上腕接種部



定期の予防接種における対象者の解釈について

『●歳に達した時』の考え方

年齢は出生の日から起算され、期間はその末日の終了をもって満了するため、翌年の誕生日の前日（24時）に1歳年をとると考えます。

例えば、令和2年4月1日生まれの人であれば、令和3年3月31日（24時）に1歳に達したと考えます。

『●歳に達するまで』の考え方

誕生日の前日（24時）に1歳年をとると考えますので、令和2年4月1日生まれの人であれば、『1歳に達するまで』と言った場合、『令和3年3月31日まで』という意味になります。

*『達するまで』は、『至るまで』、『至った日まで』と同義であり、3月31日は含まれます。

『●歳以上』の考え方

誕生日の前日（24時）に1歳年をとると考えますので、令和2年4月1日生まれの人であれば、『1歳以上から接種可能』と言った場合、『令和3年3月31日から接種可能』という意味になります。

*厳密には24時に1歳年をとるので、3月31日であっても0時から24時に至るまでは、1歳に達していませんが、真夜中の24時に接種を受けられることは通常想定されないため、日中でも接種を受けられるように配慮したものです。

『●歳未満』の考え方

誕生日の前日（24時）に1歳年をとると考えますので、令和2年4月1日生まれの人であれば、『1歳未満まで接種可能』と言った場合、『令和3年3月31日まで接種可能』という意味になります。

*『●歳以上』の考え方では、被接種者の都合を考慮して、厳密には接種対象年齢には達していない時間帯も含めて、3月31日の丸一日を接種可能日としました。

一方、『●歳未満』の考え方では、厳密に前日（24時）に1歳年をとると考えて、3月31日24時に至るまでは接種可能とするものです。

『●歳に至った日』の考え方

誕生日の前日（24時）に1歳年をとると考えますので、令和2年4月1日生まれの人であれば、『1歳に至った日』は、『令和3年3月31日』を指します（3月31日は含まれます。）。

『●歳に至った日の翌日』の考え方

誕生日の前日に1歳年をとると考えますので、令和2年4月1日生まれの人であれば、『1歳に至った日の翌日』と言った場合、『令和3年4月1日』を指します。

『●歳に至るまで』の考え方

誕生日の前日（24時）に1歳年をとると考えますので、令和2年4月1日生まれの人であれば、『1歳に至るまで』と言った場合、『令和3年3月31日まで』という意味になります（3月31日は含まれません。）。

『生後1月に至るまで』の考え方

単位が月になった場合、暦に合わせて翌月の同日の前日に、1月が経過したと考えます。したがって、令和2年4月1日生まれの人であれば、翌月の同日（5月1日）の前日（4月30日）に生後1月を迎えたと考えます。

なお、翌月に同日となる日が存在しない場合には、翌月の最後の日に1月経過したと考えます。例えば、令和2年1月31日生まれの人であれば、2月29日に生後1月を迎えたと考えます。

『●歳に至るまでの間』の考え方

誕生日の前日（24時）に1歳年をとると考えますので、令和2年4月1日生まれの人であれば、『1歳に至るまでの間』と言った場合、『令和3年3月31日になるまで』という意味になります。

*3月31日までは対象となりますが、4月1日は対象外となります。

『生後3月から生後6月に至るまでの間』の考え方

令和2年4月1日生まれの人であれば、7月1日の前日（6月30日）に生後3月を迎えたと考えます。同様に、生後6月であれば、10月1日の前日（9月30日）に生後6月を迎えたと考えます。

したがって、この場合、『生後3月から生後6月に至るまでの間』とは『6月30日から9月30日までの期間内』ということになります。

『出生●週●日後から』の考え方

生まれた日の翌日から起算して、生まれた日の翌日を出生0週1日後と考えます。また、『出生●週●日後から』とは、『●週●日後』の日を含みます。

例えば、令和2年4月1日生まれの人であれば、『出生1週後から』と言った場合、『令和2年4月8日から』という意味になります（4月8日は含まれます。）。

*『出生●週●日後から』は、『生後●週に至った日の翌日から』と同義であり、4月8日は含まれます。

『出生●週●日後まで』の考え方

生まれた日の翌日から起算して、生まれた日の翌日を出生0週1日後と考えます。また、『出生●週●日まで』とは、『●週●日後』の日を含みます。

例えば、令和2年4月1日生まれの人であれば、『出生1週6日後まで』と言った場合、『令和2年4月14日まで』という意味になります（4月14日は含まれます。）。

*『出生●週●日まで』は、『生後●週に至る日の翌日まで』と同義であり、4月14日は含まれます。

B型肝炎ワクチン 定期接種について

(2016年 [平成28年] 10月1日より)

対象年齢

生後1歳に至るまでの間にあるお子さん

※ただし、2016年(平成28年)4月1日以降生まれのお子さんが対象
また、母子感染防止事業対象のお子さんは除く

接種方法

組み換え沈降B型肝炎ワクチンを27日以上の間隔を置いて2回接種した後、第1回目接種から139日以上の間隔を置いて1回接種する。毎回0.25mlを皮下に注射する。

標準接種

生後2か月に至ったときから、生後9か月に至るまで

接種可能ワクチン

ビームゲン®もしくはヘプタバックスII®

定期接種対象外の方について

接種開始時に1歳以上10歳未満の方

接種方法は定期接種と同様。ただし、2回目接種開始時に10歳以上の場合は各回0.5mLを筋肉内または皮下接種する。

接種開始時に10歳以上の方

接種方法は組み換え沈降B型肝炎ワクチンを27日以上の間隔を置いて2回接種した後、第1回目接種から139日以上の間隔を置いて1回接種する。毎回0.5mLを筋肉内または皮下接種する。

- 予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令(平成28年厚生労働省令第115号)
- 定期接種実施要領(平成28年6月22日)

より作成

B型肝炎ワクチン 接種早見表



初回 1 月接種

初回 2 月接種

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
1/1	1/29	5/21
1/2	1/30	5/22
1/3	1/31	5/23
1/4	2/1	5/24
1/5	2/2	5/25
1/6	2/3	5/26
1/7	2/4	5/27
1/8	2/5	5/28
1/9	2/6	5/29
1/10	2/7	5/30
1/11	2/8	5/31
1/12	2/9	6/1
1/13	2/10	6/2
1/14	2/11	6/3
1/15	2/12	6/4
1/16	2/13	6/5
1/17	2/14	6/6
1/18	2/15	6/7
1/19	2/16	6/8
1/20	2/17	6/9
1/21	2/18	6/10
1/22	2/19	6/11
1/23	2/20	6/12
1/24	2/21	6/13
1/25	2/22	6/14
1/26	2/23	6/15
1/27	2/24	6/16
1/28	2/25	6/17
1/29	2/26	6/18
1/30	2/27	6/19
1/31	2/28	6/20

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
2/1	3/1	6/21
2/2	3/2	6/22
2/3	3/3	6/23
2/4	3/4	6/24
2/5	3/5	6/25
2/6	3/6	6/26
2/7	3/7	6/27
2/8	3/8	6/28
2/9	3/9	6/29
2/10	3/10	6/30
2/11	3/11	7/1
2/12	3/12	7/2
2/13	3/13	7/3
2/14	3/14	7/4
2/15	3/15	7/5
2/16	3/16	7/6
2/17	3/17	7/7
2/18	3/18	7/8
2/19	3/19	7/9
2/20	3/20	7/10
2/21	3/21	7/11
2/22	3/22	7/12
2/23	3/23	7/13
2/24	3/24	7/14
2/25	3/25	7/15
2/26	3/26	7/16
2/27	3/27	7/17
2/28	3/28	7/18

B型肝炎ワクチン 接種早見表

初回 3 月接種

初回 4 月接種

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
3/1	3/29	7/19
3/2	3/30	7/20
3/3	3/31	7/21
3/4	4/1	7/22
3/5	4/2	7/23
3/6	4/3	7/24
3/7	4/4	7/25
3/8	4/5	7/26
3/9	4/6	7/27
3/10	4/7	7/28
3/11	4/8	7/29
3/12	4/9	7/30
3/13	4/10	7/31
3/14	4/11	8/1
3/15	4/12	8/2
3/16	4/13	8/3
3/17	4/14	8/4
3/18	4/15	8/5
3/19	4/16	8/6
3/20	4/17	8/7
3/21	4/18	8/8
3/22	4/19	8/9
3/23	4/20	8/10
3/24	4/21	8/11
3/25	4/22	8/12
3/26	4/23	8/13
3/27	4/24	8/14
3/28	4/25	8/15
3/29	4/26	8/16
3/30	4/27	8/17
3/31	4/28	8/18

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
4/1	4/29	8/19
4/2	4/30	8/20
4/3	5/1	8/21
4/4	5/2	8/22
4/5	5/3	8/23
4/6	5/4	8/24
4/7	5/5	8/25
4/8	5/6	8/26
4/9	5/7	8/27
4/10	5/8	8/28
4/11	5/9	8/29
4/12	5/10	8/30
4/13	5/11	8/31
4/14	5/12	9/1
4/15	5/13	9/2
4/16	5/14	9/3
4/17	5/15	9/4
4/18	5/16	9/5
4/19	5/17	9/6
4/20	5/18	9/7
4/21	5/19	9/8
4/22	5/20	9/9
4/23	5/21	9/10
4/24	5/22	9/11
4/25	5/23	9/12
4/26	5/24	9/13
4/27	5/25	9/14
4/28	5/26	9/15
4/29	5/27	9/16
4/30	5/28	9/17

初回 5 月接種

初回 6 月接種



1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
5/1	5/29	9/18
5/2	5/30	9/19
5/3	5/31	9/20
5/4	6/1	9/21
5/5	6/2	9/22
5/6	6/3	9/23
5/7	6/4	9/24
5/8	6/5	9/25
5/9	6/6	9/26
5/10	6/7	9/27
5/11	6/8	9/28
5/12	6/9	9/29
5/13	6/10	9/30
5/14	6/11	10/1
5/15	6/12	10/2
5/16	6/13	10/3
5/17	6/14	10/4
5/18	6/15	10/5
5/19	6/16	10/6
5/20	6/17	10/7
5/21	6/18	10/8
5/22	6/19	10/9
5/23	6/20	10/10
5/24	6/21	10/11
5/25	6/22	10/12
5/26	6/23	10/13
5/27	6/24	10/14
5/28	6/25	10/15
5/29	6/26	10/16
5/30	6/27	10/17
5/31	6/28	10/18

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
6/1	6/29	10/19
6/2	6/30	10/20
6/3	7/1	10/21
6/4	7/2	10/22
6/5	7/3	10/23
6/6	7/4	10/24
6/7	7/5	10/25
6/8	7/6	10/26
6/9	7/7	10/27
6/10	7/8	10/28
6/11	7/9	10/29
6/12	7/10	10/30
6/13	7/11	10/31
6/14	7/12	11/1
6/15	7/13	11/2
6/16	7/14	11/3
6/17	7/15	11/4
6/18	7/16	11/5
6/19	7/17	11/6
6/20	7/18	11/7
6/21	7/19	11/8
6/22	7/20	11/9
6/23	7/21	11/10
6/24	7/22	11/11
6/25	7/23	11/12
6/26	7/24	11/13
6/27	7/25	11/14
6/28	7/26	11/15
6/29	7/27	11/16
6/30	7/28	11/17

B型肝炎ワクチン 接種早見表

初回 7 月接種



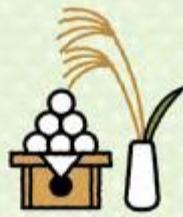
初回 8 月接種

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
7/1	7/29	11/18
7/2	7/30	11/19
7/3	7/31	11/20
7/4	8/1	11/21
7/5	8/2	11/22
7/6	8/3	11/23
7/7	8/4	11/24
7/8	8/5	11/25
7/9	8/6	11/26
7/10	8/7	11/27
7/11	8/8	11/28
7/12	8/9	11/29
7/13	8/10	11/30
7/14	8/11	12/1
7/15	8/12	12/2
7/16	8/13	12/3
7/17	8/14	12/4
7/18	8/15	12/5
7/19	8/16	12/6
7/20	8/17	12/7
7/21	8/18	12/8
7/22	8/19	12/9
7/23	8/20	12/10
7/24	8/21	12/11
7/25	8/22	12/12
7/26	8/23	12/13
7/27	8/24	12/14
7/28	8/25	12/15
7/29	8/26	12/16
7/30	8/27	12/17
7/31	8/28	12/18

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
8/1	8/29	12/19
8/2	8/30	12/20
8/3	8/31	12/21
8/4	9/1	12/22
8/5	9/2	12/23
8/6	9/3	12/24
8/7	9/4	12/25
8/8	9/5	12/26
8/9	9/6	12/27
8/10	9/7	12/28
8/11	9/8	12/29
8/12	9/9	12/30
8/13	9/10	12/31
8/14	9/11	1/1
8/15	9/12	1/2
8/16	9/13	1/3
8/17	9/14	1/4
8/18	9/15	1/5
8/19	9/16	1/6
8/20	9/17	1/7
8/21	9/18	1/8
8/22	9/19	1/9
8/23	9/20	1/10
8/24	9/21	1/11
8/25	9/22	1/12
8/26	9/23	1/13
8/27	9/24	1/14
8/28	9/25	1/15
8/29	9/26	1/16
8/30	9/27	1/17
8/31	9/28	1/18

B型肝炎ワクチン 接種早見表

初回 9 月接種



初回 10 月接種

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
9/1	9/29	1/19
9/2	9/30	1/20
9/3	10/1	1/21
9/4	10/2	1/22
9/5	10/3	1/23
9/6	10/4	1/24
9/7	10/5	1/25
9/8	10/6	1/26
9/9	10/7	1/27
9/10	10/8	1/28
9/11	10/9	1/29
9/12	10/10	1/30
9/13	10/11	1/31
9/14	10/12	2/1
9/15	10/13	2/2
9/16	10/14	2/3
9/17	10/15	2/4
9/18	10/16	2/5
9/19	10/17	2/6
9/20	10/18	2/7
9/21	10/19	2/8
9/22	10/20	2/9
9/23	10/21	2/10
9/24	10/22	2/11
9/25	10/23	2/12
9/26	10/24	2/13
9/27	10/25	2/14
9/28	10/26	2/15
9/29	10/27	2/16
9/30	10/28	2/17

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
10/1	10/29	2/18
10/2	10/30	2/19
10/3	10/31	2/20
10/4	11/1	2/21
10/5	11/2	2/22
10/6	11/3	2/23
10/7	11/4	2/24
10/8	11/5	2/25
10/9	11/6	2/26
10/10	11/7	2/27
10/11	11/8	2/28
10/12	11/9	3/1
10/13	11/10	3/2
10/14	11/11	3/3
10/15	11/12	3/4
10/16	11/13	3/5
10/17	11/14	3/6
10/18	11/15	3/7
10/19	11/16	3/8
10/20	11/17	3/9
10/21	11/18	3/10
10/22	11/19	3/11
10/23	11/20	3/12
10/24	11/21	3/13
10/25	11/22	3/14
10/26	11/23	3/15
10/27	11/24	3/16
10/28	11/25	3/17
10/29	11/26	3/18
10/30	11/27	3/19
10/31	11/28	3/20

B型肝炎ワクチン 接種早見表

初回 11 月接種

初回 12 月接種

1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔	1回目接種	2回目接種 初回接種から 27日以上の間隔	3回目接種 初回接種から 139日以上の間隔
11/1	11/29	3/21	12/1	12/29	4/20
11/2	11/30	3/22	12/2	12/30	4/21
11/3	12/1	3/23	12/3	12/31	4/22
11/4	12/2	3/24	12/4	1/1	4/23
11/5	12/3	3/25	12/5	1/2	4/24
11/6	12/4	3/26	12/6	1/3	4/25
11/7	12/5	3/27	12/7	1/4	4/26
11/8	12/6	3/28	12/8	1/5	4/27
11/9	12/7	3/29	12/9	1/6	4/28
11/10	12/8	3/30	12/10	1/7	4/29
11/11	12/9	3/31	12/11	1/8	4/30
11/12	12/10	4/1	12/12	1/9	5/1
11/13	12/11	4/2	12/13	1/10	5/2
11/14	12/12	4/3	12/14	1/11	5/3
11/15	12/13	4/4	12/15	1/12	5/4
11/16	12/14	4/5	12/16	1/13	5/5
11/17	12/15	4/6	12/17	1/14	5/6
11/18	12/16	4/7	12/18	1/15	5/7
11/19	12/17	4/8	12/19	1/16	5/8
11/20	12/18	4/9	12/20	1/17	5/9
11/21	12/19	4/10	12/21	1/18	5/10
11/22	12/20	4/11	12/22	1/19	5/11
11/23	12/21	4/12	12/23	1/20	5/12
11/24	12/22	4/13	12/24	1/21	5/13
11/25	12/23	4/14	12/25	1/22	5/14
11/26	12/24	4/15	12/26	1/23	5/15
11/27	12/25	4/16	12/27	1/24	5/16
11/28	12/26	4/17	12/28	1/25	5/17
11/29	12/27	4/18	12/29	1/26	5/18
11/30	12/28	4/19	12/30	1/27	5/19
			12/31	1/28	5/20



ロタリックスの 接種について

2022年1月～2023年12月生まれ用

接種対象者・接種時期

- ロタリックスの定期接種対象期間は、出生6週0日後から出生24週0日後までになります。
- 初回接種については、生後2月に至った日から、出生14週6日後までの間が標準的な接種期間です。

【この資料(表)の見方】

例) 2022年11月21日生まれの赤ちゃんがロタリックスを接種する場合

初回接種について					2回目最終日
出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
11/21 月	1/2 月	1/20 金	3/5 日	4/10 月	5/8 月

法改正にともない祝日が変更となる場合があります。

2022年 1 月生まれ



出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
1/1 土	2/12 土	2/28 月	4/15 金	5/21 土	6/18 土
1/2 日	2/13 日	3/1 火	4/16 土	5/22 日	6/19 日
1/3 月	2/14 月	3/2 水	4/17 日	5/23 月	6/20 月
1/4 火	2/15 火	3/3 木	4/18 月	5/24 火	6/21 火
1/5 水	2/16 水	3/4 金	4/19 火	5/25 水	6/22 水
1/6 木	2/17 木	3/5 土	4/20 水	5/26 木	6/23 木
1/7 金	2/18 金	3/6 日	4/21 木	5/27 金	6/24 金
1/8 土	2/19 土	3/7 月	4/22 金	5/28 土	6/25 土
1/9 日	2/20 日	3/8 火	4/23 土	5/29 日	6/26 日
1/10 月	2/21 月	3/9 水	4/24 日	5/30 月	6/27 月
1/11 火	2/22 火	3/10 木	4/25 月	5/31 火	6/28 火
1/12 水	2/23 水	3/11 金	4/26 火	6/1 水	6/29 水
1/13 木	2/24 木	3/12 土	4/27 水	6/2 木	6/30 木
1/14 金	2/25 金	3/13 日	4/28 木	6/3 金	7/1 金
1/15 土	2/26 土	3/14 月	4/29 金	6/4 土	7/2 土
1/16 日	2/27 日	3/15 火	4/30 土	6/5 日	7/3 日
1/17 月	2/28 月	3/16 水	5/1 日	6/6 月	7/4 月
1/18 火	3/1 火	3/17 木	5/2 月	6/7 火	7/5 火
1/19 水	3/2 水	3/18 金	5/3 火	6/8 水	7/6 水
1/20 木	3/3 木	3/19 土	5/4 水	6/9 木	7/7 木
1/21 金	3/4 金	3/20 日	5/5 木	6/10 金	7/8 金
1/22 土	3/5 土	3/21 月	5/6 金	6/11 土	7/9 土
1/23 日	3/6 日	3/22 火	5/7 土	6/12 日	7/10 日
1/24 月	3/7 月	3/23 水	5/8 日	6/13 月	7/11 月
1/25 火	3/8 火	3/24 木	5/9 月	6/14 火	7/12 火
1/26 水	3/9 水	3/25 金	5/10 火	6/15 水	7/13 水
1/27 木	3/10 木	3/26 土	5/11 水	6/16 木	7/14 木
1/28 金	3/11 金	3/27 日	5/12 木	6/17 金	7/15 金
1/29 土	3/12 土	3/28 月	5/13 金	6/18 土	7/16 土
1/30 日	3/13 日	3/29 火	5/14 土	6/19 日	7/17 日
1/31 月	3/14 月	3/30 水	5/15 日	6/20 月	7/18 月

ロタリックス 接種早見表

2022年 **2** 月生まれ

出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
2/1 火	3/15 火	3/31 木	5/16 月	6/21 火	7/19 火
2/2 水	3/16 水	4/1 金	5/17 火	6/22 水	7/20 水
2/3 木	3/17 木	4/2 土	5/18 水	6/23 木	7/21 木
2/4 金	3/18 金	4/3 日	5/19 木	6/24 金	7/22 金
2/5 土	3/19 土	4/4 月	5/20 金	6/25 土	7/23 土
2/6 日	3/20 日	4/5 火	5/21 土	6/26 日	7/24 日
2/7 月	3/21 月	4/6 水	5/22 日	6/27 月	7/25 月
2/8 火	3/22 火	4/7 木	5/23 月	6/28 火	7/26 火
2/9 水	3/23 水	4/8 金	5/24 火	6/29 水	7/27 水
2/10 木	3/24 木	4/9 土	5/25 水	6/30 木	7/28 木
2/11 金	3/25 金	4/10 日	5/26 木	7/1 金	7/29 金
2/12 土	3/26 土	4/11 月	5/27 金	7/2 土	7/30 土
2/13 日	3/27 日	4/12 火	5/28 土	7/3 日	7/31 日
2/14 月	3/28 月	4/13 水	5/29 日	7/4 月	8/1 月
2/15 火	3/29 火	4/14 木	5/30 月	7/5 火	8/2 火
2/16 水	3/30 水	4/15 金	5/31 火	7/6 水	8/3 水
2/17 木	3/31 木	4/16 土	6/1 水	7/7 木	8/4 木
2/18 金	4/1 金	4/17 日	6/2 木	7/8 金	8/5 金
2/19 土	4/2 土	4/18 月	6/3 金	7/9 土	8/6 土
2/20 日	4/3 日	4/19 火	6/4 土	7/10 日	8/7 日
2/21 月	4/4 月	4/20 水	6/5 日	7/11 月	8/8 月
2/22 火	4/5 火	4/21 木	6/6 月	7/12 火	8/9 火
2/23 水	4/6 水	4/22 金	6/7 火	7/13 水	8/10 水
2/24 木	4/7 木	4/23 土	6/8 水	7/14 木	8/11 木
2/25 金	4/8 金	4/24 日	6/9 木	7/15 金	8/12 金
2/26 土	4/9 土	4/25 月	6/10 金	7/16 土	8/13 土
2/27 日	4/10 日	4/26 火	6/11 土	7/17 日	8/14 日
2/28 月	4/11 月	4/27 水	6/12 日	7/18 月	8/15 月

2022年

ロタリクス 接種早見表

2022年 3 月生まれ

出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
3/1 火	4/12 火	4/30 土	6/13 月	7/19 火	8/16 火
3/2 水	4/13 水	5/1 日	6/14 火	7/20 水	8/17 水
3/3 木	4/14 木	5/2 月	6/15 水	7/21 木	8/18 木
3/4 金	4/15 金	5/3 火	6/16 木	7/22 金	8/19 金
3/5 土	4/16 土	5/4 水	6/17 金	7/23 土	8/20 土
3/6 日	4/17 日	5/5 木	6/18 土	7/24 日	8/21 日
3/7 月	4/18 月	5/6 金	6/19 日	7/25 月	8/22 月
3/8 火	4/19 火	5/7 土	6/20 月	7/26 火	8/23 火
3/9 水	4/20 水	5/8 日	6/21 火	7/27 水	8/24 水
3/10 木	4/21 木	5/9 月	6/22 水	7/28 木	8/25 木
3/11 金	4/22 金	5/10 火	6/23 木	7/29 金	8/26 金
3/12 土	4/23 土	5/11 水	6/24 金	7/30 土	8/27 土
3/13 日	4/24 日	5/12 木	6/25 土	7/31 日	8/28 日
3/14 月	4/25 月	5/13 金	6/26 日	8/1 月	8/29 月
3/15 火	4/26 火	5/14 土	6/27 月	8/2 火	8/30 火
3/16 水	4/27 水	5/15 日	6/28 火	8/3 水	8/31 水
3/17 木	4/28 木	5/16 月	6/29 水	8/4 木	9/1 木
3/18 金	4/29 金	5/17 火	6/30 木	8/5 金	9/2 金
3/19 土	4/30 土	5/18 水	7/1 金	8/6 土	9/3 土
3/20 日	5/1 日	5/19 木	7/2 土	8/7 日	9/4 日
3/21 月	5/2 月	5/20 金	7/3 日	8/8 月	9/5 月
3/22 火	5/3 火	5/21 土	7/4 月	8/9 火	9/6 火
3/23 水	5/4 水	5/22 日	7/5 火	8/10 水	9/7 水
3/24 木	5/5 木	5/23 月	7/6 水	8/11 木	9/8 木
3/25 金	5/6 金	5/24 火	7/7 木	8/12 金	9/9 金
3/26 土	5/7 土	5/25 水	7/8 金	8/13 土	9/10 土
3/27 日	5/8 日	5/26 木	7/9 土	8/14 日	9/11 日
3/28 月	5/9 月	5/27 金	7/10 日	8/15 月	9/12 月
3/29 火	5/10 火	5/28 土	7/11 月	8/16 火	9/13 火
3/30 水	5/11 水	5/29 日	7/12 火	8/17 水	9/14 水
3/31 木	5/12 木	5/30 月	7/13 水	8/18 木	9/15 木

ロタリクス 接種早見表

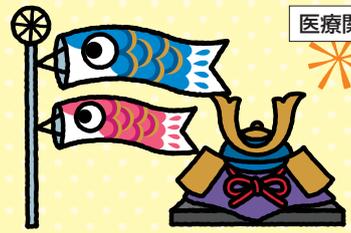
2022年 4 月生まれ



出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
4/1 金	5/13 金	5/31 火	7/14 木	8/19 金	9/16 金
4/2 土	5/14 土	6/1 水	7/15 金	8/20 土	9/17 土
4/3 日	5/15 日	6/2 木	7/16 土	8/21 日	9/18 日
4/4 月	5/16 月	6/3 金	7/17 日	8/22 月	9/19 月
4/5 火	5/17 火	6/4 土	7/18 月	8/23 火	9/20 火
4/6 水	5/18 水	6/5 日	7/19 火	8/24 水	9/21 水
4/7 木	5/19 木	6/6 月	7/20 水	8/25 木	9/22 木
4/8 金	5/20 金	6/7 火	7/21 木	8/26 金	9/23 金
4/9 土	5/21 土	6/8 水	7/22 金	8/27 土	9/24 土
4/10 日	5/22 日	6/9 木	7/23 土	8/28 日	9/25 日
4/11 月	5/23 月	6/10 金	7/24 日	8/29 月	9/26 月
4/12 火	5/24 火	6/11 土	7/25 月	8/30 火	9/27 火
4/13 水	5/25 水	6/12 日	7/26 火	8/31 水	9/28 水
4/14 木	5/26 木	6/13 月	7/27 水	9/1 木	9/29 木
4/15 金	5/27 金	6/14 火	7/28 木	9/2 金	9/30 金
4/16 土	5/28 土	6/15 水	7/29 金	9/3 土	10/1 土
4/17 日	5/29 日	6/16 木	7/30 土	9/4 日	10/2 日
4/18 月	5/30 月	6/17 金	7/31 日	9/5 月	10/3 月
4/19 火	5/31 火	6/18 土	8/1 月	9/6 火	10/4 火
4/20 水	6/1 水	6/19 日	8/2 火	9/7 水	10/5 水
4/21 木	6/2 木	6/20 月	8/3 水	9/8 木	10/6 木
4/22 金	6/3 金	6/21 火	8/4 木	9/9 金	10/7 金
4/23 土	6/4 土	6/22 水	8/5 金	9/10 土	10/8 土
4/24 日	6/5 日	6/23 木	8/6 土	9/11 日	10/9 日
4/25 月	6/6 月	6/24 金	8/7 日	9/12 月	10/10 月
4/26 火	6/7 火	6/25 土	8/8 月	9/13 火	10/11 火
4/27 水	6/8 水	6/26 日	8/9 火	9/14 水	10/12 水
4/28 木	6/9 木	6/27 月	8/10 水	9/15 木	10/13 木
4/29 金	6/10 金	6/28 火	8/11 木	9/16 金	10/14 金
4/30 土	6/11 土	6/29 水	8/12 金	9/17 土	10/15 土

2022年

2022年 5月生まれ



出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
5/1 日	6/12 日	6/30 木	8/13 土	9/18 日	10/16 日
5/2 月	6/13 月	7/1 金	8/14 日	9/19 月	10/17 月
5/3 火	6/14 火	7/2 土	8/15 月	9/20 火	10/18 火
5/4 水	6/15 水	7/3 日	8/16 火	9/21 水	10/19 水
5/5 木	6/16 木	7/4 月	8/17 水	9/22 木	10/20 木
5/6 金	6/17 金	7/5 火	8/18 木	9/23 金	10/21 金
5/7 土	6/18 土	7/6 水	8/19 金	9/24 土	10/22 土
5/8 日	6/19 日	7/7 木	8/20 土	9/25 日	10/23 日
5/9 月	6/20 月	7/8 金	8/21 日	9/26 月	10/24 月
5/10 火	6/21 火	7/9 土	8/22 月	9/27 火	10/25 火
5/11 水	6/22 水	7/10 日	8/23 火	9/28 水	10/26 水
5/12 木	6/23 木	7/11 月	8/24 水	9/29 木	10/27 木
5/13 金	6/24 金	7/12 火	8/25 木	9/30 金	10/28 金
5/14 土	6/25 土	7/13 水	8/26 金	10/1 土	10/29 土
5/15 日	6/26 日	7/14 木	8/27 土	10/2 日	10/30 日
5/16 月	6/27 月	7/15 金	8/28 日	10/3 月	10/31 月
5/17 火	6/28 火	7/16 土	8/29 月	10/4 火	11/1 火
5/18 水	6/29 水	7/17 日	8/30 火	10/5 水	11/2 水
5/19 木	6/30 木	7/18 月	8/31 水	10/6 木	11/3 木
5/20 金	7/1 金	7/19 火	9/1 木	10/7 金	11/4 金
5/21 土	7/2 土	7/20 水	9/2 金	10/8 土	11/5 土
5/22 日	7/3 日	7/21 木	9/3 土	10/9 日	11/6 日
5/23 月	7/4 月	7/22 金	9/4 日	10/10 月	11/7 月
5/24 火	7/5 火	7/23 土	9/5 月	10/11 火	11/8 火
5/25 水	7/6 水	7/24 日	9/6 火	10/12 水	11/9 水
5/26 木	7/7 木	7/25 月	9/7 水	10/13 木	11/10 木
5/27 金	7/8 金	7/26 火	9/8 木	10/14 金	11/11 金
5/28 土	7/9 土	7/27 水	9/9 金	10/15 土	11/12 土
5/29 日	7/10 日	7/28 木	9/10 土	10/16 日	11/13 日
5/30 月	7/11 月	7/29 金	9/11 日	10/17 月	11/14 月
5/31 火	7/12 火	7/30 土	9/12 月	10/18 火	11/15 火

ロタリクス 接種早見表

2022年 6月生まれ

誕生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
6/1 水	7/13 水	7/31 日	9/13 火	10/19 水	11/16 水
6/2 木	7/14 木	8/1 月	9/14 水	10/20 木	11/17 木
6/3 金	7/15 金	8/2 火	9/15 木	10/21 金	11/18 金
6/4 土	7/16 土	8/3 水	9/16 金	10/22 土	11/19 土
6/5 日	7/17 日	8/4 木	9/17 土	10/23 日	11/20 日
6/6 月	7/18 月	8/5 金	9/18 日	10/24 月	11/21 月
6/7 火	7/19 火	8/6 土	9/19 月	10/25 火	11/22 火
6/8 水	7/20 水	8/7 日	9/20 火	10/26 水	11/23 水
6/9 木	7/21 木	8/8 月	9/21 水	10/27 木	11/24 木
6/10 金	7/22 金	8/9 火	9/22 木	10/28 金	11/25 金
6/11 土	7/23 土	8/10 水	9/23 金	10/29 土	11/26 土
6/12 日	7/24 日	8/11 木	9/24 土	10/30 日	11/27 日
6/13 月	7/25 月	8/12 金	9/25 日	10/31 月	11/28 月
6/14 火	7/26 火	8/13 土	9/26 月	11/1 火	11/29 火
6/15 水	7/27 水	8/14 日	9/27 火	11/2 水	11/30 水
6/16 木	7/28 木	8/15 月	9/28 水	11/3 木	12/1 木
6/17 金	7/29 金	8/16 火	9/29 木	11/4 金	12/2 金
6/18 土	7/30 土	8/17 水	9/30 金	11/5 土	12/3 土
6/19 日	7/31 日	8/18 木	10/1 土	11/6 日	12/4 日
6/20 月	8/1 月	8/19 金	10/2 日	11/7 月	12/5 月
6/21 火	8/2 火	8/20 土	10/3 月	11/8 火	12/6 火
6/22 水	8/3 水	8/21 日	10/4 火	11/9 水	12/7 水
6/23 木	8/4 木	8/22 月	10/5 水	11/10 木	12/8 木
6/24 金	8/5 金	8/23 火	10/6 木	11/11 金	12/9 金
6/25 土	8/6 土	8/24 水	10/7 金	11/12 土	12/10 土
6/26 日	8/7 日	8/25 木	10/8 土	11/13 日	12/11 日
6/27 月	8/8 月	8/26 金	10/9 日	11/14 月	12/12 月
6/28 火	8/9 火	8/27 土	10/10 月	11/15 火	12/13 火
6/29 水	8/10 水	8/28 日	10/11 火	11/16 水	12/14 水
6/30 木	8/11 木	8/29 月	10/12 水	11/17 木	12/15 木

2022年

2022年 7月生まれ



出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
7/1 金	8/12 金	8/31 水	10/13 木	11/18 金	12/16 金
7/2 土	8/13 土	9/1 木	10/14 金	11/19 土	12/17 土
7/3 日	8/14 日	9/2 金	10/15 土	11/20 日	12/18 日
7/4 月	8/15 月	9/3 土	10/16 日	11/21 月	12/19 月
7/5 火	8/16 火	9/4 日	10/17 月	11/22 火	12/20 火
7/6 水	8/17 水	9/5 月	10/18 火	11/23 水	12/21 水
7/7 木	8/18 木	9/6 火	10/19 水	11/24 木	12/22 木
7/8 金	8/19 金	9/7 水	10/20 木	11/25 金	12/23 金
7/9 土	8/20 土	9/8 木	10/21 金	11/26 土	12/24 土
7/10 日	8/21 日	9/9 金	10/22 土	11/27 日	12/25 日
7/11 月	8/22 月	9/10 土	10/23 日	11/28 月	12/26 月
7/12 火	8/23 火	9/11 日	10/24 月	11/29 火	12/27 火
7/13 水	8/24 水	9/12 月	10/25 火	11/30 水	12/28 水
7/14 木	8/25 木	9/13 火	10/26 水	12/1 木	12/29 木
7/15 金	8/26 金	9/14 水	10/27 木	12/2 金	12/30 金
7/16 土	8/27 土	9/15 木	10/28 金	12/3 土	12/31 土
7/17 日	8/28 日	9/16 金	10/29 土	12/4 日	1/1 日
7/18 月	8/29 月	9/17 土	10/30 日	12/5 月	1/2 月
7/19 火	8/30 火	9/18 日	10/31 月	12/6 火	1/3 火
7/20 水	8/31 水	9/19 月	11/1 火	12/7 水	1/4 水
7/21 木	9/1 木	9/20 火	11/2 水	12/8 木	1/5 木
7/22 金	9/2 金	9/21 水	11/3 木	12/9 金	1/6 金
7/23 土	9/3 土	9/22 木	11/4 金	12/10 土	1/7 土
7/24 日	9/4 日	9/23 金	11/5 土	12/11 日	1/8 日
7/25 月	9/5 月	9/24 土	11/6 日	12/12 月	1/9 月
7/26 火	9/6 火	9/25 日	11/7 月	12/13 火	1/10 火
7/27 水	9/7 水	9/26 月	11/8 火	12/14 水	1/11 水
7/28 木	9/8 木	9/27 火	11/9 水	12/15 木	1/12 木
7/29 金	9/9 金	9/28 水	11/10 木	12/16 金	1/13 金
7/30 土	9/10 土	9/29 木	11/11 金	12/17 土	1/14 土
7/31 日	9/11 日	9/30 金	11/12 土	12/18 日	1/15 日

ロタリックス 接種早見表

2022年 8 月生まれ

誕生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
8/1 月	9/12 月	9/30 金	11/13 日	12/19 月	1/16 月
8/2 火	9/13 火	10/1 土	11/14 月	12/20 火	1/17 火
8/3 水	9/14 水	10/2 日	11/15 火	12/21 水	1/18 水
8/4 木	9/15 木	10/3 月	11/16 水	12/22 木	1/19 木
8/5 金	9/16 金	10/4 火	11/17 木	12/23 金	1/20 金
8/6 土	9/17 土	10/5 水	11/18 金	12/24 土	1/21 土
8/7 日	9/18 日	10/6 木	11/19 土	12/25 日	1/22 日
8/8 月	9/19 月	10/7 金	11/20 日	12/26 月	1/23 月
8/9 火	9/20 火	10/8 土	11/21 月	12/27 火	1/24 火
8/10 水	9/21 水	10/9 日	11/22 火	12/28 水	1/25 水
8/11 木	9/22 木	10/10 月	11/23 水	12/29 木	1/26 木
8/12 金	9/23 金	10/11 火	11/24 木	12/30 金	1/27 金
8/13 土	9/24 土	10/12 水	11/25 金	12/31 土	1/28 土
8/14 日	9/25 日	10/13 木	11/26 土	1/1 日	1/29 日
8/15 月	9/26 月	10/14 金	11/27 日	1/2 月	1/30 月
8/16 火	9/27 火	10/15 土	11/28 月	1/3 火	1/31 火
8/17 水	9/28 水	10/16 日	11/29 火	1/4 水	2/1 水
8/18 木	9/29 木	10/17 月	11/30 水	1/5 木	2/2 木
8/19 金	9/30 金	10/18 火	12/1 木	1/6 金	2/3 金
8/20 土	10/1 土	10/19 水	12/2 金	1/7 土	2/4 土
8/21 日	10/2 日	10/20 木	12/3 土	1/8 日	2/5 日
8/22 月	10/3 月	10/21 金	12/4 日	1/9 月	2/6 月
8/23 火	10/4 火	10/22 土	12/5 月	1/10 火	2/7 火
8/24 水	10/5 水	10/23 日	12/6 火	1/11 水	2/8 水
8/25 木	10/6 木	10/24 月	12/7 水	1/12 木	2/9 木
8/26 金	10/7 金	10/25 火	12/8 木	1/13 金	2/10 金
8/27 土	10/8 土	10/26 水	12/9 金	1/14 土	2/11 土
8/28 日	10/9 日	10/27 木	12/10 土	1/15 日	2/12 日
8/29 月	10/10 月	10/28 金	12/11 日	1/16 月	2/13 月
8/30 火	10/11 火	10/29 土	12/12 月	1/17 火	2/14 火
8/31 水	10/12 水	10/30 日	12/13 火	1/18 水	2/15 水

2022年

2022年 9 月生まれ



出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
9/1 木	10/13 木	10/31 月	12/14 水	1/19 木	2/16 木
9/2 金	10/14 金	11/1 火	12/15 木	1/20 金	2/17 金
9/3 土	10/15 土	11/2 水	12/16 金	1/21 土	2/18 土
9/4 日	10/16 日	11/3 木	12/17 土	1/22 日	2/19 日
9/5 月	10/17 月	11/4 金	12/18 日	1/23 月	2/20 月
9/6 火	10/18 火	11/5 土	12/19 月	1/24 火	2/21 火
9/7 水	10/19 水	11/6 日	12/20 火	1/25 水	2/22 水
9/8 木	10/20 木	11/7 月	12/21 水	1/26 木	2/23 木
9/9 金	10/21 金	11/8 火	12/22 木	1/27 金	2/24 金
9/10 土	10/22 土	11/9 水	12/23 金	1/28 土	2/25 土
9/11 日	10/23 日	11/10 木	12/24 土	1/29 日	2/26 日
9/12 月	10/24 月	11/11 金	12/25 日	1/30 月	2/27 月
9/13 火	10/25 火	11/12 土	12/26 月	1/31 火	2/28 火
9/14 水	10/26 水	11/13 日	12/27 火	2/1 水	3/1 水
9/15 木	10/27 木	11/14 月	12/28 水	2/2 木	3/2 木
9/16 金	10/28 金	11/15 火	12/29 木	2/3 金	3/3 金
9/17 土	10/29 土	11/16 水	12/30 金	2/4 土	3/4 土
9/18 日	10/30 日	11/17 木	12/31 土	2/5 日	3/5 日
9/19 月	10/31 月	11/18 金	1/1 日	2/6 月	3/6 月
9/20 火	11/1 火	11/19 土	1/2 月	2/7 火	3/7 火
9/21 水	11/2 水	11/20 日	1/3 火	2/8 水	3/8 水
9/22 木	11/3 木	11/21 月	1/4 水	2/9 木	3/9 木
9/23 金	11/4 金	11/22 火	1/5 木	2/10 金	3/10 金
9/24 土	11/5 土	11/23 水	1/6 金	2/11 土	3/11 土
9/25 日	11/6 日	11/24 木	1/7 土	2/12 日	3/12 日
9/26 月	11/7 月	11/25 金	1/8 日	2/13 月	3/13 月
9/27 火	11/8 火	11/26 土	1/9 月	2/14 火	3/14 火
9/28 水	11/9 水	11/27 日	1/10 火	2/15 水	3/15 水
9/29 木	11/10 木	11/28 月	1/11 水	2/16 木	3/16 木
9/30 金	11/11 金	11/29 火	1/12 木	2/17 金	3/17 金

ロタリックス 接種早見表

2022年10月生まれ



誕生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
10/1 土	11/12 土	11/30 水	1/13 金	2/18 土	3/18 土
10/2 日	11/13 日	12/1 木	1/14 土	2/19 日	3/19 日
10/3 月	11/14 月	12/2 金	1/15 日	2/20 月	3/20 月
10/4 火	11/15 火	12/3 土	1/16 月	2/21 火	3/21 火
10/5 水	11/16 水	12/4 日	1/17 火	2/22 水	3/22 水
10/6 木	11/17 木	12/5 月	1/18 水	2/23 木	3/23 木
10/7 金	11/18 金	12/6 火	1/19 木	2/24 金	3/24 金
10/8 土	11/19 土	12/7 水	1/20 金	2/25 土	3/25 土
10/9 日	11/20 日	12/8 木	1/21 土	2/26 日	3/26 日
10/10 月	11/21 月	12/9 金	1/22 日	2/27 月	3/27 月
10/11 火	11/22 火	12/10 土	1/23 月	2/28 火	3/28 火
10/12 水	11/23 水	12/11 日	1/24 火	3/1 水	3/29 水
10/13 木	11/24 木	12/12 月	1/25 水	3/2 木	3/30 木
10/14 金	11/25 金	12/13 火	1/26 木	3/3 金	3/31 金
10/15 土	11/26 土	12/14 水	1/27 金	3/4 土	4/1 土
10/16 日	11/27 日	12/15 木	1/28 土	3/5 日	4/2 日
10/17 月	11/28 月	12/16 金	1/29 日	3/6 月	4/3 月
10/18 火	11/29 火	12/17 土	1/30 月	3/7 火	4/4 火
10/19 水	11/30 水	12/18 日	1/31 火	3/8 水	4/5 水
10/20 木	12/1 木	12/19 月	2/1 水	3/9 木	4/6 木
10/21 金	12/2 金	12/20 火	2/2 木	3/10 金	4/7 金
10/22 土	12/3 土	12/21 水	2/3 金	3/11 土	4/8 土
10/23 日	12/4 日	12/22 木	2/4 土	3/12 日	4/9 日
10/24 月	12/5 月	12/23 金	2/5 日	3/13 月	4/10 月
10/25 火	12/6 火	12/24 土	2/6 月	3/14 火	4/11 火
10/26 水	12/7 水	12/25 日	2/7 火	3/15 水	4/12 水
10/27 木	12/8 木	12/26 月	2/8 水	3/16 木	4/13 木
10/28 金	12/9 金	12/27 火	2/9 木	3/17 金	4/14 金
10/29 土	12/10 土	12/28 水	2/10 金	3/18 土	4/15 土
10/30 日	12/11 日	12/29 木	2/11 土	3/19 日	4/16 日
10/31 月	12/12 月	12/30 金	2/12 日	3/20 月	4/17 月

2022年

ロタリックス 接種早見表

2022年 11 月生まれ



出生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
11/1 火	12/13 火	12/31 土	2/13 月	3/21 火	4/18 火
11/2 水	12/14 水	1/1 日	2/14 火	3/22 水	4/19 水
11/3 木	12/15 木	1/2 月	2/15 水	3/23 木	4/20 木
11/4 金	12/16 金	1/3 火	2/16 木	3/24 金	4/21 金
11/5 土	12/17 土	1/4 水	2/17 金	3/25 土	4/22 土
11/6 日	12/18 日	1/5 木	2/18 土	3/26 日	4/23 日
11/7 月	12/19 月	1/6 金	2/19 日	3/27 月	4/24 月
11/8 火	12/20 火	1/7 土	2/20 月	3/28 火	4/25 火
11/9 水	12/21 水	1/8 日	2/21 火	3/29 水	4/26 水
11/10 木	12/22 木	1/9 月	2/22 水	3/30 木	4/27 木
11/11 金	12/23 金	1/10 火	2/23 木	3/31 金	4/28 金
11/12 土	12/24 土	1/11 水	2/24 金	4/1 土	4/29 土
11/13 日	12/25 日	1/12 木	2/25 土	4/2 日	4/30 日
11/14 月	12/26 月	1/13 金	2/26 日	4/3 月	5/1 月
11/15 火	12/27 火	1/14 土	2/27 月	4/4 火	5/2 火
11/16 水	12/28 水	1/15 日	2/28 火	4/5 水	5/3 水
11/17 木	12/29 木	1/16 月	3/1 水	4/6 木	5/4 木
11/18 金	12/30 金	1/17 火	3/2 木	4/7 金	5/5 金
11/19 土	12/31 土	1/18 水	3/3 金	4/8 土	5/6 土
11/20 日	1/1 日	1/19 木	3/4 土	4/9 日	5/7 日
11/21 月	1/2 月	1/20 金	3/5 日	4/10 月	5/8 月
11/22 火	1/3 火	1/21 土	3/6 月	4/11 火	5/9 火
11/23 水	1/4 水	1/22 日	3/7 火	4/12 水	5/10 水
11/24 木	1/5 木	1/23 月	3/8 水	4/13 木	5/11 木
11/25 金	1/6 金	1/24 火	3/9 木	4/14 金	5/12 金
11/26 土	1/7 土	1/25 水	3/10 金	4/15 土	5/13 土
11/27 日	1/8 日	1/26 木	3/11 土	4/16 日	5/14 日
11/28 月	1/9 月	1/27 金	3/12 日	4/17 月	5/15 月
11/29 火	1/10 火	1/28 土	3/13 月	4/18 火	5/16 火
11/30 水	1/11 水	1/29 日	3/14 火	4/19 水	5/17 水

ロタリックス 接種早見表

2022年 12 月生まれ

誕生日	初回接種開始 出生6週0日後 (42日目)	生後2月	初回接種推奨期間 最終日 出生14週6日後 (104日目)	初回接種最終日 (140日目)	2回目接種完了期間 出生24週0日後 (168日目)
12/1 木	1/12 木	1/31 火	3/15 水	4/20 木	5/18 木
12/2 金	1/13 金	2/1 水	3/16 木	4/21 金	5/19 金
12/3 土	1/14 土	2/2 木	3/17 金	4/22 土	5/20 土
12/4 日	1/15 日	2/3 金	3/18 土	4/23 日	5/21 日
12/5 月	1/16 月	2/4 土	3/19 日	4/24 月	5/22 月
12/6 火	1/17 火	2/5 日	3/20 月	4/25 火	5/23 火
12/7 水	1/18 水	2/6 月	3/21 火	4/26 水	5/24 水
12/8 木	1/19 木	2/7 火	3/22 水	4/27 木	5/25 木
12/9 金	1/20 金	2/8 水	3/23 木	4/28 金	5/26 金
12/10 土	1/21 土	2/9 木	3/24 金	4/29 土	5/27 土
12/11 日	1/22 日	2/10 金	3/25 土	4/30 日	5/28 日
12/12 月	1/23 月	2/11 土	3/26 日	5/1 月	5/29 月
12/13 火	1/24 火	2/12 日	3/27 月	5/2 火	5/30 火
12/14 水	1/25 水	2/13 月	3/28 火	5/3 水	5/31 水
12/15 木	1/26 木	2/14 火	3/29 水	5/4 木	6/1 木
12/16 金	1/27 金	2/15 水	3/30 木	5/5 金	6/2 金
12/17 土	1/28 土	2/16 木	3/31 金	5/6 土	6/3 土
12/18 日	1/29 日	2/17 金	4/1 土	5/7 日	6/4 日
12/19 月	1/30 月	2/18 土	4/2 日	5/8 月	6/5 月
12/20 火	1/31 火	2/19 日	4/3 月	5/9 火	6/6 火
12/21 水	2/1 水	2/20 月	4/4 火	5/10 水	6/7 水
12/22 木	2/2 木	2/21 火	4/5 水	5/11 木	6/8 木
12/23 金	2/3 金	2/22 水	4/6 木	5/12 金	6/9 金
12/24 土	2/4 土	2/23 木	4/7 金	5/13 土	6/10 土
12/25 日	2/5 日	2/24 金	4/8 土	5/14 日	6/11 日
12/26 月	2/6 月	2/25 土	4/9 日	5/15 月	6/12 月
12/27 火	2/7 火	2/26 日	4/10 月	5/16 火	6/13 火
12/28 水	2/8 水	2/27 月	4/11 火	5/17 水	6/14 水
12/29 木	2/9 木	2/28 火	4/12 水	5/18 木	6/15 木
12/30 金	2/10 金	2/28 火	4/13 木	5/19 金	6/16 金
12/31 土	2/11 土	2/28 火	4/14 金	5/20 土	6/17 土

2022年

ウイルスワクチン類

薬価基準未収載

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

ロタリックス内用液

Rotarix 生物学的製剤基準 経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン

日本標準商品分類番号	876313	販売開始	2011年11月
有効期間	3年	承認番号	22300AMX00591
国際誕生	2004年7月	最終有効年月日	外箱に表示
承認年月	2011年7月	再審査期間	8年(2019年6月満了)
注意	[「取扱い上の注意」の項参照]		
貯法	遮光し、凍結を避けて、2～8℃で保存		
商品名	和名	ロタリックス内用液	
	洋名	Rotarix	
一般名	和名	経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン	
	洋名	Live Attenuated Human Rotavirus Vaccine, Oral	

【接種不適当者】(予防接種を受けることが適当でない者)
 被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはならない。

- (1) 明らかな発熱を呈している者
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- (3) 本剤の接種後に本剤又は本剤の成分によって過敏症を呈したことがある者
- (4) 腸重積症の発症を高める可能性のある未治療の先天性消化管障害(メッケル憩室等)を有する者
- (5) 腸重積症の既往のある者
- (6) 重症複合型免疫不全(SCID)を有する者
- (7) 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

※2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は、「予防接種実施規則」及び「定期接種実施要領」に準拠して使用すること。
 - (2) 被接種者について、接種前に必ず問診、検温及び診察(視診、聴診等)によって健康状態を調べる。
 - (3) 被接種者及びその保護者に、接種当日は過激な運動は避け、また接種後の健康監視に留意し、体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。
 - (4) 本剤の接種が開始される生後6週時点においては免疫不全症の診断は困難であり、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症以外の免疫不全者に対して、本剤の有効性及び安全性の臨床データはない。免疫機能に異常がある疾患を有する者及びそのおそれがある者、免疫抑制をきたす治療を受けている者、近親者に先天性免疫不全症の者がいる者に本剤を接種する場合は、免疫不全症を疑わせる症状の有無に十分注意し、慎重に接種すること。[「接種要注意事項」及び製品添付文書「臨床成績」の項参照]
 - (5) 被接種者の保護者に、腸重積症を示唆する症状(腹痛、反復性の嘔吐、血便排泄、腹部膨満感、高熱)を呈した場合には速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。[海外の市販後安全性調査では、本剤接種後に生じた腸重積症例のほとんどが初回接種から7日間以内に報告されている。また、海外の疫学研究では、初回及び2回目接種後7日間における腸重積症発現のリスクが報告されている。]([「副反応」]、「その他の注意」及び製品添付文書「臨床成績」の項参照)]
 - (6) 本剤と他のロタウイルスワクチンの互換性に関する安全性、免疫原性、有効性のデータはない。
- ### 3. 副反応
- 国内臨床試験において、接種症例508例中、接種後30日間に報告された主な副反応は、易刺激性37例(7.3%)、下痢18例(3.5%)、咳嗽/鼻漏17例(3.3%)であった(承認時)。その他の副反応

	5%以上	0.1～5%未満	頻度不明 ^{注1)}
全身症状	易刺激性 ^{注2)}	発熱	
消化器		下痢 ^{注2)} 、食欲不振、嘔吐、血便排泄	鼓腸 ^{注3)} 、腹痛 ^{注3)} 、腸重積症 ^{注4)} 、胃腸炎
呼吸器		咳嗽/鼻漏	
皮膚			皮膚炎 ^{注3)}

- 注1) 自発報告又は海外のみで認められている副反応については頻度不明とした。
 注2) 海外臨床試験での頻度: 1～10%未満
 注3) 海外臨床試験での頻度: 0.1～1%未満
 注4) メキシコでの大規模市販後安全性調査では、本剤の初回接種から31日間における腸重積症の発症頻度の増加が示唆されており、そのほとんどが初回接種後7日以内に認められている。

4. 接種時の注意

- (1) 接種経路
本剤は経口接種だけに限り、絶対に注射してはならない。
 - (2) 接種時
1) 重度な急性発熱性疾患にかかっている者は接種を延期すること。ただし、軽微な感染症(感冒等)の場合は接種を延期する必要はない。
2) 下痢又は嘔吐の症状を呈している者は接種を延期すること。
3) 他の薬剤とは混合しないこと。
4) 本剤の接種前後において、母乳を含めた食物や飲料の摂取に制限はない。
- ### 5. その他の注意

- (1) ワクチン接種を受けた者と接触した際には手洗い等を実施し注意すること(例: おむつ交換後の手洗い等)。[ワクチン由来ウイルスの糞便中への排泄が、本剤接種後約7日をピークに平均で10日間認められている。また、本剤の水平伝播を検討した海外臨床試験で、本剤未接種者の糞便中にワクチン由来株が検出されている(製品添付文書「臨床成績」の項参照)。]
- (2) ラテンアメリカ及びフィンランドにおける大規模臨床試験^{2), 3)}では、腸重積症の発現状況を評価することを主要目的として、63225例(本剤31673例、プラセボ31552例)の乳児に投与したところ、各回のワクチン接種後31日間の腸重積症についての相対リスクは0.85(95%信頼区間: 0.30, 2.42)で、本ワクチン接種による腸重積症の発現リスクの増大は認められなかった。
- (3) 本剤にブタサーコウイルス1型(PCV-1)のDNA断片及びウイルス粒子の混入が認められているが、PCV-1が動物の病気の原因となること及びヒトへの感染や病気の原因となることは知られていない。なお、本剤の接種によりPCV-1の存在が安全性上問題となるとの報告はない。

[2] Ruiz-Palacios GM, et al. N Engl J Med. 2006; 354: 11-22.
 [3] Linhares AC, et al. Lancet 2008; 371: 1181-1189.

製法の概要及び組成・性状

1. 製法の概要

本剤は、G1P[8]に属するヒトロタウイルス(89-12株)のクローンである弱毒生ヒトロタウイルス(RIX4414株)をアフリカミドリザル腎臓由来のVero細胞で培養増殖させ、得たウイルス液を精製し、添加剤を加えた内用液剤である。本剤は、製造工程で健康なブタ由来成分(トリプシン)及びウシの乳由来成分(無水乳糖)を使用している。また、製造工程の極めて初期の段階(Vero細胞のセルバク作製時)において、仔ウシの血液由来成分(血清)、ウシとブタの骨抽出成分(アミノ酸類)及びウシの乳由来成分(ラクトアルブミン加水分解物及びガザミノ酸)を使用している。

2. 組成

本剤は、1.5mL中に下記の成分・分量を含有する。

成分		分量
有効成分	弱毒生ヒトロタウイルス(RIX4414株)	6.0 log ₁₀ CCID ₅₀ 以上
安定剤	精製白糖	1.073g
緩衝剤	アジピン酸	100.75mg
緩衝剤	水酸化ナトリウム	54.76mg
希釈剤	ダルベッコ変法イーグル培地	2.033mg

その他添加剤としてpH調節剤を含有する。

3. 性状

本剤は無色澄明の液で、肉眼観察では粒子を認めない無菌製剤である。

効能・効果

ロタウイルスによる胃腸炎の予防

効能・効果に関連する接種上の注意

- (1) 本剤はロタウイルスG1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に対する予防効果が示唆されている。
- (2) 他のウイルスに起因する胃腸炎を予防することはできない。

用法・用量

乳児に通常、4週間以上の間隔において2回経口接種し、接種量は毎回1.5mLとする。

※※ 用法・用量に関連する接種上の注意

- (1) 接種対象者・接種時期
生後6週から初回接種を開始し、少なくとも4週間の間隔において2回目の接種を完了する。遅くとも生後24週までには接種を完了させること。また、早期産児においても同様に接種することができる。
なお、初回接種は生後14週6日までに行うことが推奨されている。¹⁾
 - (2) 接種方法
1) 本剤は経口接種だけに限り、絶対に注射してはならない。
2) 接種直後にワクチンの大半を吐き出した場合は、改めて本剤1.5mLを接種させることができる。
 - (3) 同時接種
医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができる(なお、本剤を他のワクチンと混合して接種してはならない)。
- (1) CDC. MMWR Recomm Rep. 2009; 58(RR-2): 1-25.]

接種上の注意

1. 接種要注意事項(接種の判断を行うに際し、注意を要する者)

- 被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し、診察及び接種適否の判断を慎重に行い、予防接種の必要性、副反応、有用性について十分な説明を行い、同意を確実に得た上で、注意して接種すること。
- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者
 - (2) 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
 - (3) 過去にけいれんの既往がある者
 - (4) 免疫機能に異常がある疾患を有する者及びそのおそれがある者、免疫抑制をきたす治療を受けている者、近親者に先天性免疫不全症の者がいる者[「重要な基本的注意」及び製品添付文書「臨床成績」の項参照]
 - (5) 胃腸障害(重度又は慢性的胃腸炎、感染原因を問わない感染性胃腸炎等)を有する乳児における本剤の有効性及び安全性は確立していないので、予防接種上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ接種すること。

取扱い上の注意

接種前

- (1) 本剤は無色澄明の液である。接種前に内容をよく調べ、沈殿及び異物の混入、その他異常を認めたものは使用せず、廃棄すること。
- (2) 誤って凍結させたものは、品質が変化しているおそれがあるので、使用せず、廃棄すること。

包装

1チューブ1回分1.5mL:1本

● 詳細は電子添文をご参照ください。

また、接種不適当者を含む接種上の注意の改訂には十分ご留意ください。

※2020年10月改訂(第12版)(____:改訂箇所)
 ※2019年4月改訂(第11版)

※製造販売元(輸入)

グラクソ・スミスクライン株式会社
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

文献請求先及び問い合わせ先
 TEL: 0120-561-007 (9:00~17:45 / 土日祝日及び当社休業日を除く)
 FAX: 0120-561-047 (24時間受付)

コッホ現象事例報告書

県 市 保健所

氏名		生年月日	年	月	日 (男・女)
住所		保護者氏名			
接種時期： (または生後 _____カ月)		BCGワクチンロット			
局所変化の状況・経過 (初めて気付いた時期： _____年 _____月 _____日)					
結核患者との接触状況					
精密検査	ツ反： _____ × _____ (_____ × _____)		判定		
	IGRA (実施の場合：QFT, T-Spot TB 結果)		非特異反応、結核感染、結核発病、判定保留 その他 (_____)		
	胸部エックス線検査所見		事後措置／転記		
	CT (実施の場合)		終了 (異常所見または症状出現時受診) 経過観察 (_____カ月後) 潜在性結核感染症治療 結核治療 (診断名： _____) 他医療機関紹介 その他 (_____)		
_____年 _____月 _____日					
医療機関名					
作成者医師 (署名又は記名押印)					

※ 医師の判断により精密検査を行った場合のみ記入すること。

この報告書は、予防接種の安全性の確保及び結核のまん延の防止を図ることを目的としています。このことを理解の上、本報告書が市町村役場及び都道府県 (保健所) に報告されることに同意します。

保護者自署

がい よう ばん
概要版

詳しく知りたい方向けの詳細版もあります。

小学校6年 ~ **高校1年^{相当}** の女の子と
保護者の方へ大切なお知らせ



HPVワクチンについて知ってください
～あなたと関係のある“がん”があります～

ウイルス感染でおこる子宮けいがん

詳細版
P2~3

「がんってたばこでなるんでしょ？」

「オトナがなるものだから私は関係ない」って思っていないですか？

実はウイルスの感染がきっかけでおこる“がん”もあります。その1つが子宮けいがんです。

HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。

このウイルスは、女性の多くが“一生に一度は感染する”といわれるウイルスです*。

感染しても、ほとんどの人ではウイルスが自然に消えますが、

一部の人でがんになってしまうことがあります。

現在、感染した後にどのような人ががんになるのかわかっていないため、

感染を防ぐことががんにならないための手段です。

*HPVは一度でも性的接触せつしよくの経験があればだれでも感染する可能性があります。



女性の多くがHPV(ヒトパピローマウイルス)に
“一生に一度は感染する”といわれる

がんになる場合も

感染を防ぐことが
がんにならないための手段

<何人くらいが子宮けいがんになるの？>

日本では毎年、約1万人の女性が子宮けいがんになり、毎年、約3,000人の女性が亡くなっています。
患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療ちりょうで子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。

<一生のうち子宮けいがんになる人>

1万人あたり125人

2クラスに1人くらい

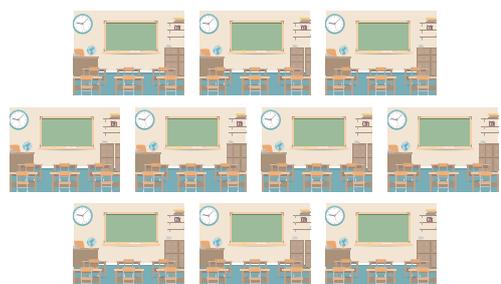


1クラス約35人の女子クラスとして換算かんさん

<子宮けいがんて亡くなる人>

1万人あたり34人

10クラスに1人くらい



HPVワクチンの効果

詳細版
P4

HPVの中には子宮けいがんをおこしやすい種類(型)のものがいます。

HPVワクチンは、このうち一部の感染を防ぐことができます。

現在日本において受けられるワクチンは、防ぐことができるHPVの種類によって、

2価ワクチン(サーバリックス®)、4価ワクチン(ガーダシル®)、

9価ワクチン(シルガード®9)*の3種類あります。*2023年4月から、シルガード®9も公費で受けられるようになりました。

サーバリックス®およびガーダシル®は、子宮けいがんをおこしやすい種類である

HPV16型と18型の感染を防ぐことができます。そのことにより、子宮けいがんの原因の50~70%を防ぎます※1。

シルガード®9は、HPV16型と18型に加え、ほかの5種類※2のHPVの感染も防ぐため、子宮けいがんの原因の80~90%を防ぎます※3。

また、HPVワクチンで、がんになる手前の状態(前がん病変)が減るとともに、

がんそのものを予防する効果があることもわかってきています。

※1-3 HPV16型と18型が子宮けいがんの原因の50~70%を占め(※1)、HPV31型、33型、45型、52型、58型まで含めると、子宮けいがんの原因の80~90%を占めます(※3)。

※2 HPV31型、33型、45型、52型、58型

HPVワクチンのリスク

詳細版
P5

筋肉注射という方法で注射します。接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状が起こることがあります。

ワクチンの接種を受けた後に、まれですが、重い症状※1が起こることがあります。

また、広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動※2といった多様な症状が報告されています。

ワクチンが原因となったものかどうか分からないものをふくめて、

接種後に重篤な症状※3として報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり約2~5人※4です。

接種するワクチンや年齢によって、合計2回または3回接種しますが、

接種した際に気になる症状が現れたら、それ以降の接種をやめることができます。

接種後に気になる症状が出たときは、まずはお医者さんや周りの大人に相談してください※5。

※1 重いアレルギー症状(呼吸困難やじんましんなど)や神経系の症状(手足の力が入りにくい、頭痛・嘔吐・意識の低下)

※2 動かさずとも勝手に体の一部が勝手に動いてしまうこと

※3 重篤な症状には、入院相当以上の症状などがふくまれています。報告した医師や企業の判断によるため、必ずしも重篤でないものも重篤として報告されることがあります。

※4 サーバリックス®およびガーダシル®は約5人、シルガード®9は約2人

※5 HPVワクチン接種後に生じた症状の診療を行う協力医療機関をお住まいの都道府県ごとに設置しています。

子宮けいがんで苦しまないために、できることが2つあります

詳細版
P7

① 今からできること

日本では、小学校6年~高校1年相当の女の子を対象に、

子宮けいがんの原因となるHPVの感染を防ぐ

ワクチンの接種を提供しています。

HPVの感染を防ぐことで、

将来の子宮けいがんを予防できると

期待されています。

カナダ、オーストラリアなどでは

女の子の8割以上がワクチンを受けています。



② 20歳になったらできること

HPVワクチンを

受けていても、

子宮けいがん検診は

必要です。

定期的に

検診を受けることが

大切です。



HPVワクチンについて知ってください

すべてのワクチンの接種には、効果とリスクとがあります。
 まずは、子宮けいがん^{けい}とHPVワクチン、子宮けいがん^{けんしん}検診について知ってください。
 周りの人とお話ししてみたり、かかりつけ医などに相談することもできます。

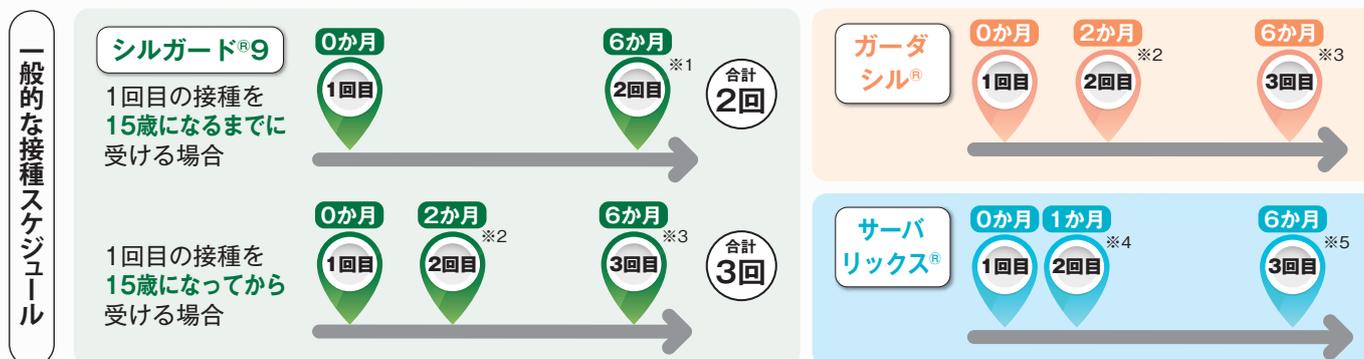


HPVワクチンを受けることを希望する場合は

詳細版
P4,8

小学校6年～高校1年相当の女の子は、HPVワクチンを公費で受けられます*。
 病院や診療所で相談し、どれか1種類を接種します。ワクチンの種類や接種する年齢によって、
 接種の回数や間隔が少し異なりますが、いずれのワクチンも、半年～1年の間に決められた回数、接種します。
 接種には、保護者の方の同意が必要です。

*公費の補助がない場合の接種費用は、サーバリックス®およびガーダシル®では3回接種で4～5万円、シルガード®9では3回接種で8～10万円、2回接種で5～7万円です。



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。

- *1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。
- *2・3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(*2)、3回目は2回目から3か月以上(*3)あけます。
- *4・5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(*4)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上(*5)あけます。

HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は

このご案内の内容をもっと詳しく説明している
 「HPVワクチンについて知ってください<詳細版>」や、
 其他のご案内をご覧ください。

厚労省 HPV



HPVワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、こちらをご確認ください。

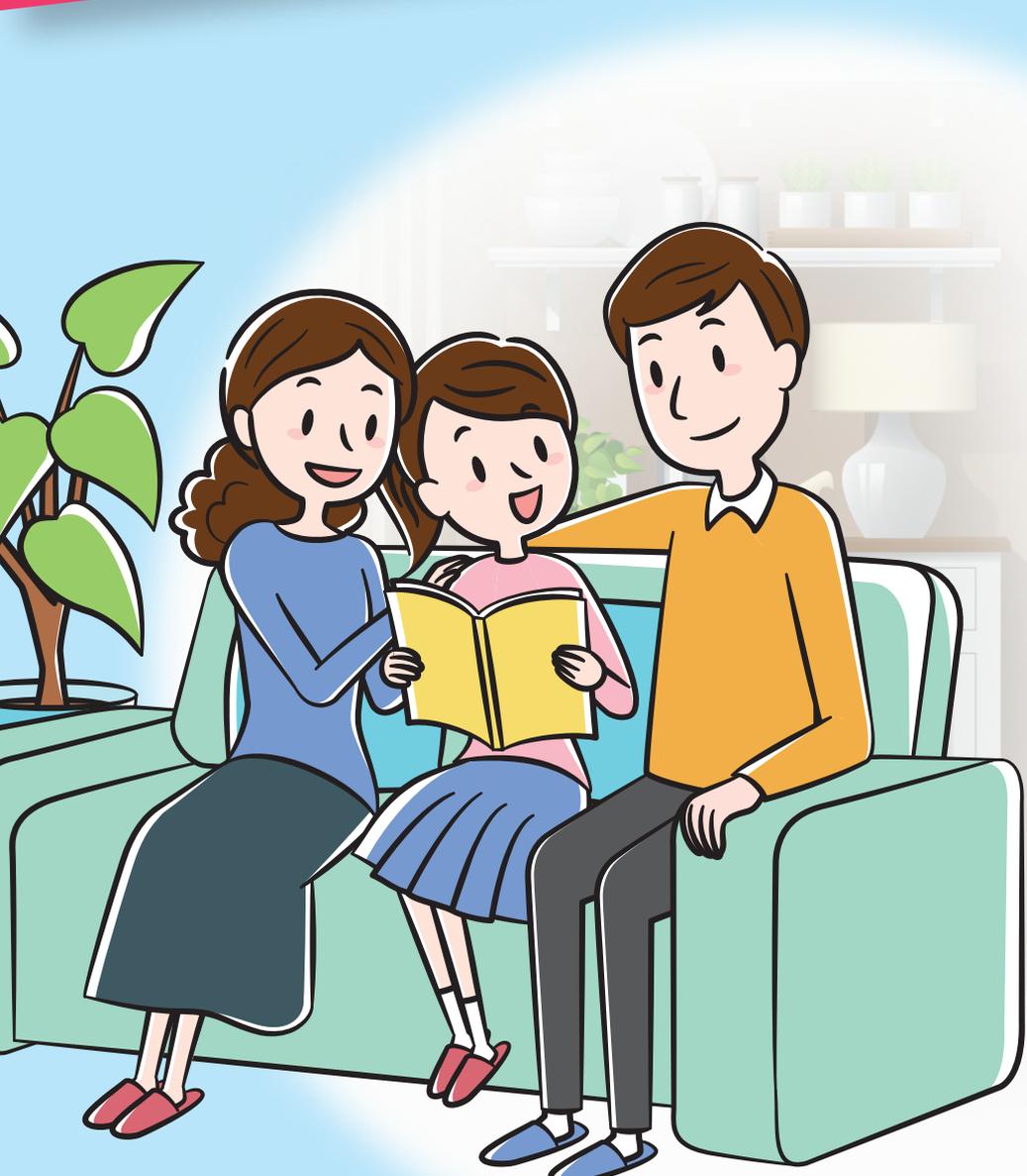


お問合せ先

しょうさいばん
詳細版

お子様にもわかりやすい概要版もあります。

小学校6年 ~ **高校1年^{相当}** の女の子と
保護者の方へ大切なお知らせ



目次

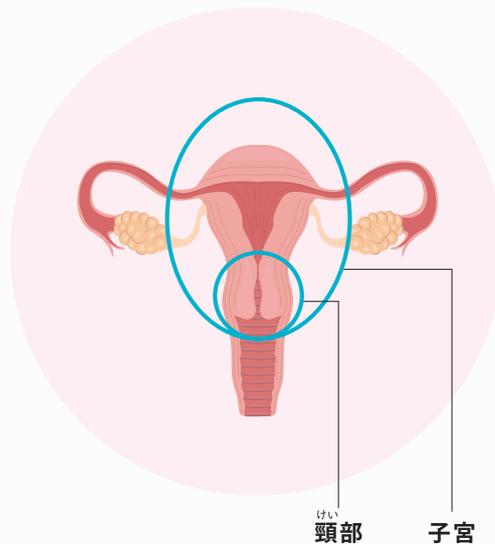
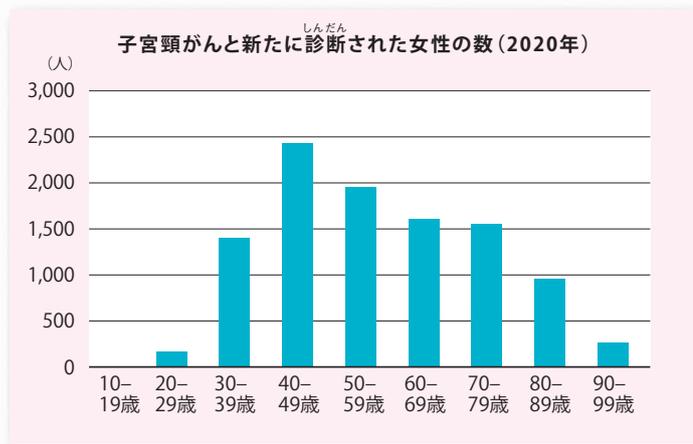
- ・子宮頸がんの現状 ————— 2
- ・子宮頸がんにかかる仕組み ————— 3
- ・子宮頸がんの治療 ————— 3
- ・HPVワクチンの接種について ————— 4
- ・HPVワクチンの効果 ————— 4
- ・HPVワクチンのリスク ————— 5
- ・安全性を定期的に確認しています ————— 6
- ・予防接種健康被害救済制度について ————— 6
- ・HPVワクチン接種の注意点 ————— 6
- ・HPVワクチンのはじまりと世界での状況 ————— 7
- ・HPVワクチンと子宮頸がん検診 ————— 7
- ・子宮頸がん検診について ————— 7
- ・HPVワクチンについて知ってください ————— 8

HPVワクチンについて知ってください
～あなたと関係のある“がん”があります～

子宮頸がんの現状

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。
 子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。

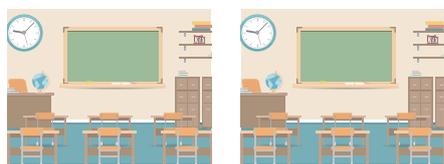
日本では毎年、約1万人の女性がかかる病気で、さらに毎年、約3,000人の女性が亡くなっています。
 患者さんは20歳代から増え始めて、
 30歳代までにかんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。



<一生のうち子宮頸がんになる人>

1万人あたり125人

2クラスに1人くらい

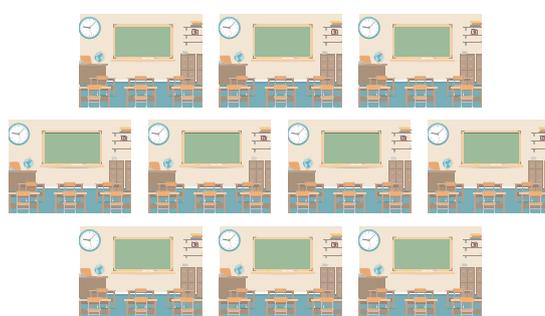


1クラス約35人の女子クラスとして換算

<子宮頸がんで亡くなる人>

1万人あたり34人

10クラスに1人くらい

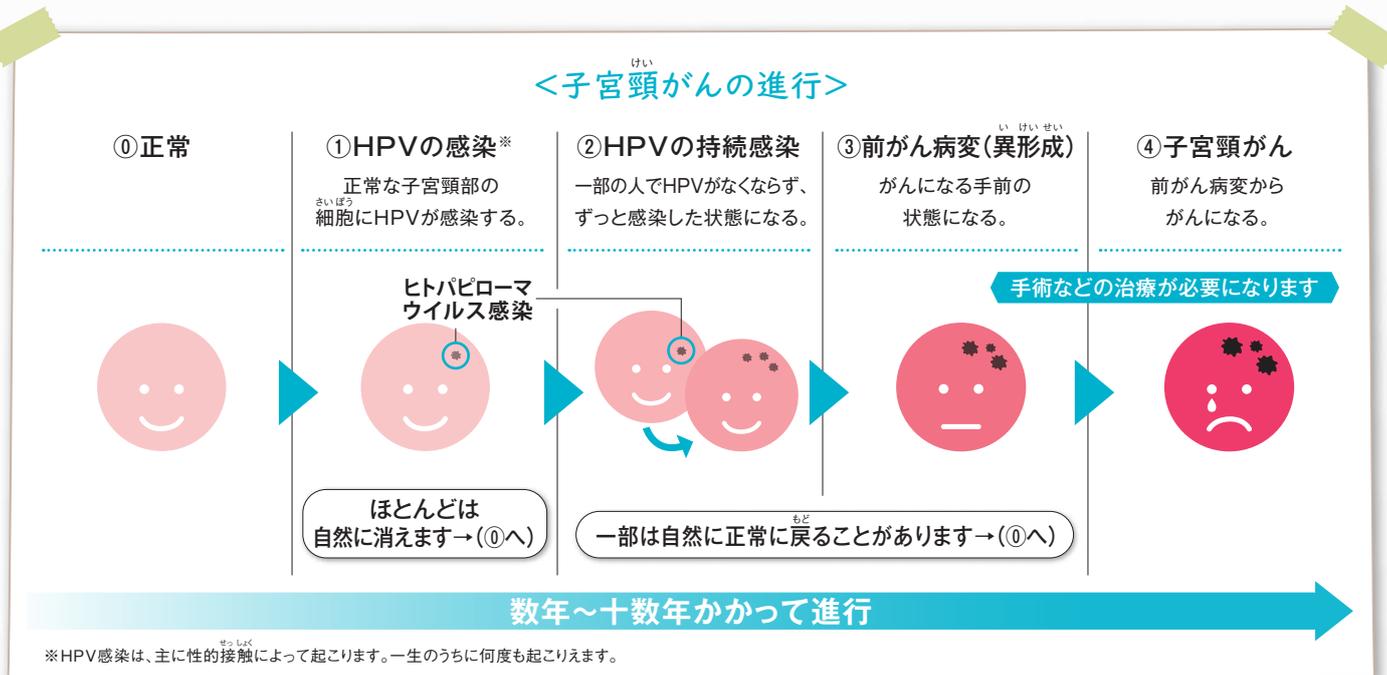


つまりこれってどのくらい？

子宮頸がんにかかる仕組み

子宮頸がんの原因は、長らく明らかになっていませんでしたが、1982年、ドイツのハラルド・ツァ・ハウゼン氏により、子宮頸がんのほとんどがヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染で生じることが発見されました。同氏は、この功績により2008年ノーベル医学生理学賞を授与されました。

HPVには200種類以上のタイプ(遺伝子型)があり、子宮頸がんの原因となるタイプが少なくとも15種類あることがわかっています。HPVに感染しても、すぐにがんになるわけではなく、いくつかの段階があります。



HPVは、女性の多くが“一生に一度は感染する”といわれるウイルスです。感染しても、ほとんどの人ではウイルスが自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。現在、感染した後どのような人ががんになるのかわかっていないため、感染を防ぐことががんにならないための手段です。

子宮頸がんの治療

子宮頸がんは、早期に発見し手術等の治療を受ければ、多くの場合、命を落とさず治すことができる病気です。

進んだ前がん病変(異形成)や子宮頸がんの段階で見つかり、手術が必要になります。

病状によって手術の方法は異なりますが、子宮の一部を切り取ることで、妊娠したときに早産のリスクが高まったり、子宮を失うことで妊娠できなくなったりすることがあります。



女性の多くがHPV(ヒトパピローマウイルス)に“一生に一度は感染する”といわれる

がんになる場合も

感染を防ぐことががんにならないための手段



HPVワクチンの接種について

日本では、小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に、子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぐワクチン(HPVワクチン)の接種を提供しています。対象者は公費により接種を受けることができます。

現在日本において公費で受けられるHPVワクチンは、防ぐことができるHPVの種類(型)によって、2価ワクチン(サーバリックス®)、4価ワクチン(ガーダシル®)、9価ワクチン(シルガード®9)*の3種類あります。一定の間隔をあけて、同じワクチンを合計2回または3回接種します。接種するワクチンや年齢によって、接種のタイミングや回数が異なります。どのワクチンを接種するかは、接種する医療機関に相談してください。

*2023年4月から、シルガード®9も公費で受けられるようになりました。



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。

※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2-3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。

※4-5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※4)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上(※5)あけます。

HPVワクチンの効果

サーバリックス®およびガーダシル®は、子宮頸がんをおこしやすい種類(型)であるHPV16型と18型の感染を防ぐことができます。そのことにより、子宮頸がんの原因の50～70%を防ぎます※1。

シルガード®9は、HPV16型と18型に加え、ほかの5種類※2のHPVの感染も防ぐため、子宮頸がんの原因の80～90%を防ぎます※3。

※1-3 HPV16型と18型が子宮頸がんの原因の50～70%を占め(※1)、HPV31型、33型、45型、52型、58型まで含めると、子宮頸がんの原因の80～90%を占めます(※3)。

また、子宮頸がんそのものの予防効果については引き続き評価が行われている状況ですが、これまでのサーバリックス®およびガーダシル®での知見を踏まえると、子宮頸がんに対する発症予防効果が期待できます(※3)。

※2 HPV31型、33型、45型、52型、58型

公費で受けられるHPVワクチンの接種により、

感染予防効果を示す抗体は少なくとも12年維持される可能性があることが、これまでの研究でわかっています※4。

※4 ワクチンの誕生(2006年)以降、期待される効果について研究が続けられています。

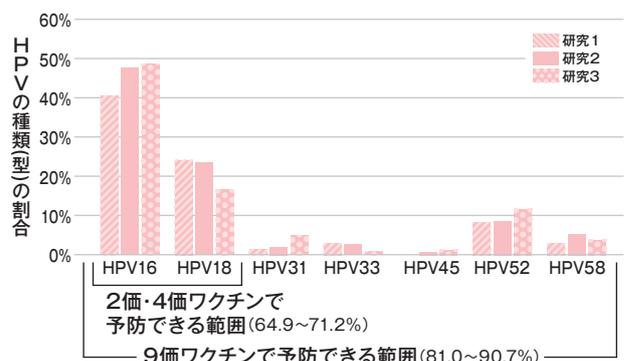
海外や日本で行われた疫学調査(集団を対象として病気の発生などを調べる調査)では、HPVワクチンを導入することにより、子宮頸がんの前がん病変を予防する効果が示されています。

また、接種が進んでいる一部の国では、子宮頸がんそのものを予防する効果があることもわかってきています。HPVワクチンの接種を1万人が受けると、受けなければ子宮頸がんになっていた約70人※5ががんにならず、約20人※6の命が助かる、と試算されています。

※5 59～86人

※6 14～21人

<日本人女性の子宮頸がんにおけるHPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲>



「9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン ファクトシート」(国立感染症研究所)をもとに作成
 研究1: Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316.
 研究2: Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917.
 研究3: Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.

HPVワクチンのリスク

HPVワクチン接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。

まれですが、重い症状(重いアレルギー症状、神経系の症状)^{※1}が起こることがあります。

発生頻度	2価ワクチン(サーバリックス [®])	4価ワクチン(ガーダシル [®])	9価ワクチン(シルガード [®] 9)
50%以上	疼痛 [*] 、発赤 [*] 、腫脹 [*] 、疲労	疼痛 [*]	疼痛 [*]
10~50%未満	掻痒(かゆみ)、腹痛、筋痛、関節痛、頭痛など	紅斑 [*] 、腫脹 [*]	腫脹 [*] 、紅斑 [*] 、頭痛
1~10%未満	じんましん、めまい、発熱など	頭痛、そう痒感 [*] 、発熱	浮動性めまい、悪心、下痢、そう痒感 [*] 、発熱、疲労、内出血 [*] など
1%未満	知覚異常 [*] 、感覚鈍麻、全身の脱力	下痢、腹痛、四肢痛、筋骨格硬直、硬結 [*] 、出血 [*] 、不快感 [*] 、倦怠感 [*] など	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血 [*] 、血腫 [*] 、倦怠感、硬結 [*] など
頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症など	失神、嘔吐、関節痛、筋肉痛、疲労など	感覚鈍麻、失神、四肢痛など

サーバリックス[®]添付文書(第1版)、ガーダシル[®]添付文書(第3版)、シルガード[®]9添付文書(第1版)より改編

^{*}接種した部位の症状

因果関係があるかどうかわからないものや、接種後短期間で回復した症状をふくめて、

HPVワクチン接種後に生じた症状として報告があったのは、

接種1万人あたり、サーバリックス[®]またはガーダシル[®]では約9人、シルガード[®]9では約3人です^{※2}。

このうち、報告した医師や企業が重篤^{※3}と判断した人は、

接種1万人あたり、サーバリックス[®]またはガーダシル[®]では約5人、シルガード[®]9では約2人です^{※2}。

^{※1} 重いアレルギー症状:呼吸困難やじんましん等(アナフィラキシー)、神経系の症状:手足の力が入りにくい(ギラン・バレー症候群)、頭痛・嘔吐・意識低下(急性散在性脳脊髄炎(ADEM))等

^{※2} HPVワクチン接種後に生じた症状として報告があった数(副反応疑い報告制度における報告数)は、企業からの報告では販売開始から、医療機関からの報告では平成22(2010)年11月26日から、令和6(2024)年9月末時点までの報告の合計。

出荷数量より推計した接種者数(サーバリックス[®]およびガーダシル[®]は422万人、シルガード[®]9は177.2万人)を分母として1万人あたりの頻度を算出。

^{※3} 重篤な症状には、入院相当以上の症状などがふくまれていますが、報告した医師や企業の判断によるため、必ずしも重篤でないものも重篤として報告されることがあります。

HPVワクチン接種後に生じた症状の報告頻度

サーバリックス[®]またはガーダシル[®]
1万人あたり約9人^{※2}
シルガード[®]9
1万人あたり約3人^{※2}



HPVワクチン接種後に生じた症状(重篤)の報告頻度

サーバリックス[®]またはガーダシル[®]
1万人あたり約5人^{※2}
シルガード[®]9
1万人あたり約2人^{※2}

<痛みやしびれ、動かしにくさ、不随意運動について>

- ワクチンの接種を受けた後に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動(動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと)などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています。
- この症状は専門家によれば「機能的な身体症状」(何らかの身体症状はあるものの、画像検査や血液検査を受けた結果、その身体症状に合致する異常所見が見つからない状態)であると考えられています。
- 症状としては、①知覚に関する症状(頭や腰、関節等の痛み、感覚が鈍い、しびれる、光に対する過敏など)、②運動に関する症状(脱力、歩行困難、不随意運動など)、③自律神経等に関する症状(倦怠感、めまい、睡眠障害、月経異常など)、④認知機能に関する症状(記憶障害、学習意欲の低下、計算障害、集中力の低下など)などいろいろな症状が報告されています。
- 「HPVワクチン接種後の局所の疼痛や不安等が機能的な身体症状をおこすきっかけとなったことは否定できないが、接種後1か月以上経過してから発症している人は、接種との因果関係を疑う根拠に乏しい」と専門家によって評価されています。
- また、同年代のHPVワクチン接種歴のない方においても、HPVワクチン接種後に報告されている症状と同様の「多様な症状」を有する方が一定数存在することが明らかとなっています。
- このような「多様な症状」の報告を受け、様々な調査研究が行われていますが、「ワクチン接種との因果関係がある」という証明はされていません。
- ワクチンの接種を受けた後や、けがの後などに原因不明の痛みが続いたことがある方は、これらの状態が起きる可能性が高いと考えられているため、接種については医師とよく相談してください。

安全性を定期的に確認しています

接種が原因と証明されていなくても、
接種後に起こった健康状態の異常について報告された場合は、
審議会(ワクチンに関する専門家の会議)^{しんぎかい}※において一定期間ごとに、
報告された症状^{しょうじょう}をもとに、
ワクチンの安全性^{けいぞく}を継続して確認しています。

※厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会 等



予防接種健康被害救済制度について

極めてまれですが、予防接種を受けた方に重い健康被害^{ひがひ}を生じる場合があります。

HPVワクチンに限らず、日本で承認されているすべてのワクチンについて、ワクチン接種によって、
医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合は、
法律に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。

その際、「厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、
接種後の症状^{しょうじょう}が予防接種によって起こることを否定できない場合も救済の対象とする」という
日本の従来からの救済制度の基本的な考え方にそって、救済の審査を実施しています。
令和6(2024)年3月末までに救済制度の対象となった方^{しんき}※1は、審査された613人中、366人^{じっし}※2です。

予防接種による健康被害についてのご相談は、お住まいの市町村の予防接種担当部門にお問い合わせください。

※1 ワクチン接種に伴って一般的に起こりえる過敏症^{かびんしょう}など機能性身体症状以外の認定者もふくんだ人数

※2 予防接種法に基づく救済の対象者については、審査した計73人中、45人

独立行政法人医薬品医療機器総合機構法(PMDA法)に基づく救済の対象者については、審査した計540人中、321人です。

HPVワクチン接種の注意点

- 筋肉注射という方法で接種しますが、注射針^{しゅうしつ}を刺した直後から、
強い痛みやしびれを感じた場合はすぐに医師にお伝えください。
- 痛みや緊張等^{きんちやう}によって接種直後に一時的に失神や立ちくらみ等が生じることがあります。
接種後30分程度は安静にしてください。
- 接種を受けた日は、はげしい運動^{うご}は控えましょう。
- 接種後に体調の変化が現れたら、まずは接種を行った医療機関などの医師にご相談ください。
HPVワクチン接種後に生じた症状の診療を行う協力医療機関をお住まいの都道府県ごとに設置しています。
協力医療機関の受診は、接種を行った医師またはかかりつけの医師にご相談ください。
- HPVワクチンは、合計2回または3回接種しますが、接種した際に気になる症状が現れた場合は、
それ以降の接種をやめることができます。



HPVワクチンのはじまりと世界での状況

HPVワクチンは、2006年に欧米で生まれ、使われ始めました。
日本では、2009年10月にワクチンとして承認され、接種が始まりました。

世界保健機関(WHO)が接種を推奨しており、
2024年1月時点ではWHO加盟国194か国のうち
137か国で公的な予防接種が行われています。
カナダ、オーストラリアなどの接種率は8割以上です。

日本での接種者は近年徐々に増えています。
日本の最新の接種状況は厚生労働省ホームページからご確認いただけます。

厚生労働省「定期の予防接種実施者数」 <https://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/other/5.html> ➔

<HPVワクチンを接種した
女の子の割合(2022年)>

アメリカ	63.8%
カナダ	86.0%
イギリス	67.3%
イタリア	38.8%
ドイツ	53.4%
フランス	41.5%
オーストラリア	80.3%

※出典:WHO HPV vaccination coverage



130か国以上で
公的接種

カナダ、オーストラリアなどでは
接種率**8割以上**

日本での接種率は
徐々に上昇中

HPVワクチンと子宮頸がん検診

子宮頸がんで苦しまないために、私たちができることは、
HPVワクチンの接種と子宮頸がん検診の2つです。

ポイント

1

HPVワクチンで
HPVの感染を予防



ポイント

2

子宮頸がん検診で
がんを早く見つけて治療

なるほど!



子宮頸がん検診について

20歳になったら、子宮頸がんを早期発見するため、
子宮頸がん検診を定期的に行うことが重要です。

※HPVワクチンで防げない種類(型)のHPVもあります。

子宮頸がん検診では、前がん病変(異形成)や
子宮頸がんがないかを検査します。

継続して安心!



ワクチンを接種していても、していなくても、20歳になったら
必ず、定期的に子宮頸がん検診を受けてください。

HPVワクチンについて知ってください

すべてのワクチンの接種には、効果とリスクとがあります。

まずは、子宮頸がん^{けいがん}とHPVワクチン、子宮頸がん検診^{けんしん}について知ってください。

周りの人とお話ししてみたり、かかりつけ医などに相談することもできます。



HPVワクチンに関する相談先一覧

接種後に、健康に異常があるとき

→ 接種を行った医師・かかりつけの医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関
※協力医療機関の受診については、接種を行った医師またはかかりつけの医師にご相談ください

不安や疑問があるとき、日常生活や学校生活で困ったことがあるとき

→ お住まいの都道府県に設置された相談窓口（衛生部局、教育部局）

HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談

→ 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

予防接種による健康被害救済に関する相談や、どこに相談したらよいかわからないとき

→ お住まいの市町村の予防接種担当部門

厚生労働省のホームページでは、
HPVワクチンに関する情報をご案内しています。

厚労省 HPV



HPVワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、こちらをご確認ください。



お問合せ先

小学校6年～高校1年^想の女の子と保護者の方へ

令和5(2023)年4月より

9価の「HPVワクチン」を 公費で接種できるようになりました

「子宮頸がん」で苦しまないために、今からできることがあります



Q 「HPVワクチン」とはなんですか？

A HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンには、9価のワクチンのほかに、2種類のワクチン(2価のワクチン、4価のワクチン)があります。どのワクチンを接種するかは、医師にご相談ください。

Q 9価のHPVワクチン(9価ワクチン)とは、どのようなワクチンですか？

A HPVにはいくつかの種類(型)があり、9価ワクチンは、このうち9種類のHPVの感染を防ぐワクチンです。その中でも、子宮頸がんの原因の80～90%を占める、7種類のHPV^{*}の感染を予防することができます。

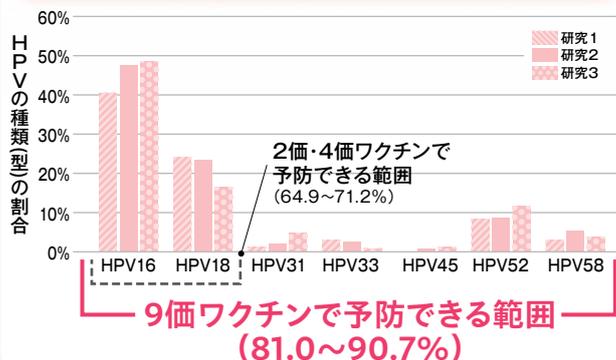
^{*}16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型

Q 9価ワクチンの接種後に副反応はありますか？

A 9価ワクチンの接種後には、右表の副反応が起こることがあります。

接種後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずはワクチンを受けた医療機関などの医師にご相談ください。

日本人女性の子宮頸がんにおけるHPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲



[9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン ファクトシート](国立感染症研究所)をもとに作成
研究1:Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316. 研究2:Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917. 研究3:Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.

接種後に現れる可能性のある症状

発生頻度	報告されている症状
50%以上	疼痛(痛み)*
10～50%未満	腫脹(腫れ)*、紅斑(赤み)*、頭痛
1～10%未満	浮動性めまい(頭がぼーっとしてふらつく感覚)、悪心、下痢、そう痒感(かゆみ)*、発熱、疲労、内出血*など
1%未満	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感(だるさ)、硬結*など
頻度不明	感覚鈍麻(刺激に対して感覚が鈍い状態)、失神、四肢痛など

シルガード[®]9 添付文書(第1版)より改編

*ワクチンを接種した部位の症状

あなたと関係のある“がん”があります

- 子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。日本では、25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は、子宮頸がんによるものです。
- HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されていますが、ワクチンで防げないHPV感染もあります。子宮頸がんを早期に発見し治療するため、20歳になったら、定期的に、子宮頸がん検診を受けることが大切です。

9価ワクチンについて
のより詳しい情報は、
こちらをご確認ください。



子宮頸がんやHPVワクチン
(2価、4価ワクチンを含む)に
ついてのより詳しい情報は、
こちらをご確認ください。



一般的な接種スケジュール

9価ワクチン(シルガード®9)で接種を開始する方は、決められた間隔をあけて、合計2回または3回接種します。1回目または2回目に気になる症状が現れた場合は、2回目以降の接種をやめることができます。

これまでに、2価 または 4価のHPVワクチン(サーバリックス®またはガーダシル®)を1回または2回接種した方へ

原則として同じ種類のワクチンを接種することをお勧めしますが、医師と相談のうえ、途中から9価ワクチンに変更し、残りの接種を完了することも可能です*。この場合にも公費で接種することができます。

※2価または4価のHPVワクチン(サーバリックス®またはガーダシル®)を接種した後に9価ワクチン(シルガード®9)を接種することに対する効果やリスクについての科学的知見は限定されています。

一般的な接種スケジュール



いずれの場合も、1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。
 ※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。
 ※2-3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。

予防接種健康被害救済制度について

極めてまれですが、予防接種を受けた方に重い健康被害が生じる場合があります。

HPVワクチンに限らず、日本で承認されているすべてのワクチンについて、ワクチン接種によって、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合は、申請し認定されると、法律に基づく救済(医療費・障害年金等)の給付が受けられます。



HPVワクチンに関する相談先一覧

接種後に、健康に異常があるとき

- ▶ 接種を行った医師・かかりつけの医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関
 ※協力医療機関の受診については、接種を行った医師またはかかりつけの医師にご相談ください

不安や疑問があるとき、日常生活や学校生活で困ったことがあるとき

- ▶ お住まいの都道府県に設置された相談窓口(衛生部局、教育部局)

HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談

- ▶ 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

予防接種による健康被害救済に関する相談や、どこに相談したらよいかわからないとき

- ▶ お住まいの市町村の予防接種担当部門



HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は厚生労働省のホームページをご覧ください。



厚労省 HPV



HPVワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、こちらをご確認ください。



【平成9年度生まれ～平成19年度生まれ】までの女性へ

大切なお知らせ

HPVワクチンの接種を逃した方に 接種の機会をご提供します



公費による接種

**2025年3月末までにHPVワクチンを1回以上接種した方の
公費による接種は2026年3月末までです。**

- 2024年夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃいます。そのため、2025年3月末までに接種を開始した方が、全3回の接種を公費で完了できるようになりました。
- 接種は合計3回で6か月かかりますが、最短4か月で完了することもできます。

公費による接種を希望する方は、
1回目の接種を2025年3月末までに行うことをご検討ください。

このご案内は、既に接種を受けた方にも届くことがあります。接種を受けたかどうかは、母子健康手帳などでご確認ください。

対象となる方々について

・次の2つを満たす方が、あらためて接種の機会をご提供する対象となります。

- 平成9年度生まれ～平成19年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日)の女性
- 過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない

・過去に接種したワクチンの情報(ワクチンの種類や接種時期)については、母子健康手帳や予防接種済証等でご確認ください。

■ なぜ、あらためて、接種の機会が設けられるのですか？

- ・ HPVワクチンの接種を個別にお勧めする取組が差し控えられていた間(※)に、定期接種の対象であった方々の中には、ワクチン接種の機会を逃した方がいらっしゃいます。
- ・ こうした方に、公平な接種機会を確保する観点から、あらためて接種の機会をご提供しています。
 - ※ 接種後に報告された多様な症状等について十分に情報提供できない状況にあったことから、平成25年から令和3年まで、個別に接種をお勧めする取組を一時的に差し控えていました。
 - 令和3(2021)年11月の専門家の会議で、安全性について特段の懸念が認められないことがあらためて確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから、個別に接種をお勧めする取組を再開することになりました。

■ 過去に、1回のみ接種した場合や、2回のみ接種した場合にも対象となりますか？

- ・ HPVワクチンは合計3回接種します。1回接種したことがある方は残り2回、2回接種したことがある方は残り1回、公費で接種を受けることができます。

接種可能な時期について

上記の対象者のうち、2025年3月末までにHPVワクチンを1回以上接種した方は、2026年3月末まで公費で接種できます。



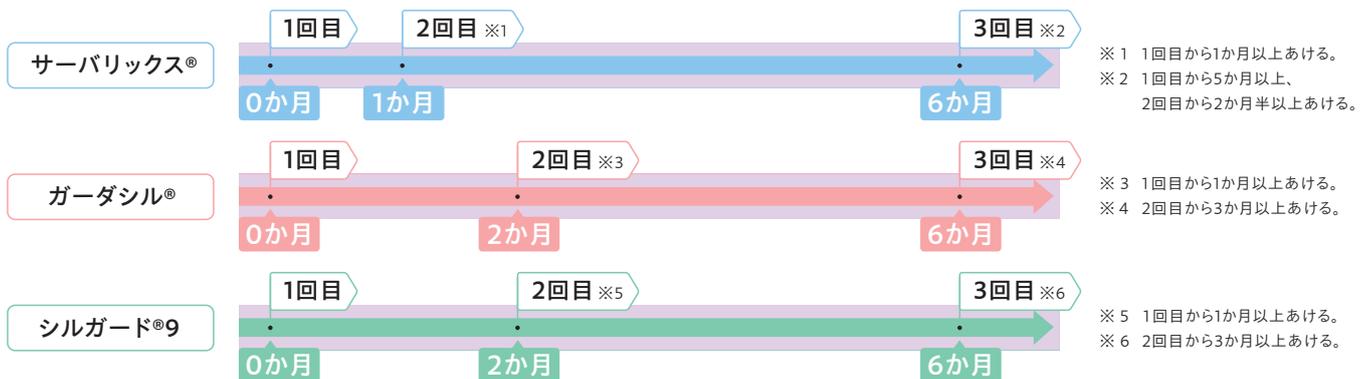
接種するワクチンの種類とスケジュール

公費で接種できるHPVワクチンは、3種類(2価ワクチン(サーバリックス®)、4価ワクチン(ガーダシル®)、9価ワクチン(シルガード®9(※1))あります。決められた間隔をあけて、同じワクチンを合計3回接種します(※2)。

※1 2023年4月から、シルガード®9も公費で受けられるようになりました。

※2 1回目、2回目に気になる症状が現れた場合は、2回目以降の接種をやめることができます。

一般的な接種スケジュール



※ いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。

※ シルガード®9は、15歳未満はスケジュールが異なります。

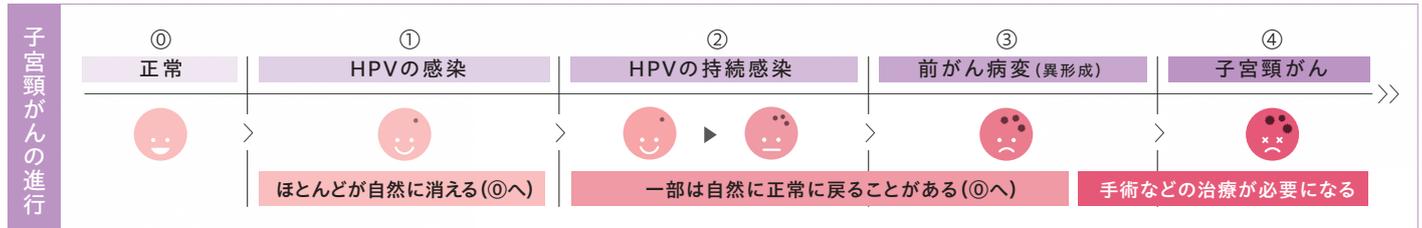
※ 接種は合計3回で約6か月かかりますが、最短4か月で接種を完了することもできます。

子宮頸がんとは？

- 日本では毎年、約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約3,000人の女性が子宮頸がんで亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までのがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。

▶ 子宮頸がんにかかるのはなぜ？

- 子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。
- HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。
- 感染は、主に性的接触によって起こり、女性の多くが一生涯に一度は感染するといわれています。



子宮頸がんで苦しまないために できることが2つあります。HPVワクチンを受けた方も、検診をお忘れなく！

1 HPVワクチン

▶ HPVの感染を予防します

• ワクチンで防げないHPV感染もあるため、子宮頸がん検診を定期的に受診することが大切です。

2 子宮頸がん検診

▶ がんを早期発見し治療します
▶ 20歳以上の方は、定期的に受診を

• HPV感染は主に性的接触により起こります。パートナーと共に性感染症の予防も忘れずに。

HPVワクチンの効果とリスク

- サーバリックス®およびガーダシル®は、子宮頸がんをおこしやすい種類(型)であるHPV16型と18型の感染を防ぐことができます。そのことにより、子宮頸がんの原因の50~70%を防ぎます(※1)。シルガード®9は、HPV16型と18型に加え、ほかの5種類(※2)のHPVの感染も防ぐため、子宮頸がんの原因の80~90%を防ぎます(※3)。

※1・3 HPV16型と18型が子宮頸がんの原因の50~70%を占め、HPV31型、33型、45型、52型、58型まで含めると、子宮頸がんの原因の80~90%を占めます。また、子宮頸がんそのものの予防については引き続き評価が行われている状況ですが、これまでのサーバリックス®およびガーダシル®での知見を踏まえると、子宮頸がんに対する発症予防効果が期待できます。

※2 HPV31型、33型、45型、52型、58型

- HPVワクチン接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれに、重いアレルギー症状や神経系の症状が起こることがあります。また、広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動(動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまう)といった多様な症状が報告されています。

※ 接種後に体調の変化が現れたら、まずは接種を受けた医療機関などの医師にご相談ください。HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関をお住まいの都道府県ごとに設置しています。協力医療機関の受診については、接種を受けた医師またはかかりつけの医師にご相談ください。

■ 定期接種の対象年齢(高校1年相当まで)を過ぎても、接種の効果はありますか？

- 16歳頃までに接種するのが最も効果が高いですが、それ以上の年齢で接種しても、ある程度の有効性があることが、国内外の研究で示されています(※)。
- なお、定期接種の対象年齢を過ぎてからの接種について、明らかな安全性の懸念は示されていません。

※ ワクチンが子宮病変を予防する有効性は概ね16歳以下の接種で最も高いものの、20歳頃の初回接種まではある程度有効性が保たれることや、性交経験がない場合はそれ以上の年齢についても一定程度の有効性があることが示されています。性交経験によるHPV感染によって、ワクチンの予防効果が減少することが示されていますが、性交経験がある場合でも、ワクチンの予防効果がなくなってしまうわけではありません。

▶ ワクチンの安全性の確認について

接種が原因と証明されていなくても、接種後に起こった健康状態の異常について報告された場合は、審議会(ワクチンに関する専門家の会議)において一定期間ごとに、報告された症状をもとに、ワクチンの安全性を継続して確認しています。

接種方法について

- ・住民票のある市町村からのお知らせをご覧ください(※)。
- ・過去に受けた接種回数や時期により、接種方法が異なる場合があります。できるだけ母子健康手帳を確認・持参して、市町村や医療機関に相談してください。

※ 進学や就職などで引っ越しをされる方は、原則、引っ越し先の寮・アパートなどが新しい住所になります。忘れずに住民票を移してください。

住民票の移し方などの詳しい情報は、こちら→



予防接種健康被害救済制度について

極めてまれですが、予防接種を受けた方に重い健康被害を生じる場合があります。HPVワクチンに限らず、日本で承認されているすべてのワクチンについて、ワクチン接種によって、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合は、申請し認定されると、法律に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。

HPVワクチンに関する相談先一覧

接種後に、健康に異常があるとき	接種を受けた医師・かかりつけ医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関 <small>※ 協力医療機関の受診については、接種を受けた医師またはかかりつけの医師にご相談ください。</small>
不安や疑問があるとき、日常生活や学校生活で困ったことがあるとき	お住まいの都道府県に設置された相談窓口 (衛生部局、教育部局)
HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他の感染症全般についての相談	厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口
予防接種による健康被害救済に関する相談や、どこに相談したらよいかわからないとき	お住まいの市町村の予防接種担当部門

厚生労働省のホームページでは、HPVワクチンに関する情報をご案内しています。

厚労省 HPV

検索



HPVワクチンに関するよくあるQ&Aはこちら→



平成9年度生まれ～平成19年度生まれの女性へ

令和5(2023)年4月より

「HPVワクチン」 の接種の機会を逃した方も 9価のワクチンを公費で 接種できるようになりました

※公費で接種できるのは令和7(2025)年3月末までです。希望される方は、お早めに3回の接種を完了してください。



Q 「HPVワクチン」とはなんですか？

A HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンには、9価のワクチンのほかに、2種類のワクチン(2価のワクチン、4価のワクチン)があります。どのワクチンを接種するかは、医師にご相談ください。

Q 9価のHPVワクチン(9価ワクチン)とは、どのようなワクチンですか？

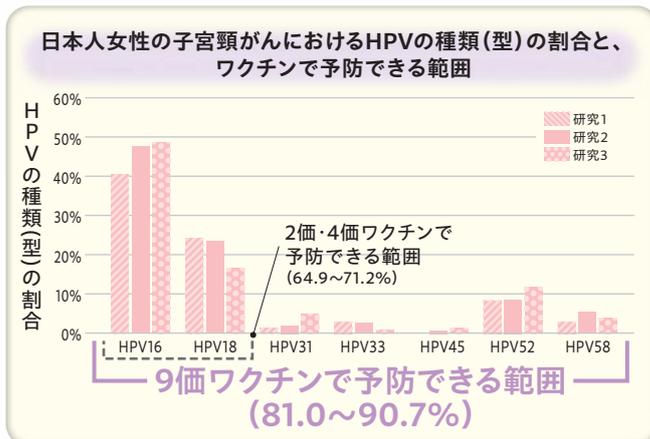
A HPVにはいくつかの種類(型)があり、9価ワクチンは、このうち9種類のHPVの感染を防ぐワクチンです。その中でも、子宮頸がんの原因の80～90%を占める、7種類のHPV※の感染を予防することができます。

※16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型

Q 9価ワクチンの接種後に副反応はありますか？

A 9価ワクチンの接種後には、右表の副反応が起こることがあります。

接種後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずはワクチンを受けた医療機関などの医師にご相談ください。



「9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンファクトシート」(国立感染症研究所)をもとに作成
研究1: Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316. 研究2: Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917. 研究3: Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.

接種後に現れる可能性のある症状

発生頻度	報告されている症状
50%以上	疼痛(痛み)*
10～50%未満	腫脹(腫れ)*、紅斑(赤み)*、頭痛
1～10%未満	浮動性めまい(頭がぼーっとしてふらつく感覚)、悪心、下痢、そう痒感(かゆみ)*、発熱、疲労、内出血*など
1%未満	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感(だるさ)、硬結*など
頻度不明	感覚鈍麻(刺激に対して感覚が鈍い状態)、失神、四肢痛など

シルガード®9 添付文書(第1版)より改編

*ワクチンを接種した部位の症状

あなたと関係のある“がん”があります

- 子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。日本では、25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は、子宮頸がんによるものです。
- HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されていますが、ワクチンで防げないHPV感染もあります。子宮頸がんを早期に発見し治療するため、20歳以上の方は、定期的に、子宮頸がん検診を受けることが大切です。

平成9年度生まれ～平成19年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日)の女性の中に、小学校6年から高校1年の頃に、接種の機会を逃した方がいらっしゃいます。まだ接種を受けていない方に、あらためて、HPVワクチンの接種の機会をご提供しています。

9価ワクチンについてのより詳しい情報は、こちらをご確認ください。



詳しい情報は、こちらをご確認ください。



一般的な接種スケジュール

9価ワクチン(シルガード®9)で接種を開始する方は、決められた間隔をあけて、合計3回接種します※1。
1回目または2回目に気になる症状が現れた場合は、2回目以降の接種をやめることができます。

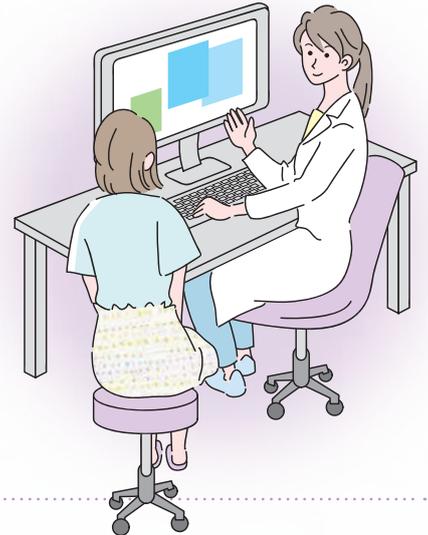
※1 シルガード®9は、15歳未満はスケジュールが異なります。



これまでに、2価 または 4価のHPVワクチン(サーバリックス®またはガーダシル®)を1回または2回接種した方へ

原則として同じ種類のワクチンを接種することをお勧めしますが、医師と相談のうえ、途中から9価ワクチンに変更し、残りの接種を完了することも可能です※。この場合にも公費で接種することができます。

※2価または4価のHPVワクチン(サーバリックス®またはガーダシル®)を接種した後に9価ワクチン(シルガード®9)を接種することに対する効果やリスクについての科学的知見は限定されています。



予防接種健康被害救済制度について

極めてまれですが、予防接種を受けた方に重い健康被害が生じる場合があります。

HPVワクチンに限らず、日本で承認されているすべてのワクチンについて、ワクチン接種によって、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合は、申請し認定されると、法律に基づく救済(医療費・障害年金等)の給付が受けられます。

HPVワクチンに関する相談先一覧

接種後に、健康に異常があるとき

- ▶ 接種を行った医師・かかりつけの医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関
※協力医療機関の受診については、接種を行った医師またはかかりつけの医師にご相談ください

不安や疑問があるとき、日常生活や学校生活で困ったことがあるとき

- ▶ お住まいの都道府県に設置された相談窓口(衛生部局、教育部局)

HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談

- ▶ 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

予防接種による健康被害救済に関する相談や、どこに相談したらよいかわからないとき

- ▶ お住まいの市町村の予防接種担当部門



HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は厚生労働省のホームページをご覧ください。



厚労省 HPV



HPVワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、こちらをご確認ください。





HPVワクチンの公費接種

高校1年相当が最終年度

小学6年～高校1年生相当の女の子が対象

高校1年相当（平成20年度生まれ）の

女の子と保護者の方へ

《公費によるHPVワクチン接種》

**2025年3月31日までに
HPVワクチンを
1回以上接種した方は
2025年4月以降も、残りの接種を
公費で受けられることになりました。**



期間は
**2026年
3月31日**
までです

○子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの公費による接種を提供しています。高校1年生相当の女の子は、最終年度にあたります。

○2024年夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃいます。そのため、2025年3月末までに接種を開始した方が、全3回の接種を公費で完了できるようにしました。

今年の3月までに1回目の接種をしていれば、
公費で全3回の接種を完了することが可能です。

よくあるご質問

Q.いつまでに合計3回の接種を完了する必要がありますか？

A. 2026年3月31日までです。合計3回の接種には6か月かかりますが、最短4か月で完了することもできます。

Q.公費による接種を希望していますが、まだ1回も受けていません。間に合いますか？

A. 2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上受けている方が対象となるため、希望する場合は、2025年3月末までに1回目を受けることをご検討ください。



HPVワクチン接種について
もっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚生省 HPV 検索



HPVワクチンに関する
よくあるQ&Aはこちら



平成9～19年度生まれの女性へ



公費によるHPVワクチン「キャッチアップ接種」期間についてのお知らせ



2025年3月31日までに

HPVワクチンを1回以上接種した方は

2025年4月以降も

残りの接種を公費で受けられることになりました。

◎ 公費での接種期間は

2026年3月31日までです。



○子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの接種を逃した方に、公費による接種の機会をご提供しています。

○2024年夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃいます。そのため、2025年3月末までに接種を開始した方が、全3回の接種を公費で完了できるようになりました。

今年の3月までに1回目の接種をしていれば、

公費で全3回の接種を完了することが可能です。

よくあるご質問

Q.いつまでに合計3回の接種を完了する必要がありますか？

A. **2026年3月31日までです**。合計3回の接種には6か月かかりますが、最短4か月で完了することもできます。

Q.公費による接種を希望していますが、まだ1回も受けていません。間に合いますか？

A. **2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上受けている方が対象**となるため、希望する場合は、2025年3月末までに1回目を受けることをご検討ください。

HPVワクチンの「キャッチアップ接種」についてもっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚生労働省 キャッチアップ 検索



HPVワクチンに関するよくあるQ&Aはこちら



ワクチンを受けた後は、 体調に変化がないか 十分に注意してください。



もしも、気になる体調変化があった場合は、
このリーフレットを参考に、医師に相談してください。

当日

ワクチンを受けた後30分ほどは 座って様子を見てください。*

※ワクチンを受けることに対する緊張や、強い痛みをきっかけに、
立ちくらみがしたり、血の気が引いて、時に気を失うことがあります。
血管迷走神経反射という誰にでも起こる可能性がある反応で、
通常、横になって休めば自然に回復します。
倒れてケガをしないように
背もたれのあるイスに座って休みましょう。



ワクチンを受けた日は はげしい運動はやめてください。



数日後 から 数週間後

気になる症状が出たときは すぐにお医者さんや周りの大人に相談してください。

具体的な症状を裏面に掲載していますので、参考にしてください。

ワクチンを受けても、子宮けいがん検診は必要です

ワクチンを受けた人も、20歳をすぎたら2年に1回、必ず検診を受けてください。
ワクチンで防げないタイプのHPV(ヒトパピローマウイルス)もあります。

以下のような^{しょうじょう}症状が出たら、お医者さんや周りの大人にワクチンを受けたことを伝えて、相談してください。

- 注射の針を刺したときに強い痛みやしびれを感じた
- ワクチンを受けた後に、注射した部分以外のところで痛みや手足のしびれ・ふるえなど気になる症状や体の変化がある



起こるかもしれない体の変化

多くの人に起こる症状※	<ul style="list-style-type: none"> ● 注射した部分の痛み、腫れ、赤み ● 疲れた感じ、頭痛、腹痛、筋肉や関節の痛み
その他の症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 注射した部分のかゆみ、出血、不快感 ● 発熱、めまい ● 発しん、じんましん ● 緊張や不安、痛みなどをきっかけに気を失う

※接種を受けた人の10%以上に起こった症状



まれですが、起こるかもしれない重い症状

- 呼吸困難、じんましんなどを症状とする重いアレルギー（アナフィラキシー）
- 手足の力が入りにくいなどの症状（ギラン・バレー症候群）
- 頭痛、嘔吐、意識の低下などの症状（急性散在性脳脊髄炎（ADEM））

<痛みやしびれ、動かしにくさ、不随意運動について>

- ワクチンを受けた方に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと）などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています。
- ワクチンを受けていなくても、こうした症状のある方もいることが分かっています。

HPVワクチンに関する相談先一覧

接種後に、健康に異常があるとき

➡ 接種を行った医師・かかりつけの医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関
※協力医療機関の受診については、接種を行った医師又はかかりつけの医師にご相談ください

不安や疑問があるとき、困ったことがあるとき

➡ お住まいの都道府県に設置された相談窓口

HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談

➡ 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

予防接種による健康被害救済に関する相談

➡ お住まいの市町村の予防接種担当部門

厚生労働省のホームページでは、HPVワクチンに関する情報をご案内しています。

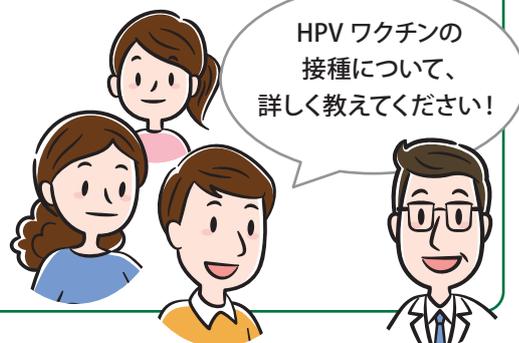
厚労省 HPV



■ HPV ワクチンは、平成 22 (2010) 年 11 月から子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業として接種が行われ、平成 25 (2013) 年 4 月に予防接種法に基づく定期接種に位置づけられました。平成 25 (2013) 年 6 月から、積極的な勧奨（個別に接種を勧める内容の文書をお送りすること）を一時的に差し控えていましたが、令和 3 (2021) 年 11 月に、専門家の評価により「HPV ワクチンの積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、令和 4 年 4 月から、他の定期接種と同様に、個別の勧奨を行っております。

■ HPV ワクチンに関する知識がない方、接種すべきか判断できずに困っている方、接種に不安を抱いている方などが多くおられます。そのような方々に、適切な情報提供をお願いしたいと考えています。

■ ワクチンの接種に当たっては、被接種者・保護者に HPV ワクチンの有効性・安全性に関する十分な情報提供・コミュニケーションをはかった上で実施してください。なお、その場合は被接種者とその保護者の不安にも十分ご配慮ください。



1 ヒトパピローマウイルス (HPV) と子宮頸がん

- 子宮頸がんについては、HPVが持続的に感染することで、異形成を生じた後、浸潤がんに至ることが明らかになっています。HPVに感染した個人に着目した場合、多くの感染者で数年以内にウイルスが消失しますが、そのうち数%は持続感染→前がん病変(高度異形成、上皮内がん)のプロセスに移行し、さらにその一部は浸潤がんに至ります。
- 性交経験のある人の多くは、HPVに一生に1度は感染すると言われていて、日本においては、ほぼ100%の子宮頸がんでは高リスク型HPVが検出され、その中でもHPV16/18型が50～70%、HPV31/33/45/52/58型を含めると80～90%を占めます。
- 日本では、子宮頸がんの罹患者は年間約1万人、それによる死亡者は約3,000人になるなど、重大な疾患となっています。子宮頸がん年齢階級別罹患率は20代から上昇し、40代でピークを迎えます。
- 子宮頸がん自体は、早期に発見されれば予後の悪いがんではありませんが、妊孕性を失う手術や放射線治療を要する20代・30代の方が、年間約1,000人います。また、前がん病変に対して行われた円錐切除術の件数は年間1.3万件を超えています。円錐切除術後は、流早産のリスクが高まると言われています。

2 HPVワクチンの効果(有効性) 詳しくはこちらへ

<https://www.mhlw.go.jp/content/000892337.pdf>



- HPVワクチンは2006年に欧米で使われ始めた比較的新しいワクチンであり、海外や日本で行われた疫学調査では、HPVワクチンを導入することにより、子宮頸がんの前がん病変(がんになる手前の状態)を予防する効果が示されています。また、接種が進んでいる一部の国では、子宮頸がんそのものを予防する効果があることもわかってきています。
- 公費で接種できるHPVワクチンは3種類あります。
 - 2価HPVワクチン(サーバリックス®)

HPV16/18型の感染とそれによる子宮頸部異形成を予防する効果が示されています。
 - 4価HPVワクチン(ガーダシル®)

HPV16/18型の感染とそれによる子宮頸部異形成を予防するとともに、HPV6/11型の感染とそれによる尖圭コンジローマも予防することが示されています。
 - 9価HPVワクチン(シルガード®9) ※令和5(2023)年4月から、9価HPVワクチンも公費で接種できるようになりました。

HPV16/18/31/33/45/52/58型の感染とそれによる子宮頸部異形成を予防するとともに、HPV6/11型の感染とそれによる尖圭コンジローマも予防することが示されています。
- HPVワクチン接種により自然感染で獲得する数倍量の抗体を、少なくとも12年維持することが海外の臨床試験により明らかになっています。
- HPVワクチン接種で予防されない型のHPVによる子宮頸がんも一部存在します。HPVワクチンの接種歴にかかわらず、子宮頸がん検診を定期的に受けるよう、説明・助言してください。

3 HPVワクチンのリスク(安全性) 詳しくはこちらへ <https://www.mhlw.go.jp/content/000892337.pdf>



- 一定の頻度で発生する副反応については、ワクチンの添付文書をご参照ください。
- 定期接種対象の3種類のワクチンの接種後の症状として頻度の高いものは、接種部位の疼痛、発赤(紅斑)、腫脹です。

発生頻度	サーバリックス®(2価HPVワクチン)	ガーダシル®(4価HPVワクチン)	シルガード®9(9価HPVワクチン)
50%以上	疼痛*、発赤*、腫脹*、疲労	疼痛*	疼痛*
10～50%未満	掻痒、腹痛、筋痛、関節痛、頭痛等	紅斑*、腫脹*	腫脹*、紅斑*、頭痛
1～10%未満	蕁麻疹、めまい、発熱等	頭痛、そう痒感*、発熱	浮動性めまい、悪心、下痢、そう痒感*、発熱、疲労、内出血*等
1%未満	知覚異常*、感覚鈍麻、全身の脱力	下痢、腹痛、四肢痛、筋骨格硬直、硬結*、出血*、不快感*、倦怠感等	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感、硬結*等
頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症等	失神、嘔吐、関節痛、筋肉痛、疲労等	感覚鈍麻、失神、四肢痛等

サーバリックス®添付文書(第1版)、ガーダシル®添付文書(第3版)、シルガード®9添付文書(第1版)より改編

*接種した部位の症状

- 頻度は低いですが、重篤な副反応も報告されています。
アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸器症状などを呈する重いアレルギー)、
ギラン・バレー症候群(脱力などを呈する末梢神経の疾患)、
急性散在性脳脊髄炎(頭痛、嘔吐、意識障害などを呈する中枢神経の疾患)など

■ 疼痛または運動障害などの報告について

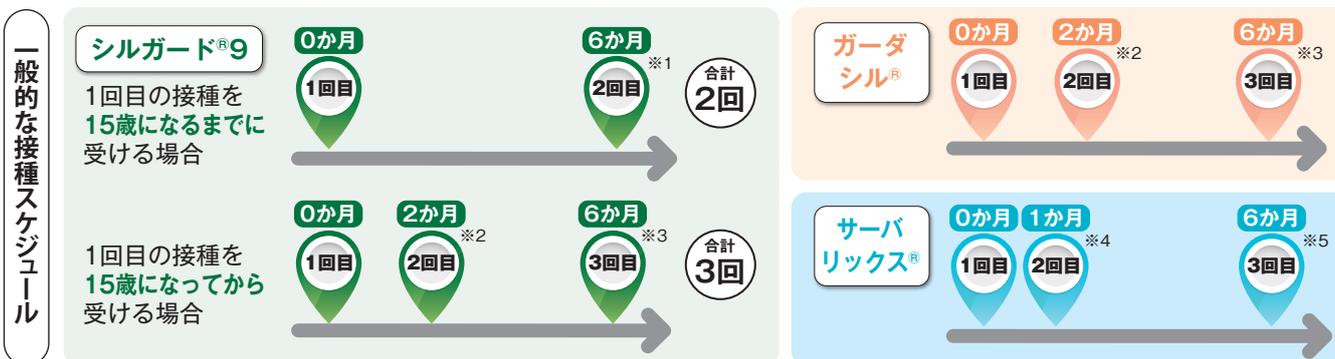
- HPVワクチン接種直後から、あるいは遅れて、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動などを中心とする多様な症状が現れたことが副反応疑い報告により報告されています。
- この症状のメカニズムとして、①神経学的疾患、②中毒、③免疫反応、④機能的な身体症状(下記「機能的な身体症状とは」参照)が考えられましたが、①②③では説明できず、④機能的な身体症状であると考えられています。
- 「HPVワクチン接種後の局所の疼痛や不安などが機能的な身体症状を惹起したきっかけになったことは否定できないが、接種後1か月以上経過してから発症している症例は、接種との因果関係を疑う根拠に乏しい」と評価されています。
- HPVワクチン接種歴のない方においても、HPVワクチン接種後に報告されている症状と同様の「多様な症状」を有する方が一定数存在したことが明らかとなっています。
- このような「多様な症状」の報告を受け、様々な調査研究が行われていますが、「ワクチン接種との因果関係がある」という証明はされていません。

【機能的な身体症状とは】

- 何らかの身体症状はあるものの、画像検査や血液検査を受けた結果、その症状に合致する異常所見が見つからないことがあります。このような状態を、機能的な身体症状と呼んでいます。
- 症状としては、①知覚に関する症状(頭や腰、関節などの痛み、感覚が鈍い、しびれる、光に対する過敏など)、②運動に関する症状(脱力、歩行困難、不随意運動など)、③自律神経などに関する症状(倦怠感、めまい、嘔気、睡眠障害、月経異常など)、④認知機能に関する症状(記憶障害、学習意欲の低下、計算障害、集中力の低下など)など多岐にわたります。
- 痛みについては、特定の部位からそれ以外の部位に広がることもあります。運動障害などについても診察所見と実際の運動との乖離、症状の変動性、注意がそれた場合の所見の変化など、機能的に特有の所見が見られる場合があります。
- 臨床現場では、専門分野の違い、病態のとらえ方の違いあるいは主たる症状の違いなどにより、様々な傷病名で診療が行われています。また一般的に認められたものではありませんが、病因に関する仮説に基づいた新しい傷病名がつけられている場合もあります。
例：身体症状症、変換症/転換性障害(機能的な神経症状症)、線維筋痛症、慢性疲労症候群、起立性調節障害、複合性局所疼痛症候群(complex regional pain syndrome: CRPS)

4 HPVワクチンの接種

- 定期接種対象者 小学校6年～高校1年相当の女子
- 定期接種対象ワクチン 2価(サーバリックス®)、4価(ガーダシル®)、9価(シルガード®9)



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。

※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2・3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。

※4・5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※4)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上(※5)あけます。

■ 接種時の注意点

- 痛みなどの頻度が高いワクチンであることを被接種者と保護者に伝えてください。
- 接種の痛みや緊張のために、血管迷走神経反射が出現し、失神することがあります。接種後は少なくとも30分間は背もたれのある椅子に座っていただき、座位で様子を見てください。前に倒れる場合がありますので、注意して様子を観察してください。

■ 接種を判断する際のポイント

- ワクチンを接種した後や、けがの後などに原因不明の痛みが続いたことがある方は「機能性身体症状」が出現する可能性が高いと考えられているため、被接種者と保護者に十分確認してください。
- 接種後に現れた症状により、以降の接種を中止もしくは延期することが可能です。2回目以降の接種時には、前回接種後の症状の有無を被接種者と保護者に確認してください。

■ 2価・4価HPVワクチンと9価HPVワクチンとの交互相種について

- HPVワクチンの接種は、原則、同じ種類のワクチンで実施します。しかしながら、2価または4価HPVワクチンで規定の回数の一部を完了し、9価HPVワクチンで残りの回数の接種を行う交互相種についても、実施して差し支えないこととしています。
- 世界保健機関(WHO)や諸外国の保健機関においても、基本的には同じ種類のワクチンでの接種が推奨されています。しかしながら、やむを得ない場合には、交互相種も許容されています。また、現時点において、交互相種における免疫原性や安全性に関する懸念は報告されていません。
- 接種にあたっては、被接種者と保護者に対し、十分な説明を行った上で実施してください。
- なお、2価または4価HPVワクチンで接種を開始し、定期接種として9価HPVワクチンで接種を完了する場合は、9価HPVワクチンの接種方法に合わせ、1回目と2回目の間隔を1か月以上、2回目と3回目の間隔を3か月以上空けて接種します。また、キャッチアップ接種の対象者についても、交互相種を実施して差し支えありません。

参考資料はこちら

<https://www.mhlw.go.jp/content/000892337.pdf>



5 接種後に体調の変化などを訴える方が受診した場合の対応

- ワクチン接種直後から、あるいは遅れて接種部位や接種部位と異なる部位の持続的な痛み、倦怠感、運動障害、記憶など認知機能の異常、その他の体調の変化などを訴える患者が受診した場合には、**HPVワクチン接種との関連を疑い症状を訴える患者が存在することを念頭に置き、傾聴の態度(受容、共感)を持って接し、共感を表明しつつ、診療にあたってください。**
- 患者が落ち着いて診療を受けられるよう、また治療方針が首尾一貫するように取りはからいつつ、自分が主治医として診療するか、協力医療機関、専門医療機関の医師に紹介するかを検討してください。**患者の行き場が無くなる状況とならないように、紹介する際も、主治医が決定するまでは責任を持ってご自身で診療にあたってください。**
- 副反応疑い報告を行うか検討してください。(参照) 日本医師会・日本医学会発刊「HPV ワクチン接種後に生じた症状に対する診療の手引き」
www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/dl/yobou150819-2.pdf
- HPVワクチン接種後に生じた症状について、患者により身近な地域で適切な診療を提供するため、各都道府県において協力医療機関が選定されています。

HPV ワクチン接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/medical_institution/index.html



被接種者が接種後に生じた症状で困ったときの相談窓口(都道府県ごとに設置)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/madoguchi/index.html>



Q&A

Q：副反応疑い報告って何ですか？

- A：**●ワクチン接種による副反応が疑われる症例については、ワクチン接種との因果関係を問わず、報告を集めています。詳しくは、厚生労働省ホームページ「予防接種法に基づく医師等の報告のお願い」をご参照ください。
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou20/hukuhannou_houkoku/index.html
- 令和6(2024)年9月末までに報告^{※1}されたHPVワクチンの副反応疑いの総報告数は、サーバリックス[®]およびガーダシル[®]で3,741人(1万人あたり約9人^{※2})で、シルガード^{®9}で515人(1万人あたり約3人^{※3})です。うち医師または企業が重篤と判断した報告数は、サーバリックス[®]およびガーダシル[®]で2,186人(1万人あたり約5人^{※2})で、シルガード^{®9}で299人(1万人あたり約2人^{※3})です^{※4}。
 - 接種との因果関係を問わず、接種後に起こった健康状態の異常について副反応疑いとして報告された症例については、厚生労働省の審議会において、報告頻度や症例の概要などを確認し、安全性に係る定期的な評価を継続的に実施しています^{※5}。

※1 企業報告は販売開始から、医療機関報告は平成22(2010)年11月26日からの報告

※2 出荷数量より推計した接種者数422万人(サーバリックス[®]242万人、ガーダシル[®]180万人)を分母として1万人あたりの頻度を算出

※3 出荷数量より推計した接種者数172.2万人を分母として1万人あたりの頻度を算出

※4 ワクチン接種に伴って一般的に起こりうる過敏症など機能性身体症状以外の認定者も含んだ人数

※5 審議会における議論の詳細については https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html に掲載

Q：予防接種健康被害救済制度って何ですか？

- A：**●予防接種の副反応による健康被害は、極めて稀ですが、不可避免的に生じるものですので、接種に係る過失の有無にかかわらず、予防接種と健康被害との因果関係が認定された方を迅速に救済する制度を設けています。詳しくは厚生労働省ホームページ「予防接種健康被害救済制度について」をご参照ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkouhigaikyusai.html
- 日本の従来からの救済制度の基本的な考え方「厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない場合も救済の対象とする」に沿って、救済の審査を実施しています。
 - 令和6(2024)年3月末までにHPVワクチン接種との因果関係が否定できないとして救済制度の対象となった方は、審査された613人中、366人です。(予防接種法に基づく救済の対象者が、審査した計73人中、45人、PMDA法に基づく救済の対象者が、審査した計540人中、321人となっています。)

お役立ち資料集

厚生労働省「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がんとHPVワクチン～」

HPV ワクチンに関する情報を一元的にお知らせしています。
www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html



厚生労働省「予防接種・ワクチン情報」

HPV ワクチンを含む、予防接種法に基づいて行われる各ワクチンの定期接種に関する情報をお知らせしています。
www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/index.html



厚生労働省「厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会」

HPV ワクチンを含む各ワクチンの安全性の評価などを定期的に行っている審議会です。
www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html



筋肉内注射の注意とポイント(動画)

HPV ワクチンと同じく筋肉内注射である、新型コロナワクチン接種を安全に行うためのポイントを説明しています。
(厚生労働行政推進調査事業費補助金「新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業」「ワクチンの有効性・安全性と効果的適用に関する疫学研究」)
www.youtube.com/watch?v=rcEVMi20tCY



接種対象者とその保護者向けのリーフレットを
厚生労働省ホームページからダウンロードしてお使いいただけます。

厚労省 HPV 検索

